

3 日ごろの食生活の状況

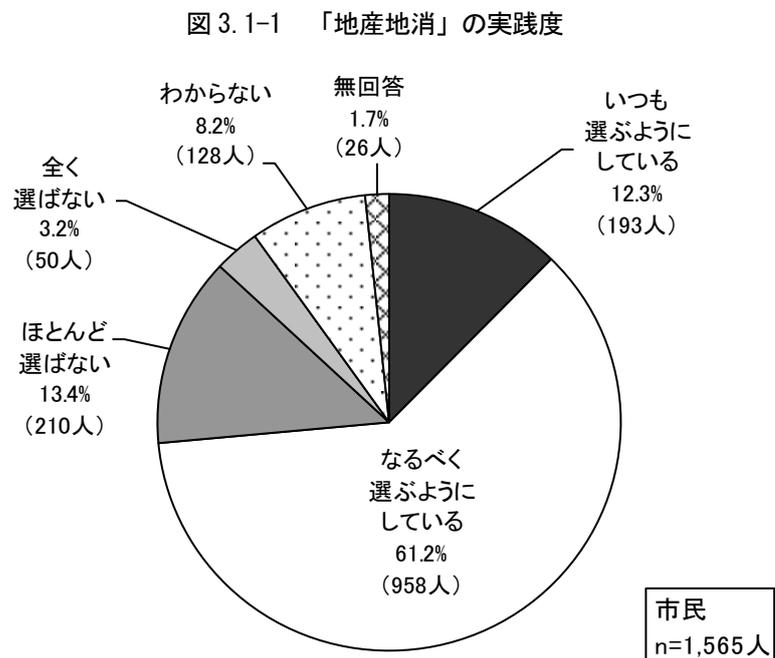
(1) 「地産地消」の実践度

問12 あなたは食材を選ぶ際に、身近な場所でとれたものを選ぶようになっていますか。
(〇は1つだけ)

7割強が「いつも選ぶようになっている」「なるべく選ぶようになっている」と回答

【全体結果】

「いつも選ぶようになっている」(12.3%)、「なるべく選ぶようになっている」(61.2%)と回答した人を合わせた割合は7割強(73.5%)となっている。「ほとんど選ばない」(13.4%)、「全く選ばない」(3.2%)と回答した人を合わせた割合が2割弱(16.6%)で、「わからない」と回答した人は1割弱(8.2%)となっている。



【性別・年齢別】

「いつも選ぶようにしている」、「なるべく選ぶようにしている」の割合を合わせた地産地消の実践度は、20歳代で5割台、30歳代で6割台、40歳以上で7割台と、年齢が上がるにつれて高くなる傾向が見られる。一方、20歳代では「ほとんど選ばない」、「全く選ばない」の割合が比較的高く、地産地消を実践していない人が3割弱となっている。

性別では、各年代とも、女性の方が男性よりも地産地消の実践度は高くなっている。

図 3.1-2 「地産地消」の実践度（年齢別・全体）

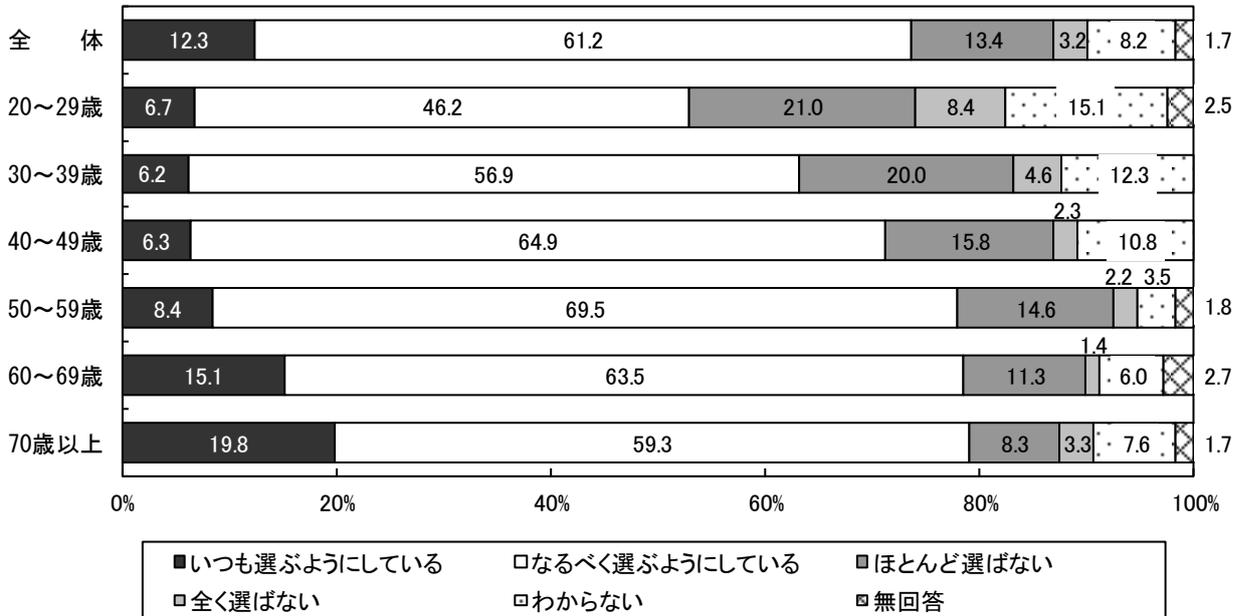
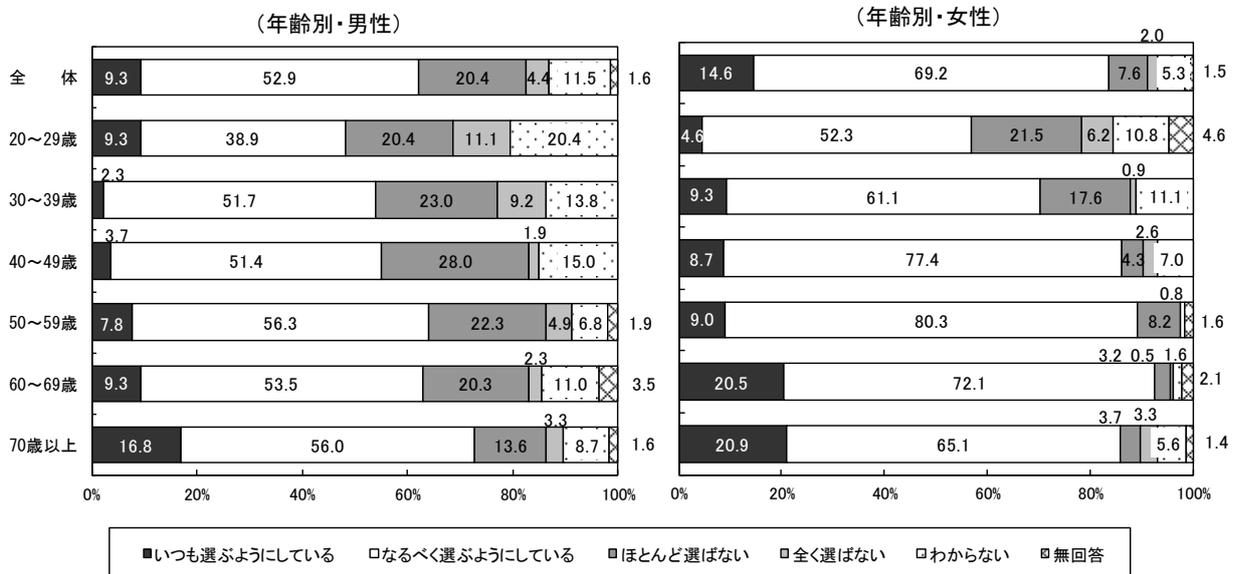


図 3.1-3 「地産地消」の実践度



	計	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	年齢不明
全体	1,565	119	195	222	226	364	420	19
男性	707	54	87	107	103	172	184	0
女性	817	65	108	115	122	190	215	2

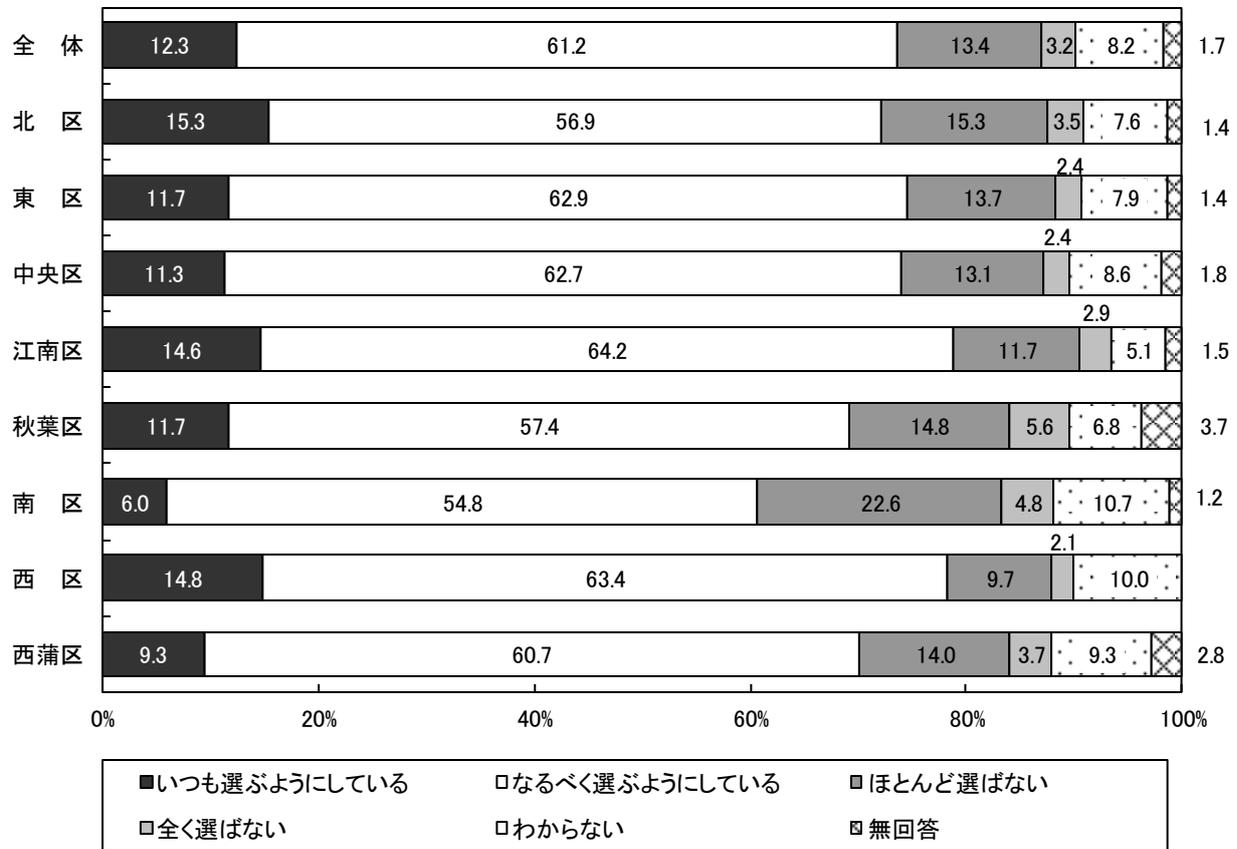
(人)

※性別不明・年齢不明者のグラフは省略した。

【地区別】

「いつも選ぶようにしている」、「なるべく選ぶようにしている」の割合を合わせた地産地消の実践度は、江南区（78.8%）と西区（78.3%）で高く、8割弱となっている。

図 3.1-4 「地産地消」の実践度（地区別）



全体	北区	東区	中央区	江南区	秋葉区	南区	西区	西蒲区	地区不明
1,565	144	291	327	137	162	84	290	107	23

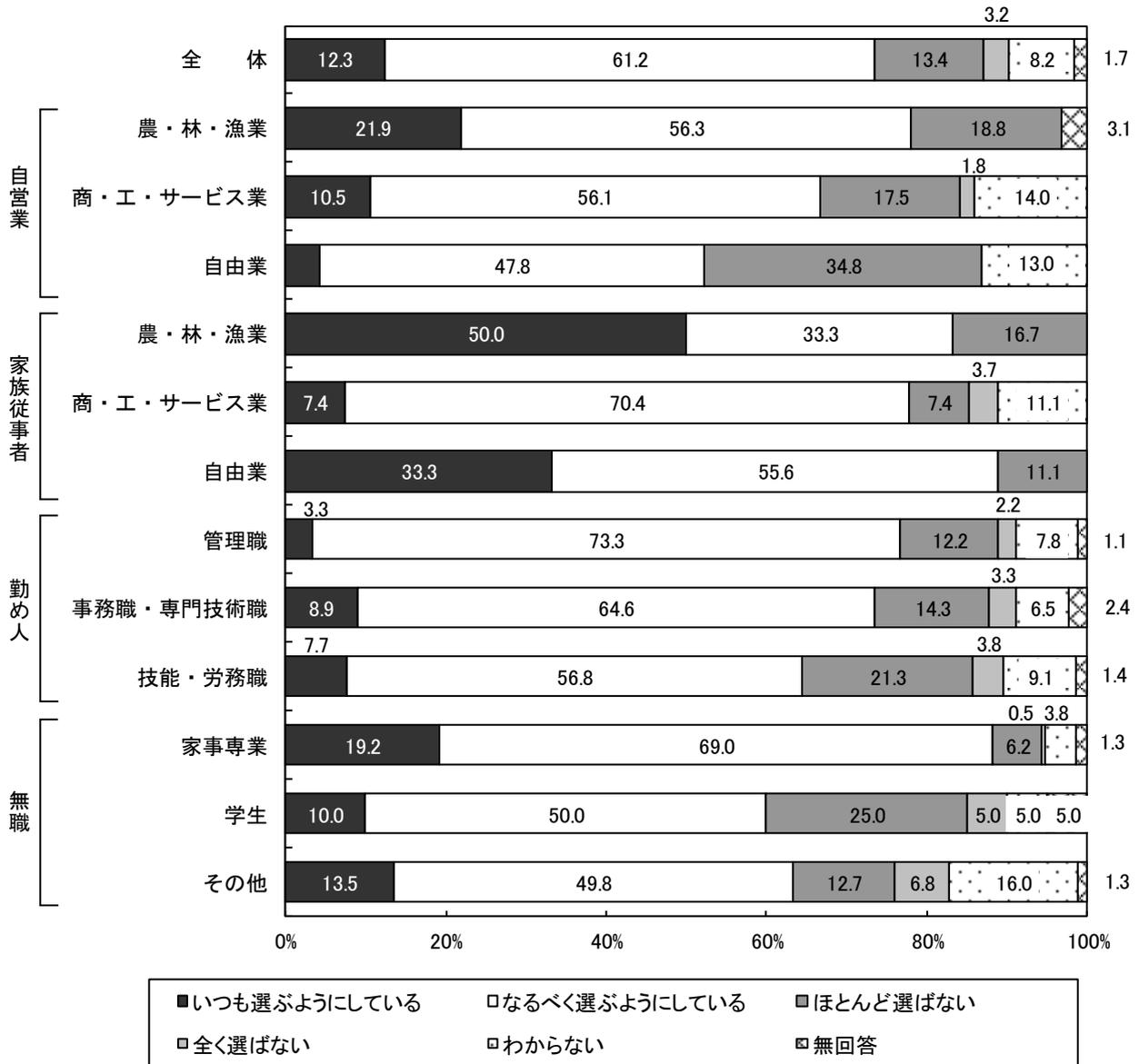
(人)

※地区不明者のグラフは省略した。

【職業別】

職種により対象者数に差があるため、図表のみの掲載とする。

図 3.1-5 「地産地消」の実践度（職業別）



全体	自営業			家族従事者		
	農・林・漁業	商・工・サービス業	自由業	農・林・漁業	商・工・サービス業	自由業
1,565	32	57	23	6	27	9

勤め人			無職			無回答
管理職	事務職・専門技術職	技能・労務職	家事専業	学生	その他	
90	336	287	390	20	237	51

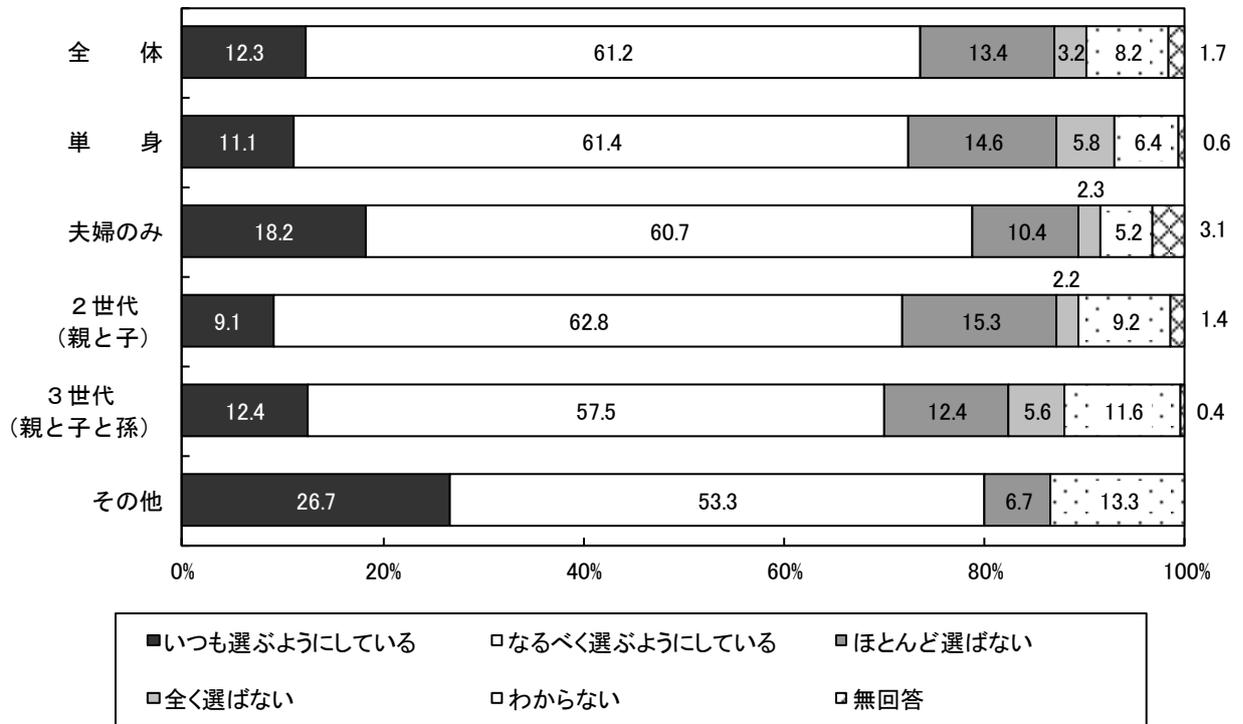
(人)

※無回答者のグラフは省略した。

【家族構成別】

「いつも選ぶようにしている」、「なるべく選ぶようにしている」の割合を合わせた地産地消の実践度は、夫婦のみ（78.9%）、その他（80.0%）で高くなっている。

図 3.1-6 「地産地消」の実践度（家族構成別）



全体	単身	夫婦のみ	2世代 (親と子)	3世代 (親と子と孫)	その他	無回答
1,565	171	384	737	233	15	25

(人)

※無回答者のグラフは省略した。

(2) 主食・主菜・副菜のそろった食事の回数

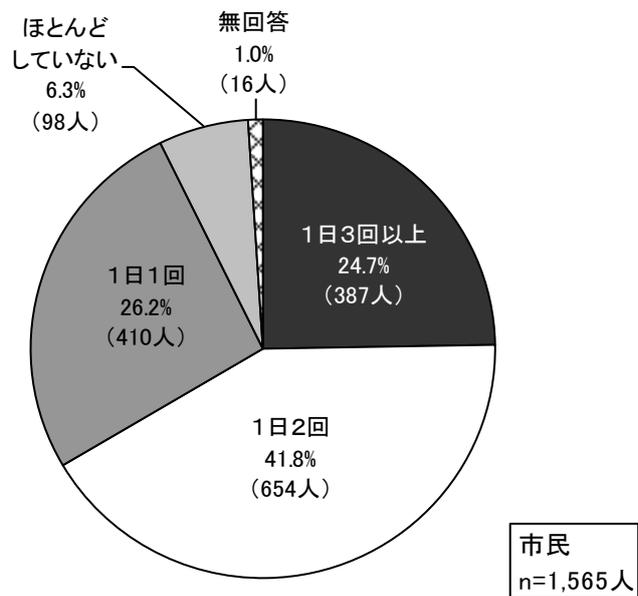
問13 あなたは日ごろ、主食（ごはん、パン、麺）・主菜（肉、魚、卵、大豆・大豆製品）・副菜（野菜、海藻、きのこ、いも）のそろった食事を、1日に何回していますか。（○は1つだけ）

7割弱が「1日2回」以上と回答

【全体結果】

「1日3回以上」(24.7%)、「1日2回」(41.8%)を合わせると、7割弱(66.5%)の人が主食・主菜・副菜がそろっていてバランスのとれた食事を1日2回以上実践している。

図 3.2-1 主食・主菜・副菜のそろった食事の回数



【性別・年齢別】

主食・主菜・副菜のそろった食事を「1日3回以上」実践している人の割合は、20歳代では1割弱、30歳代と40歳代で1割台、50歳代と60歳代で2割台、70歳以上で3割台と年齢が上がるにつれて高くなる傾向が見られ、最も高い70歳代（38.3%）では4割弱となっている。

一方、40歳代以下では「1日1回」、「ほとんどしていない」の割合が高く、主食・主菜・副菜のそろった食事が実践できていない人が4割以上となっている。

図 3.2-2 主食・主菜・副菜のそろった食事の回数（年齢別・全体）

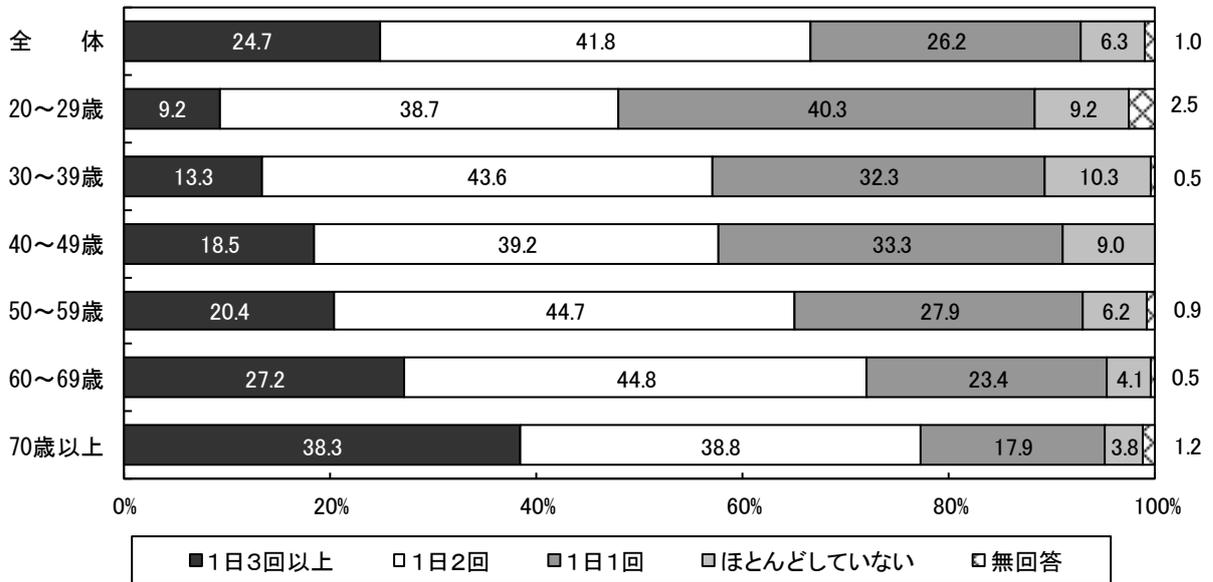
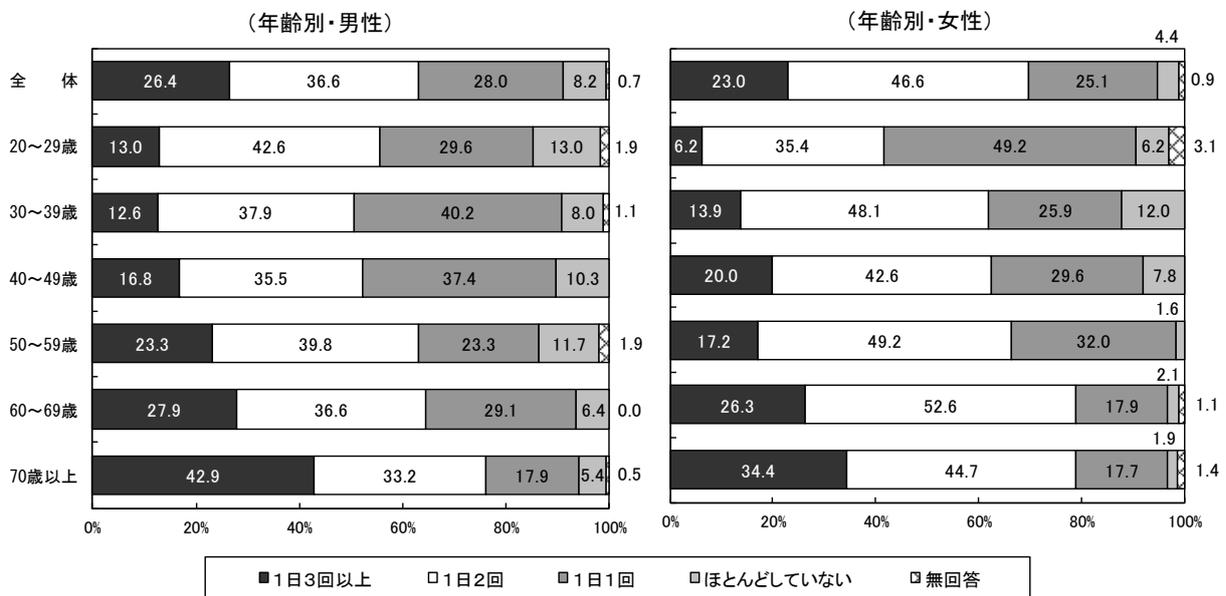


図 3.2-3 主食・主菜・副菜のそろった食事の回数



	計	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	年齢不明
全体	1,565	119	195	222	226	364	420	19
男性	707	54	87	107	103	172	184	0
女性	817	65	108	115	122	190	215	2

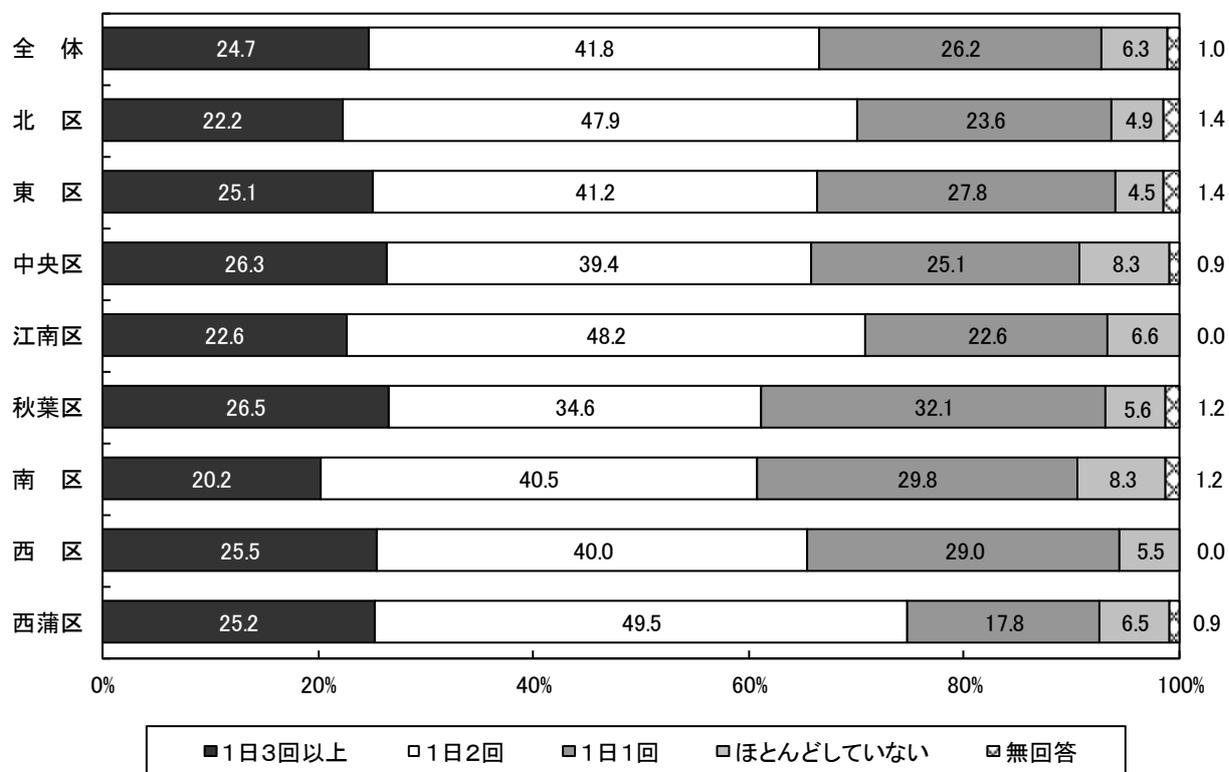
(人)

※性別不明・年齢不明者のグラフは省略した。

【地区別】

主食・主菜・副菜のそろったバランスのとれた食事を1日2回以上実践している人の割合は、西蒲区(74.8%)で最も高くなっている。

図 3.2-4 主食・主菜・副菜のそろった食事の回数(地区別)



全体	北区	東区	中央区	江南区	秋葉区	南区	西区	西蒲区	地区不明
1,565	144	291	327	137	162	84	290	107	23

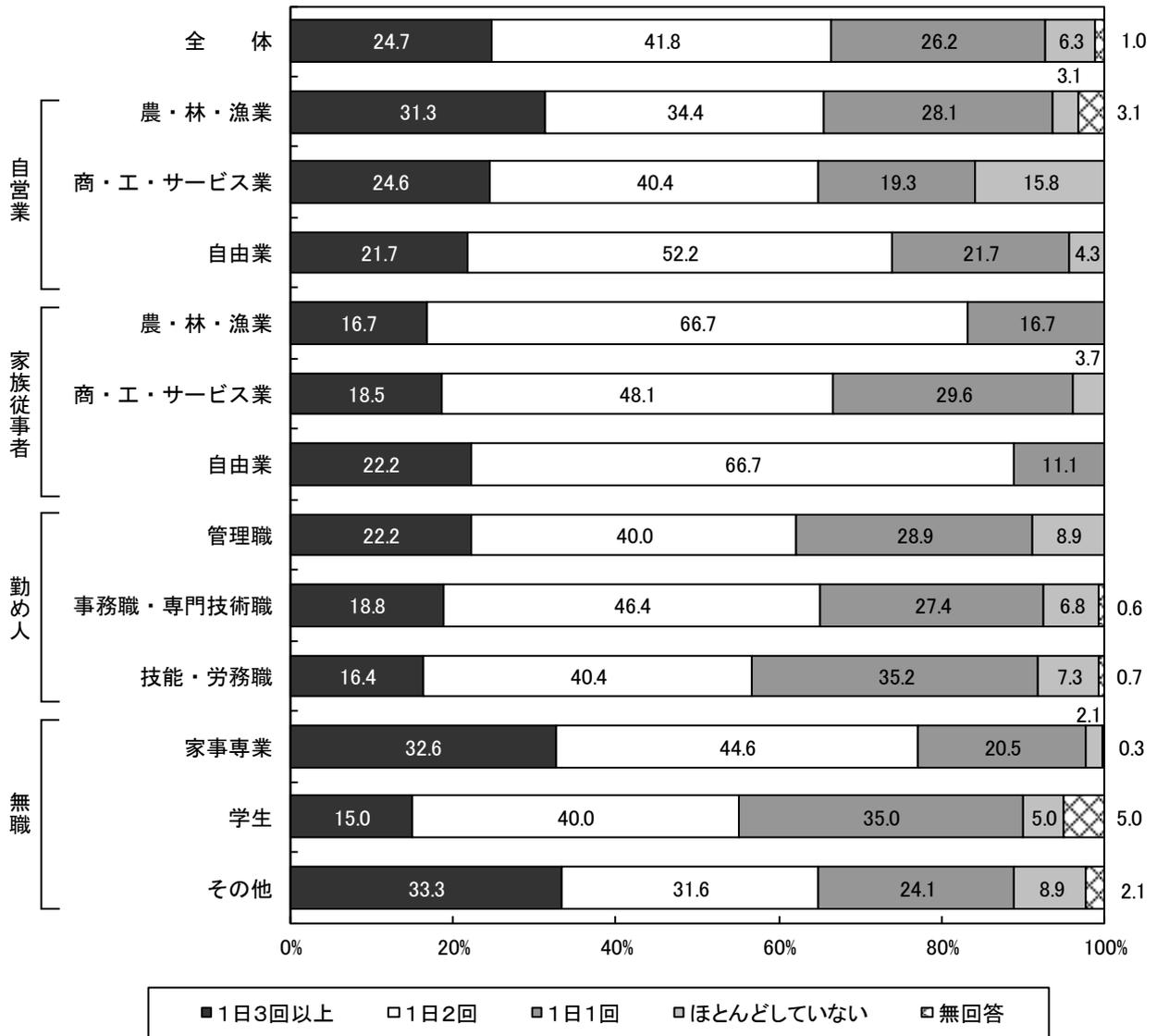
(人)

※地区不明者のグラフは省略した。

【職業別】

職種により対象者数に差があるため、図表のみの掲載とする。

図 3.2-5 主食・主菜・副菜のそろった食事の回数（職業別）



全体	自営業			家族従事者		
	農・林・漁業	商・工・サービス業	自由業	農・林・漁業	商・工・サービス業	自由業
1,565	32	57	23	6	27	9

勤め人			無職			無回答
管理職	事務職・専門技術職	技能・労務職	家事専業	学生	その他	
90	336	287	390	20	237	51

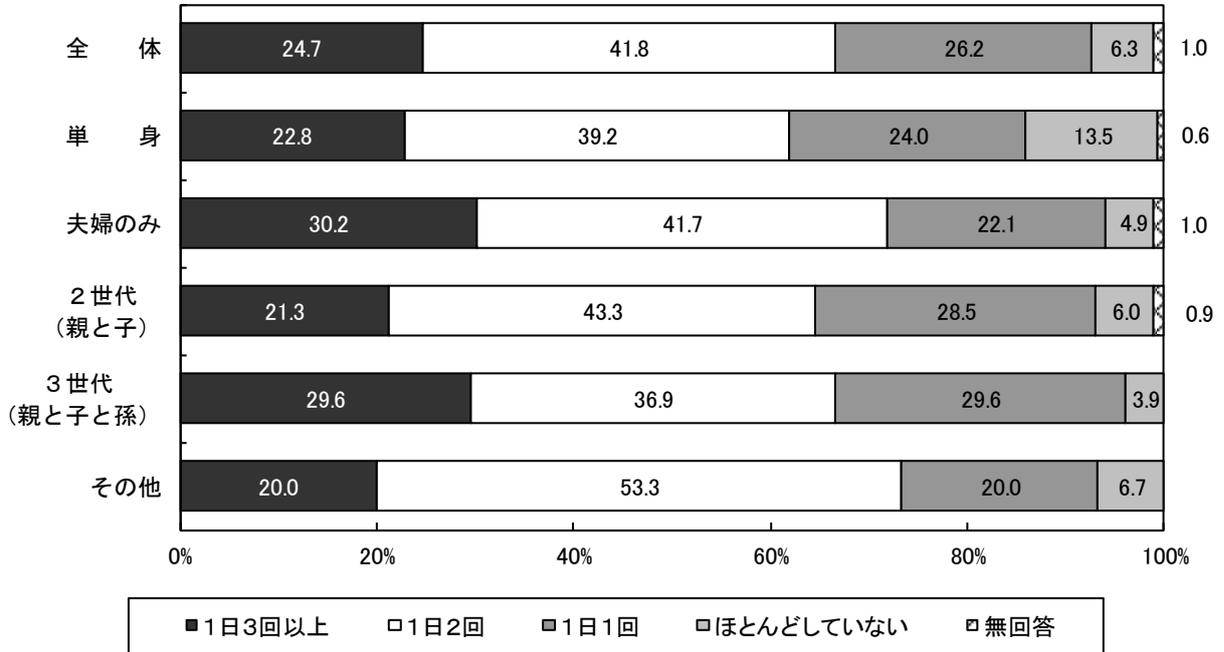
(人)

※無回答者のグラフは省略した。

【家族構成別】

「1日3回以上」「1日2回」と回答した人の割合は、その他（73.3%）と夫婦のみ（71.9%）で高くなっている。一方、「ほとんどしていない」と回答した人の割合は、単身（13.5%）で他の家族構成に比べ高くなっている。

図 3.2-6 主食・主菜・副菜のそろった食事の回数（家族構成別）



全体	単身	夫婦のみ	2世代 (親と子)	3世代 (親と子と孫)	その他	無回答
1,565	171	384	737	233	15	25

(人)

※無回答者のグラフは省略した。

(3) 生活習慣病予防や改善を意識した食生活の実践度

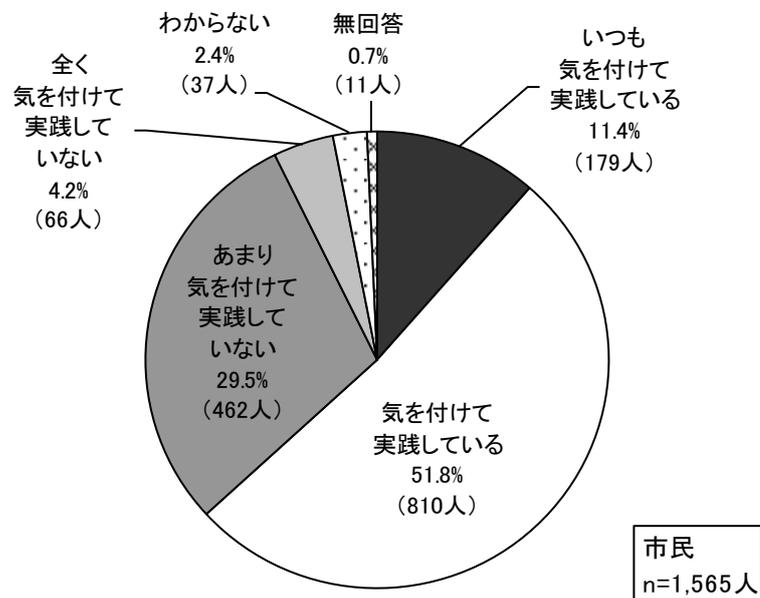
問14 生活習慣病予防や改善のために、あなたは普段から適正体重の維持や減塩、野菜の摂取などに気を付けた食生活を実践していますか。(○は1つだけ)

6割強が「いつも気を付けて実践している」「気を付けて実践している」と回答

【全体結果】

「いつも気を付けて実践している」(11.4%)、「気を付けて実践している」(51.8%)と回答した人を合わせた割合は6割強(63.2%)となっている。「あまり気を付けて実践していない」(29.5%)、「全く気を付けて実践していない」(4.2%)と回答した人を合わせた割合は3割強(33.7%)となっている。

図 3.3-1 生活習慣予防や改善を意識した食生活の実践度



【性別・年齢別】

「いつも気を付けて実践している」、「気を付けて実践している」の割合を合わせた、生活習慣予防や改善を意識した食生活の実践度は、20歳代で4割台、30歳代と40歳代、50歳代で5割台、60歳以上で7割台と推移し、60歳代（70.9%）で最も高くなっている。

一方、20歳代では「あまり気を付けて実践していない」、「全く気を付けて実践していない」の割合が高く、生活習慣予防や改善を意識した食生活を実践できていない人が約5割となっている。

図 3.3-2 生活習慣予防や改善を意識した食生活の実践度（年齢別・全体）

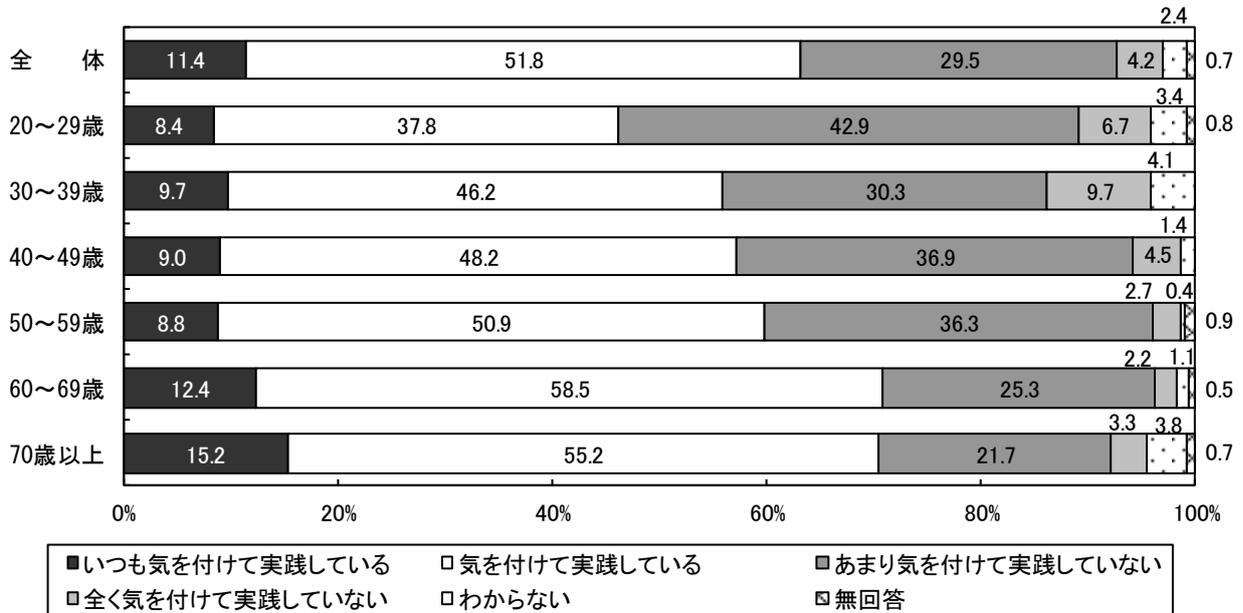
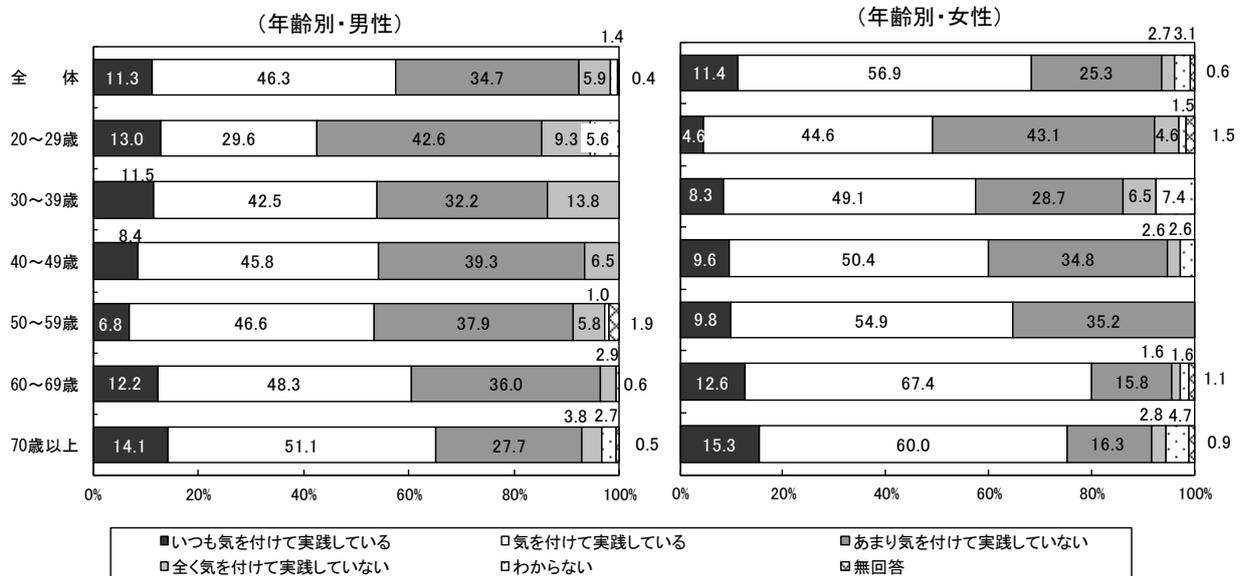


図 3.3-3 生活習慣予防や改善を意識した食生活の実践度



	計	20~29歳	30~39歳	40~49歳	50~59歳	60~69歳	70歳以上	年齢不明
全体	1,565	119	195	222	226	364	420	19
男性	707	54	87	107	103	172	184	0
女性	817	65	108	115	122	190	215	2

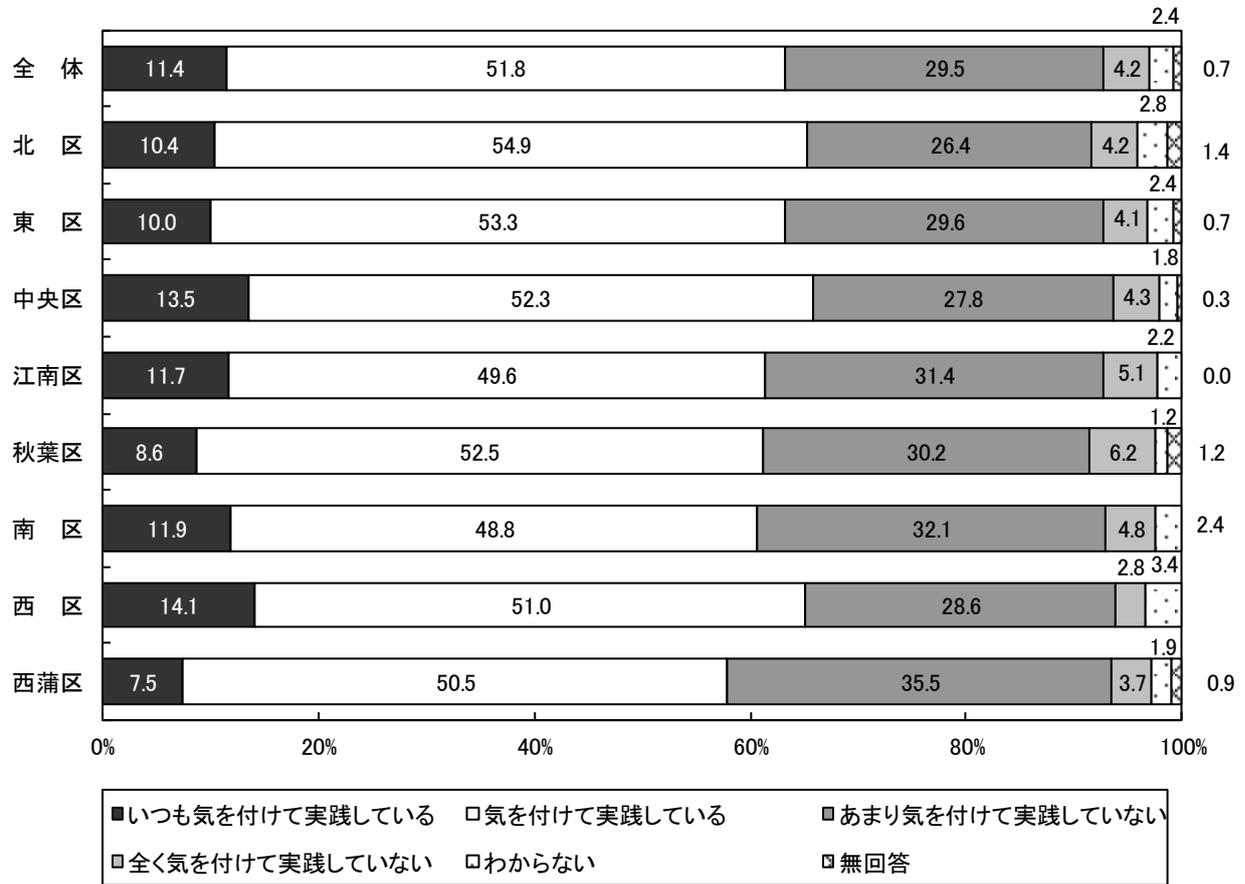
(人)

※性別不明・年齢不明者のグラフは省略した。

【地区別】

「いつも気を付けて実践している」、「気を付けて実践している」の割合を合わせた、生活習慣予防や改善を意識した食生活の実践度は、中央区（65.7%）で最も高くなっている。

図 3.3-4 生活習慣予防や改善を意識した食生活の実践度（地区別）



全体	北区	東区	中央区	江南区	秋葉区	南区	西区	西蒲区	地区不明
1,565	144	291	327	137	162	84	290	107	23

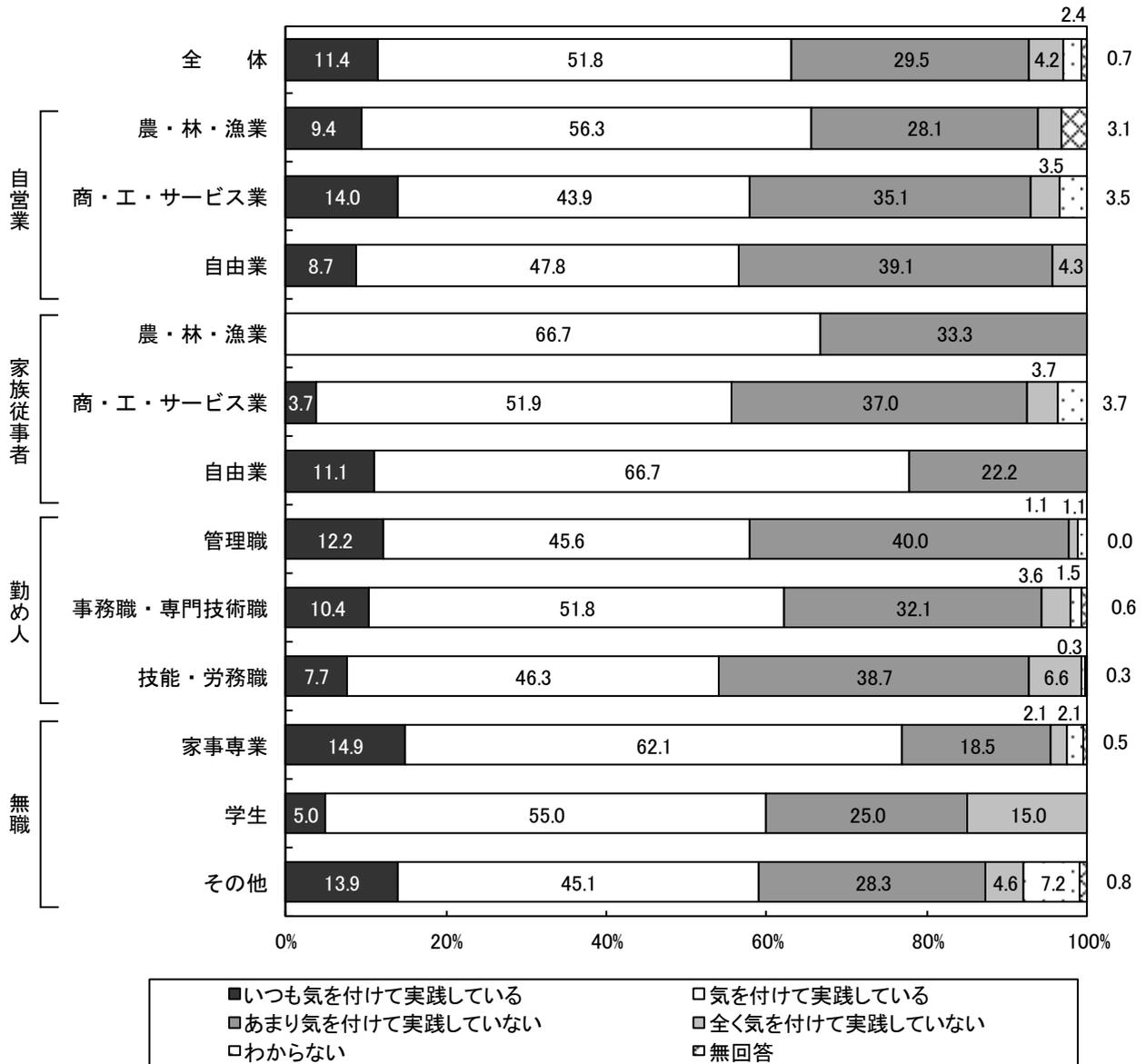
(人)

※地区不明者のグラフは省略した。

【職業別】

職種により対象者数に差があるため、図表のみの掲載とする。

図 3.3-5 生活習慣予防や改善を意識した食生活の実践度（職業別）



全体	自営業			家族従事者		
	農・林・漁業	商・工・サービス業	自由業	農・林・漁業	商・工・サービス業	自由業
1,565	32	57	23	6	27	9

勤め人			無職			無回答
管理職	事務職・専門技術職	技能・労務職	家事専業	学生	その他	
90	336	287	390	20	237	51

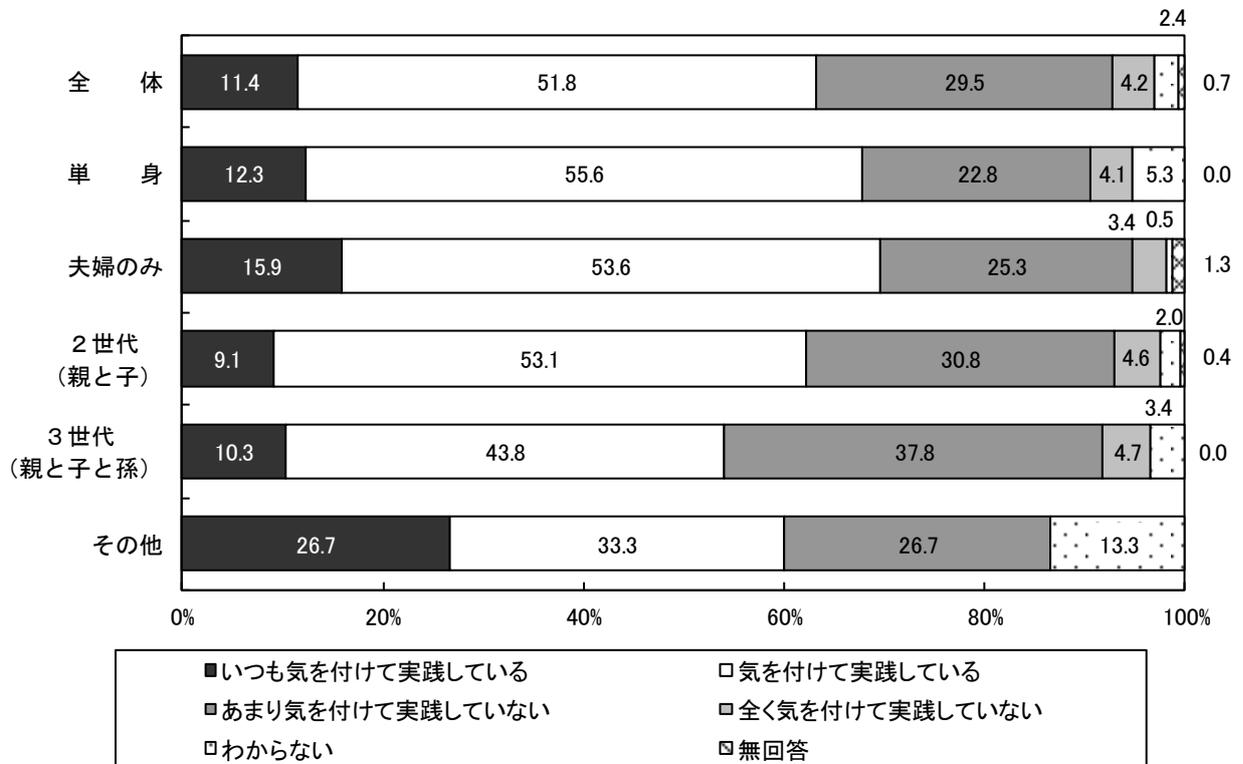
(人)

※無回答者のグラフは省略した。

【家族構成別】

「いつも気を付けて実践している」、「気を付けて実践している」の割合を合わせた、生活習慣予防や改善を意識した食生活の実践度は、夫婦のみ（69.5%）で最も高くなっている。

図 3.3-6 生活習慣予防や改善を意識した食生活の実践度（家族構成別）



全体	単身	夫婦のみ	2世代 (親と子)	3世代 (親と子と孫)	その他	無回答
1,565	171	384	737	233	15	25

(人)

※無回答者のグラフは省略した。

(4) 健康のための食事の認識と程度の度合い

問15 あなたは日ごろから、健康のために次のようなことを意識して食事をしていますか。
(項目毎に○は1つだけ)

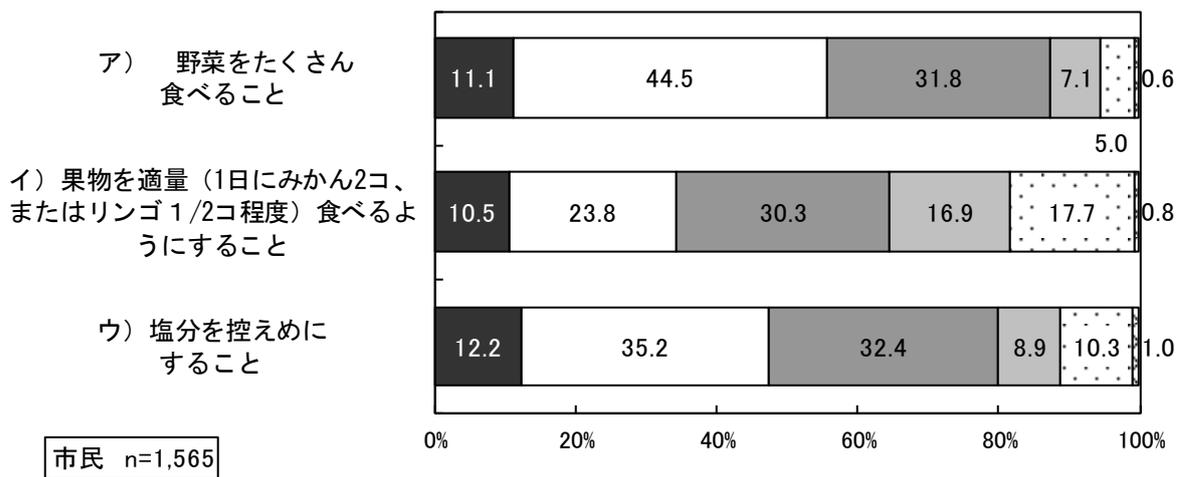
6割弱が「野菜をたくさん食べること」を意識していると回答

【全体結果】

「意識しているし、できていると思う」「意識しているし、だいたいできていると思う」と回答した人を合わせた割合は、『ア) 野菜をたくさん食べること』(55.6%)の項目が6割弱と高くなっている。

一方、「意識しているが、あまりできていないと思う」「意識しているが、ほとんどできていないと思う」と回答した人を合わせた割合は、『イ) 果物を適量(1日にみかん2コ、またはリンゴ1/2コ程度)食べるようにすること』(47.2%)の項目が半数弱で最も高く、「意識していない」の割合も、『イ) 果物を適量(1日みかん2コ、またはリンゴ1/2コ程度)食べるようにすること』の項目が2割弱(17.7%)で最も高くなっている。

図 3.4-1 健康のための食事の認識と程度の度合い



意識しているし、できていると思う 意識しているし、だいたいできていると思う
 意識しているが、あまりできていないと思う 意識しているが、ほとんどできていないと思う
 意識していない 無回答

	全体	意識しているし、できていると思う	意識しているし、だいたいできていると思う	意識しているが、あまりできていないと思う	意識しているが、ほとんどできていないと思う	意識していない	無回答
ア) 野菜をたくさん食べること	1,565	173	697	497	111	78	9
イ) 果物を適量(1日にみかん2コ、またはリンゴ1/2コ程度)食べるようにすること	1,565	165	373	474	264	277	12
ウ) 塩分を控えることにすること	1,565	191	551	507	139	161	16

(人)

ア) 野菜をたくさん食べること

【性別・年齢別】

「意識しているし、できていると思う」「意識しているし、だいたいできていると思う」と回答した人の割合は、70歳以上(66.9%)で最も高く、20歳代(39.5%)で最も低くなっている。

性別では、「意識しているし、できていると思う」「意識しているし、だいたいできていると思う」と回答した人の割合は、各年代とも、女性の方が男性より高くなっている。

図 3.4-2 健康のための食事の認識と程度の度合い【野菜をたくさん食べること】(年齢別・全体)

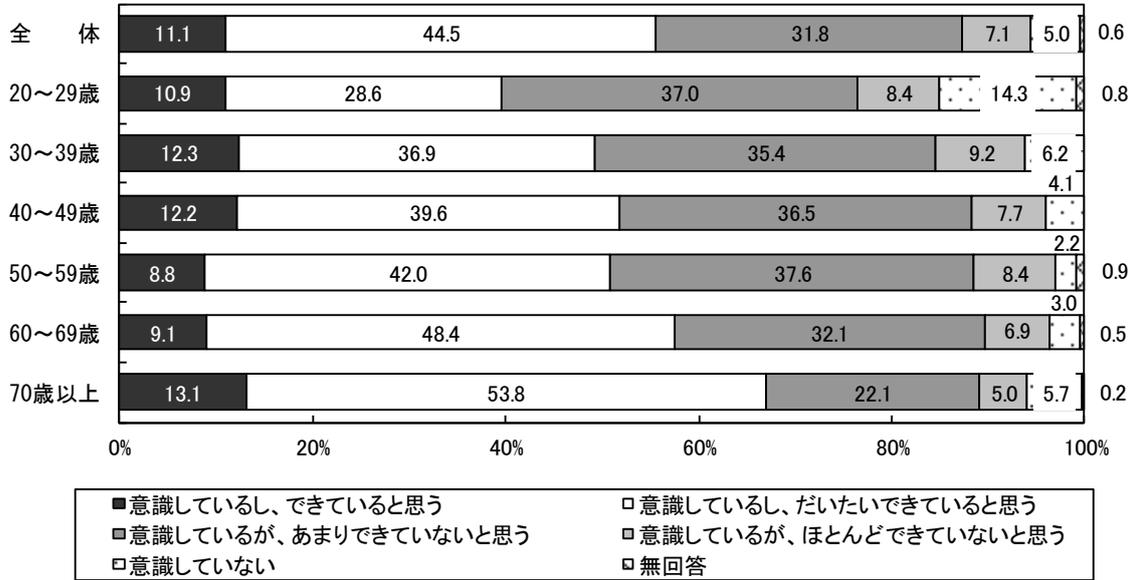
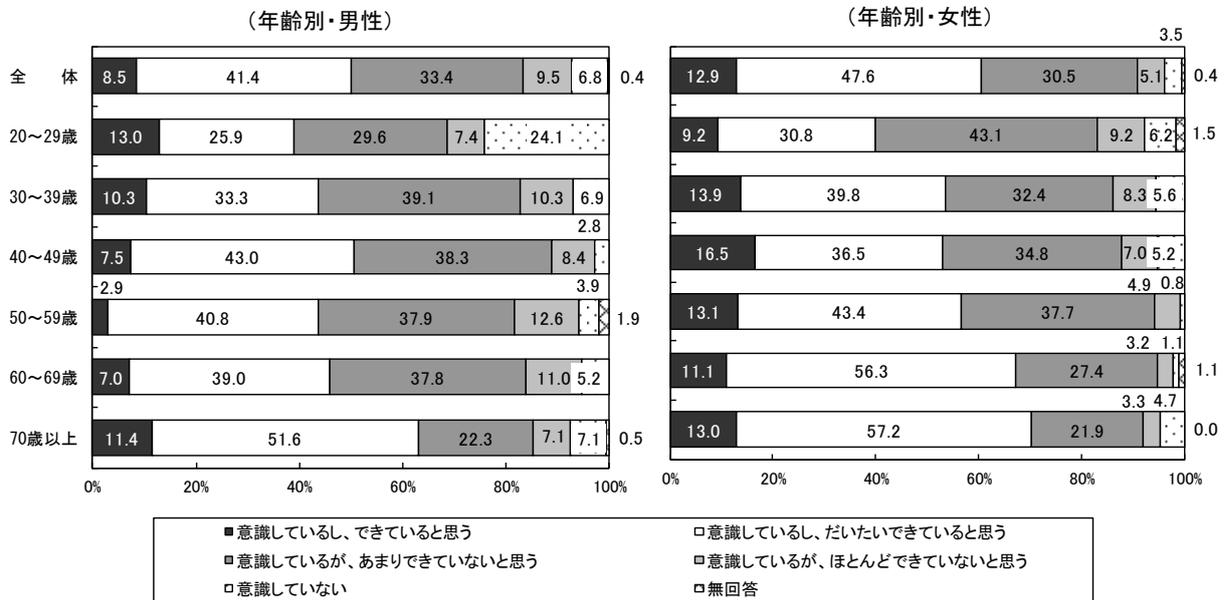


図 3.4-3 健康のための食事の認識と程度の度合い【野菜をたくさん食べること】



	計	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	年齢不明
全体	1,565	119	195	222	226	364	420	19
男性	707	54	87	107	103	172	184	0
女性	817	65	108	115	122	190	215	2

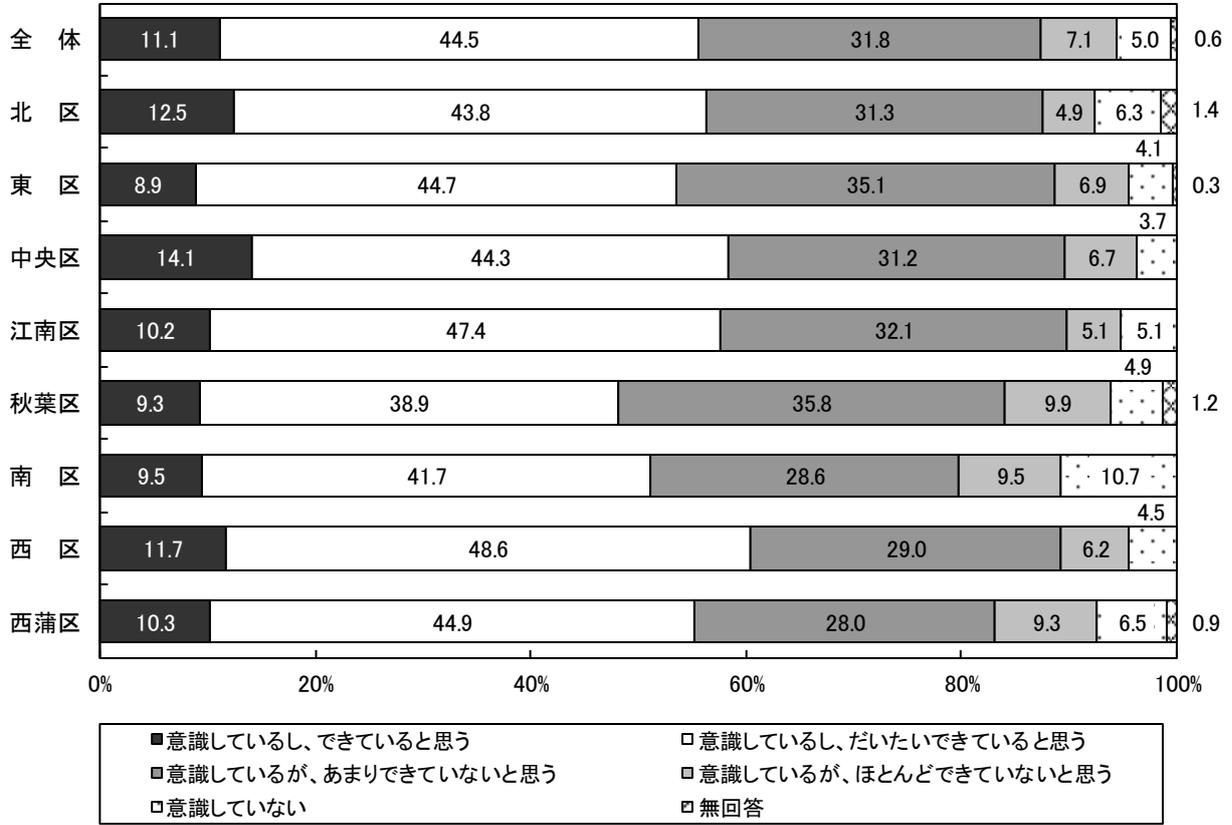
(人)

※性別不明・年齢不明者のグラフは省略した。

【地区別】

「意識しているし、できていると思う」「意識しているし、だいたいできていると思う」と回答した人の割合は、西区（60.3%）で最も高く、秋葉区（48.1%）で最も低くなっている。

図 3.4-4 健康のための食事の認識と程度の度合い〔野菜をたくさん食べること〕（地区別）



全体	北区	東区	中央区	江南区	秋葉区	南区	西区	西蒲区	地区不明
1,565	144	291	327	137	162	84	290	107	23

(人)

※地区不明者のグラフは省略した。

イ) 果物を適量（1日みかん2コ、またはリンゴ1/2コ程度）食べるようにすること

【性別・年齢別】

「意識しているし、できていると思う」「意識しているし、だいたいできていると思う」と回答した人の割合は、70歳以上（49.0%）で最も高く、20歳代（21.0%）で最も低くなっている。

性別では、「意識しているし、できていると思う」「意識しているし、だいたいできていると思う」と回答した人の割合は、20歳代で男性のほうが女性よりも高く、他の年代は女性の方が男性より高くなっている。

図 3.4-5 健康のための食事の認識と程度の度合い〔果物を適量食べるようにすること〕
（年齢別・全体）

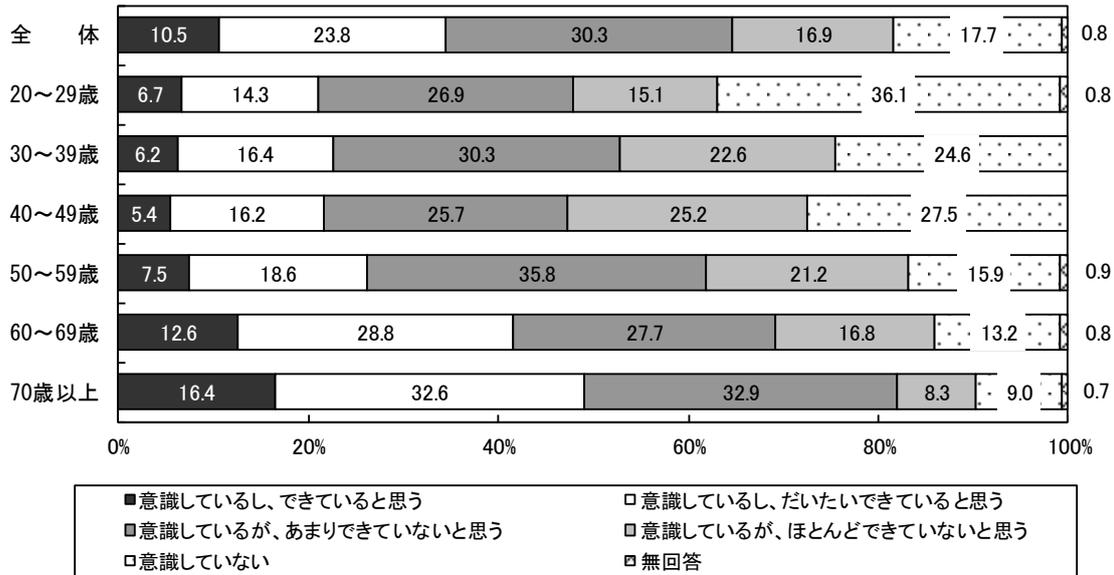
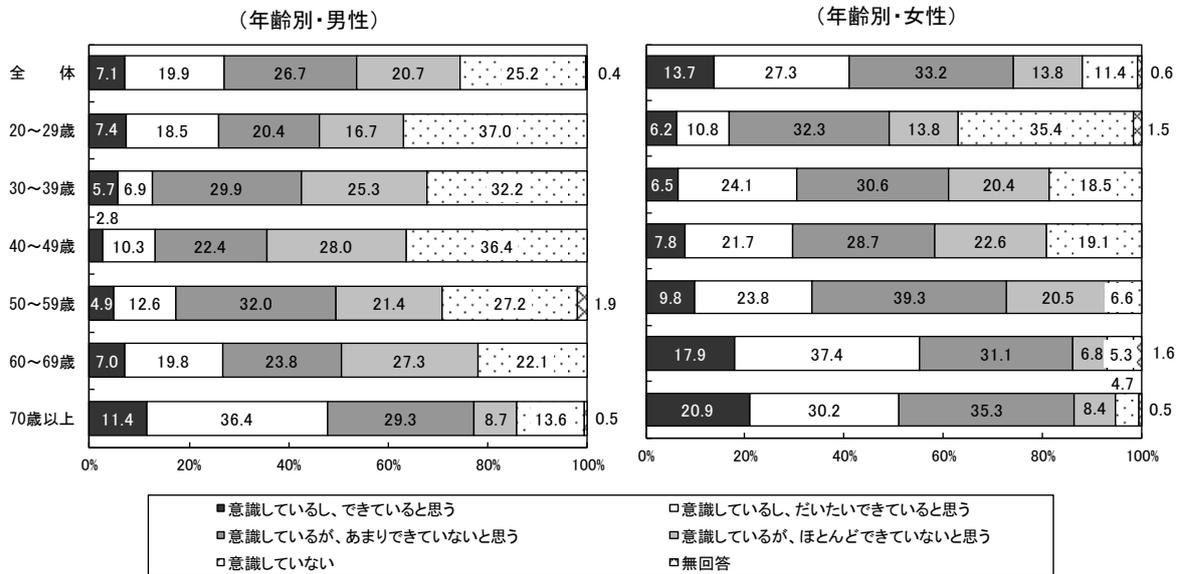


図 3.4-6 健康のための食事の認識と程度の度合い〔果物を適量食べるようにすること〕



	計	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	年齢不明
全体	1,565	119	195	222	226	364	420	19
男性	707	54	87	107	103	172	184	0
女性	817	65	108	115	122	190	215	2

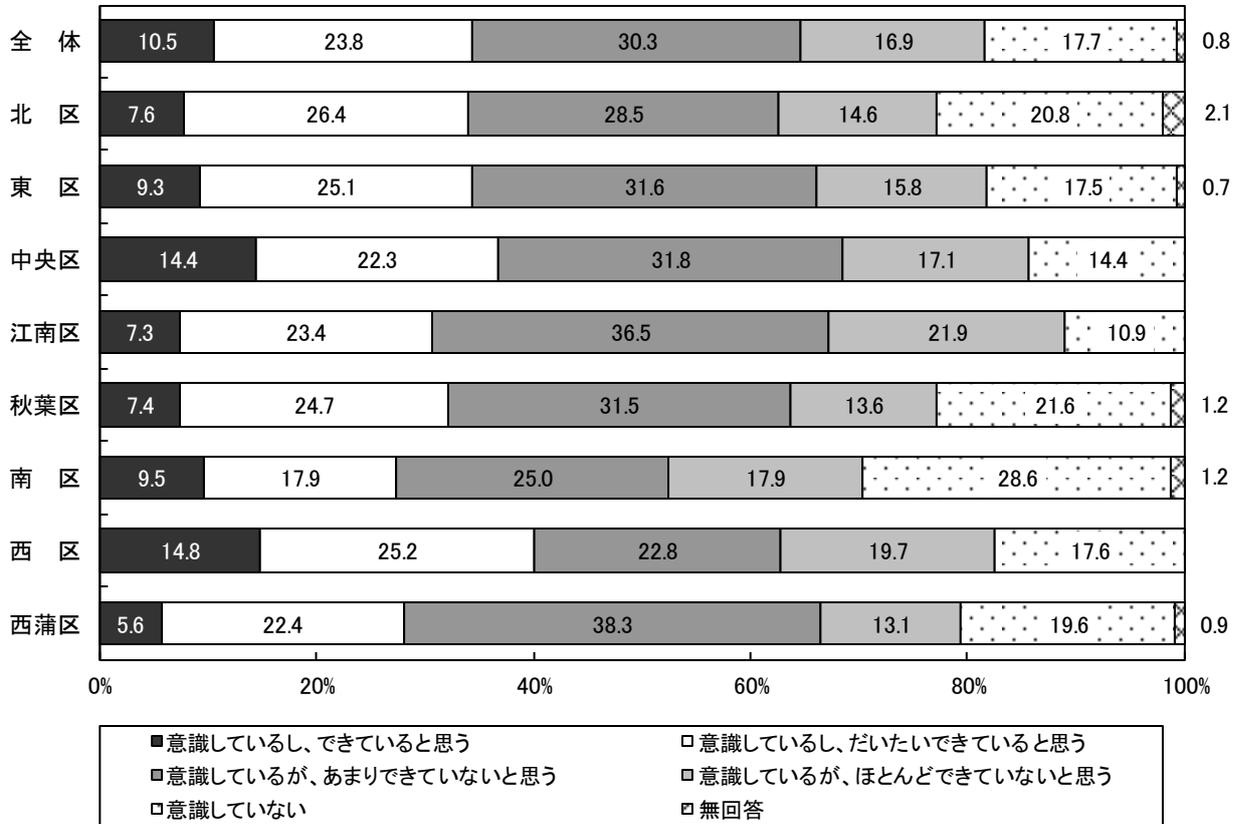
(人)

※性別不明・年齢不明者のグラフは省略した。

【地区別】

「意識しているし、できていると思う」「意識しているし、だいたいできていると思う」と回答した人の割合は、西区（40.0%）で最も高く、南区（27.4%）で最も低くなっている。

図 3.4-7 健康のための食事の認識と程度の度合い〔果物を適量食べるようにすること〕（地区別）



全体	北区	東区	中央区	江南区	秋葉区	南区	西区	西蒲区	地区不明
1,565	144	291	327	137	162	84	290	107	23

(人)

※地区不明者のグラフは省略した。

ウ) 塩分に控えめにする

【性別・年齢別】

「意識しているし、できていると思う」「意識しているし、だいたいできていると思う」と回答した人の割合は、70歳以上(60.0%)で最も高く、30歳代(33.3%)で最も低くなっている。

性別では、「意識しているし、できていると思う」「意識しているし、だいたいできていると思う」と回答した人の割合は、各年代とも、女性の方が男性より高くなっている。

図 3.4-8 健康のための食事の認識と程度の度合い〔塩分を控えめにする〕(年齢別・全体)

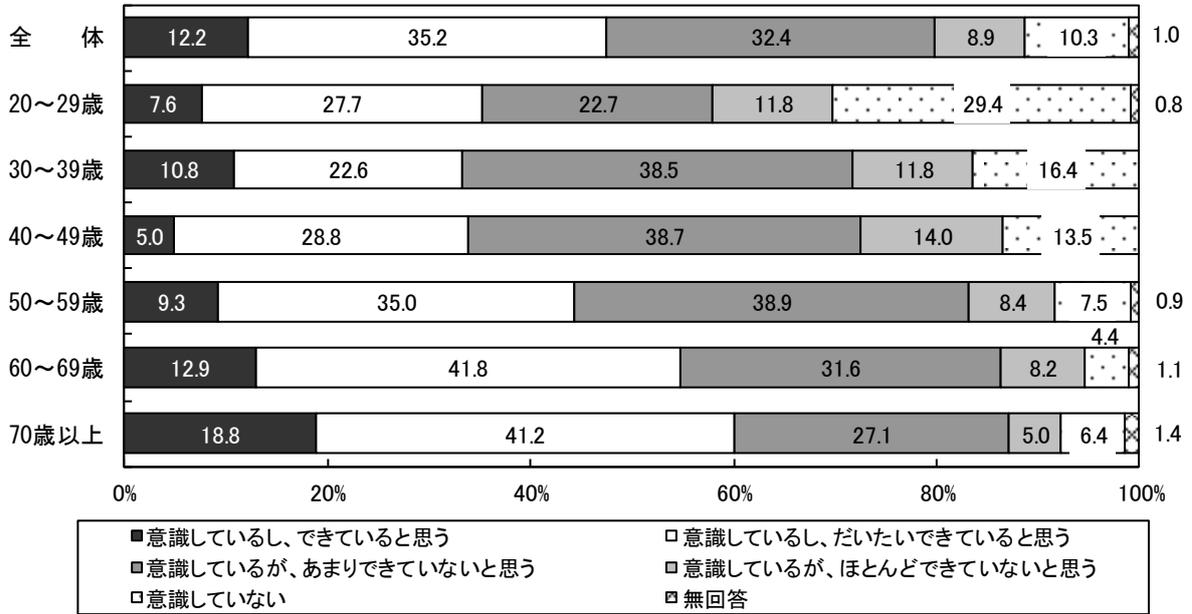
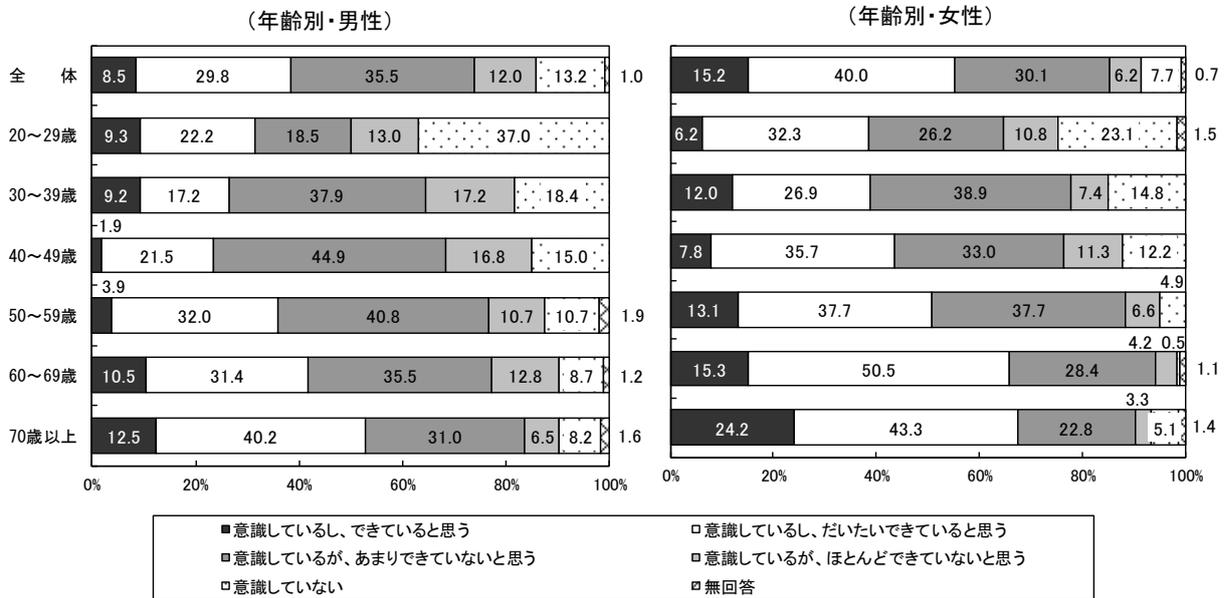


図 3.4-9 健康のための食事の認識と程度の度合い〔塩分を控えめにする〕



	計	20~29歳	30~39歳	40~49歳	50~59歳	60~69歳	70歳以上	年齢不明
全体	1,565	119	195	222	226	364	420	19
男性	707	54	87	107	103	172	184	0
女性	817	65	108	115	122	190	215	2

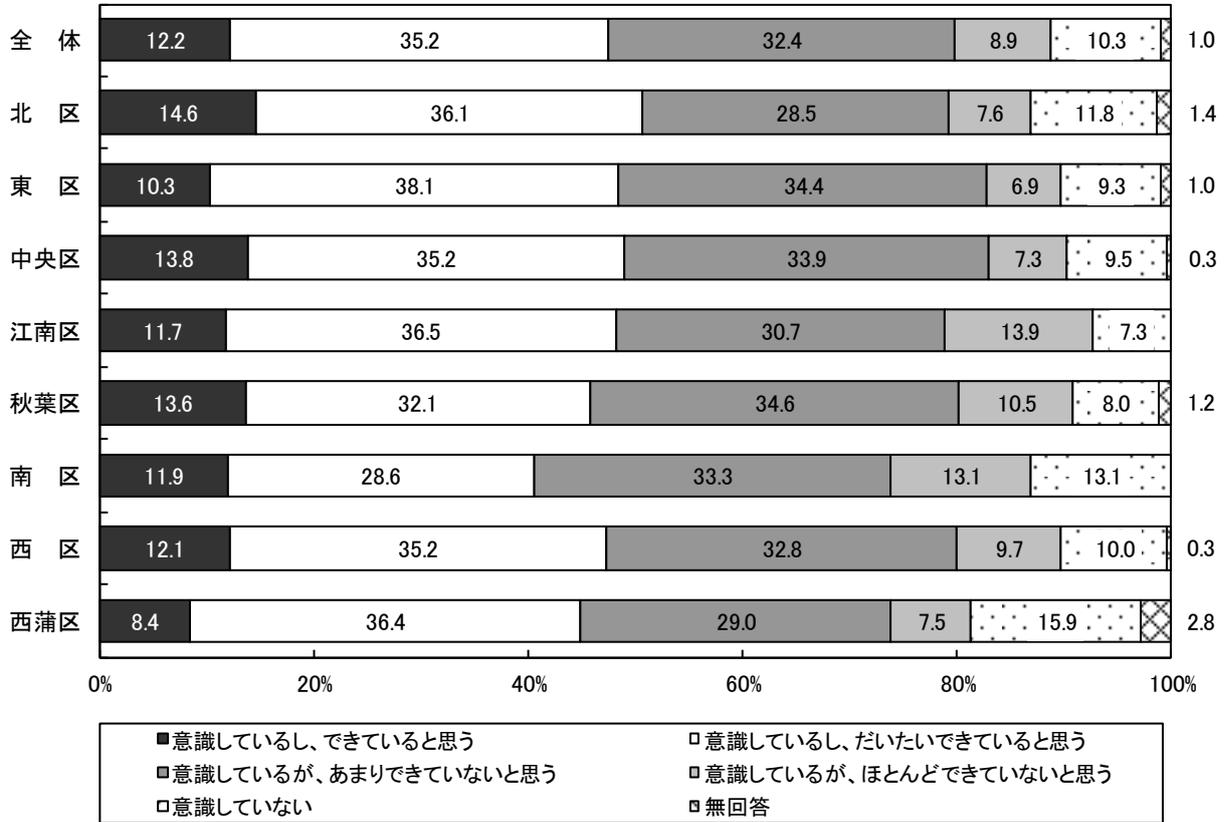
(人)

※性別不明・年齢不明者のグラフは省略した。

【地区別】

「意識しているし、できていると思う」「意識しているし、だいたいできていると思う」と回答した人の割合は、北区（50.7%）で最も高くなっている。

図 3.4-10 健康のための食事の認識と程度の度合い〔塩分を控えること〕（地区別）



全体	北区	東区	中央区	江南区	秋葉区	南区	西区	西蒲区	地区不明
1,565	144	291	327	137	162	84	290	107	23

(人)

※地区不明者のグラフは省略した。

(5) 朝食の回数

問16 あなたは日ごろ、朝食を食べていますか。(〇は1つだけ)

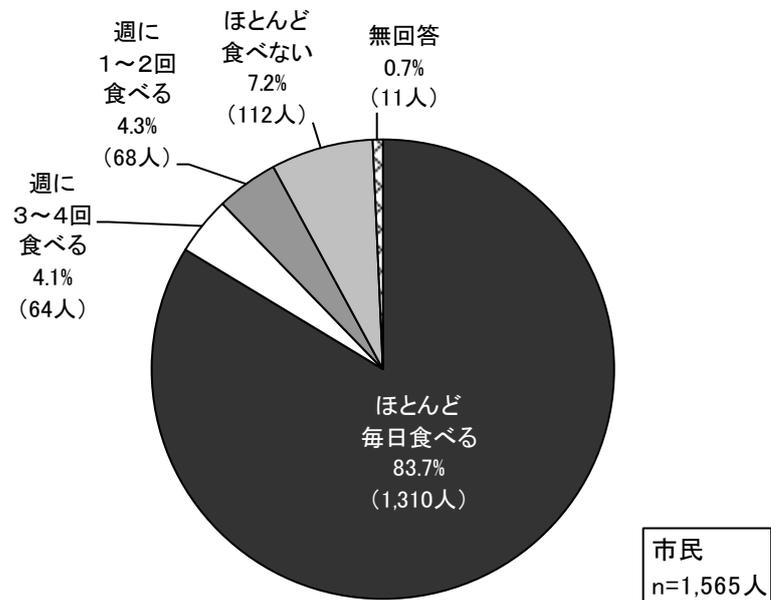
1割強が「ほとんど食べない」「週に1～2回食べる」と回答

【全体結果】

8割強(83.7%)が「ほとんど毎日食べる」と回答し、「週に3～4回食べる」(4.1%)を合わせると、9割弱(87.8%)の人が朝食を食べている。

一方、「週に1～2回食べる」(4.3%)、「ほとんど食べない」(7.2%)と回答した、朝食を食べない人は1割強(11.5%)となっている。

図 3.5-1 朝食の回数



【性別・年齢別】

各年代とも、「ほとんど毎日食べる」と回答した人が最も多く、年齢上がるにつれて朝食の回数が増える傾向が見られる。60歳以上では、9割前後の人が朝食をほぼ毎日食べている。

一方、「ほとんど食べない」と回答した人の割合は、20歳代（14.3%）が最も高く、性別でも、男性は40歳代（16.8%）、女性は20歳代（12.3%）が最も高く、20歳代～50歳代の男性も1割を超えている。

図 3.5-2 朝食の回数（年齢別・全体）

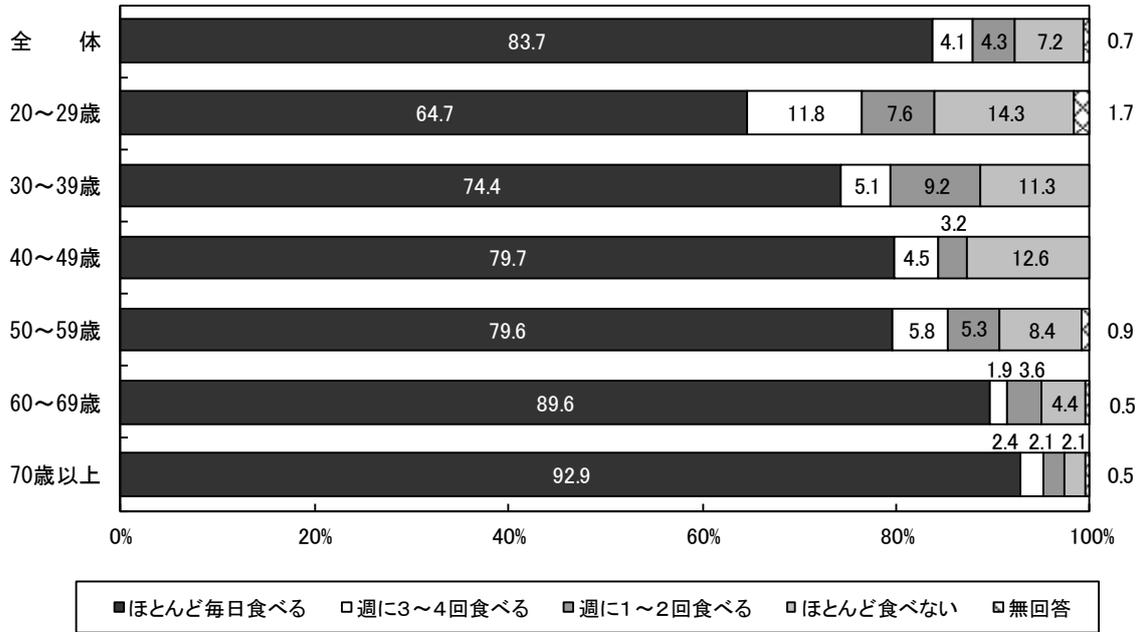
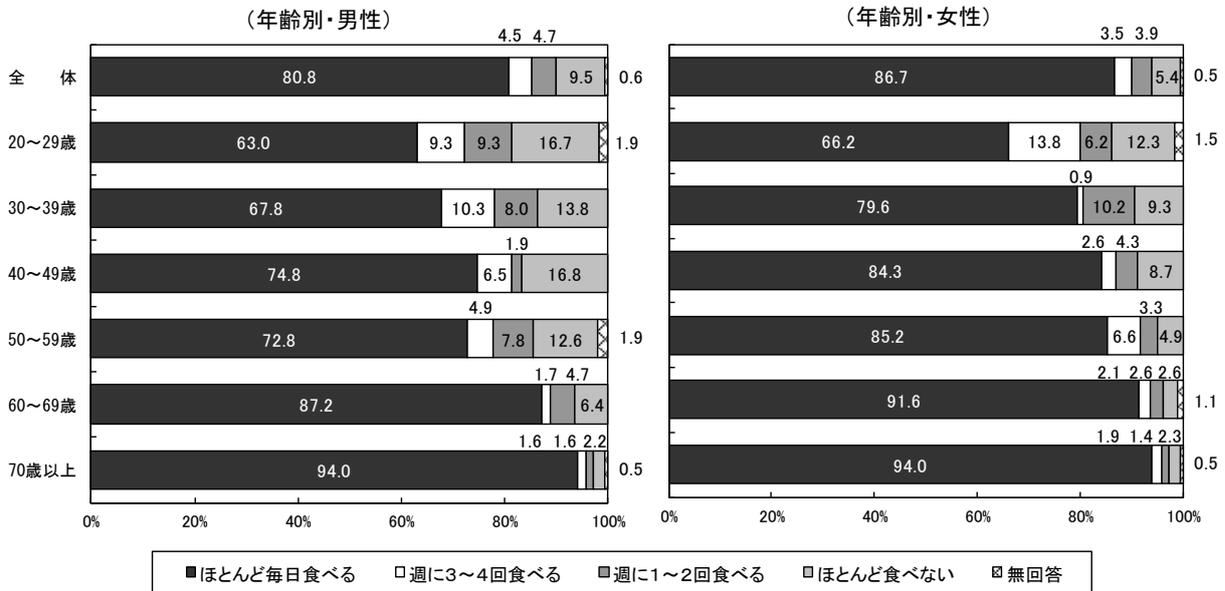


図 3.5-3 朝食の回数



	計	20~29歳	30~39歳	40~49歳	50~59歳	60~69歳	70歳以上	年齢不明
全体	1,565	119	195	222	226	364	420	19
男性	707	54	87	107	103	172	184	0
女性	817	65	108	115	122	190	215	2

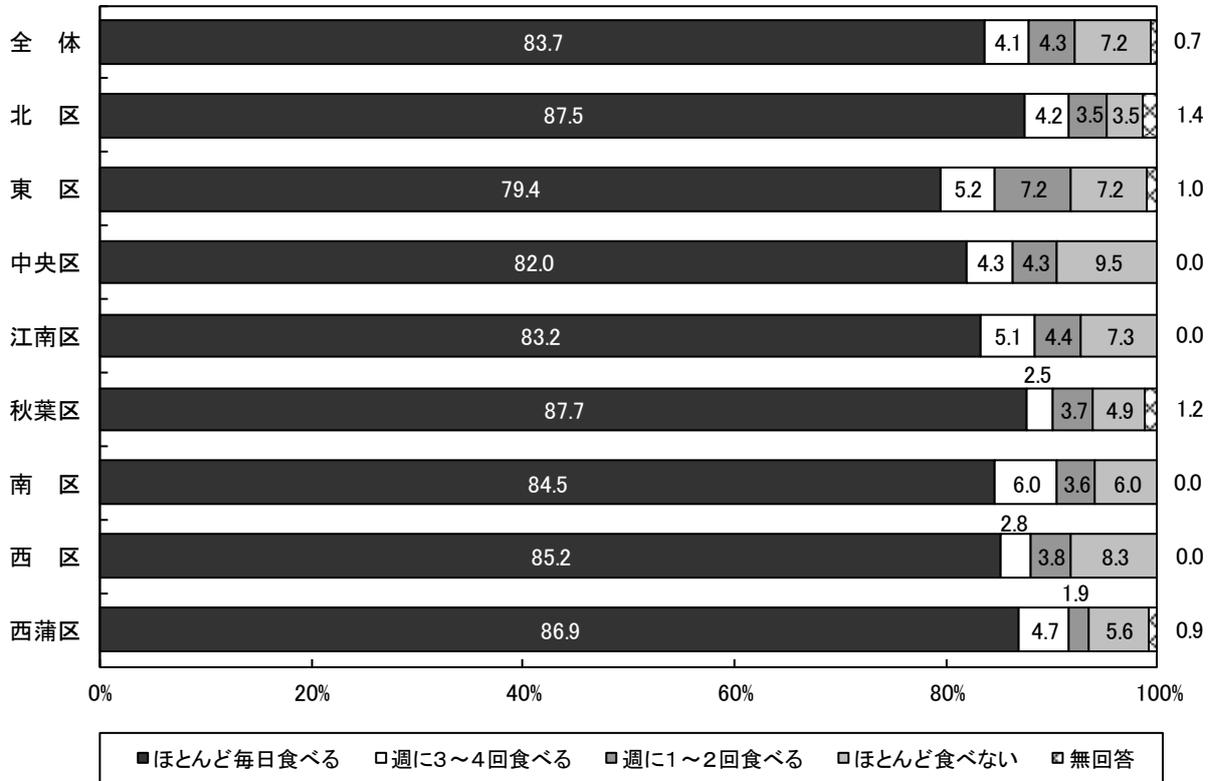
(人)

※性別不明・年齢不明者のグラフは省略した。

【地区別】

各地区ともに、「ほとんど毎日食べる」と回答した人が最も多く、東区を除き8割を超えている。

図 3.5-4 朝食の回数（地区別）



全体	北区	東区	中央区	江南区	秋葉区	南区	西区	西蒲区	地区不明
1,565	144	291	327	137	162	84	290	107	23

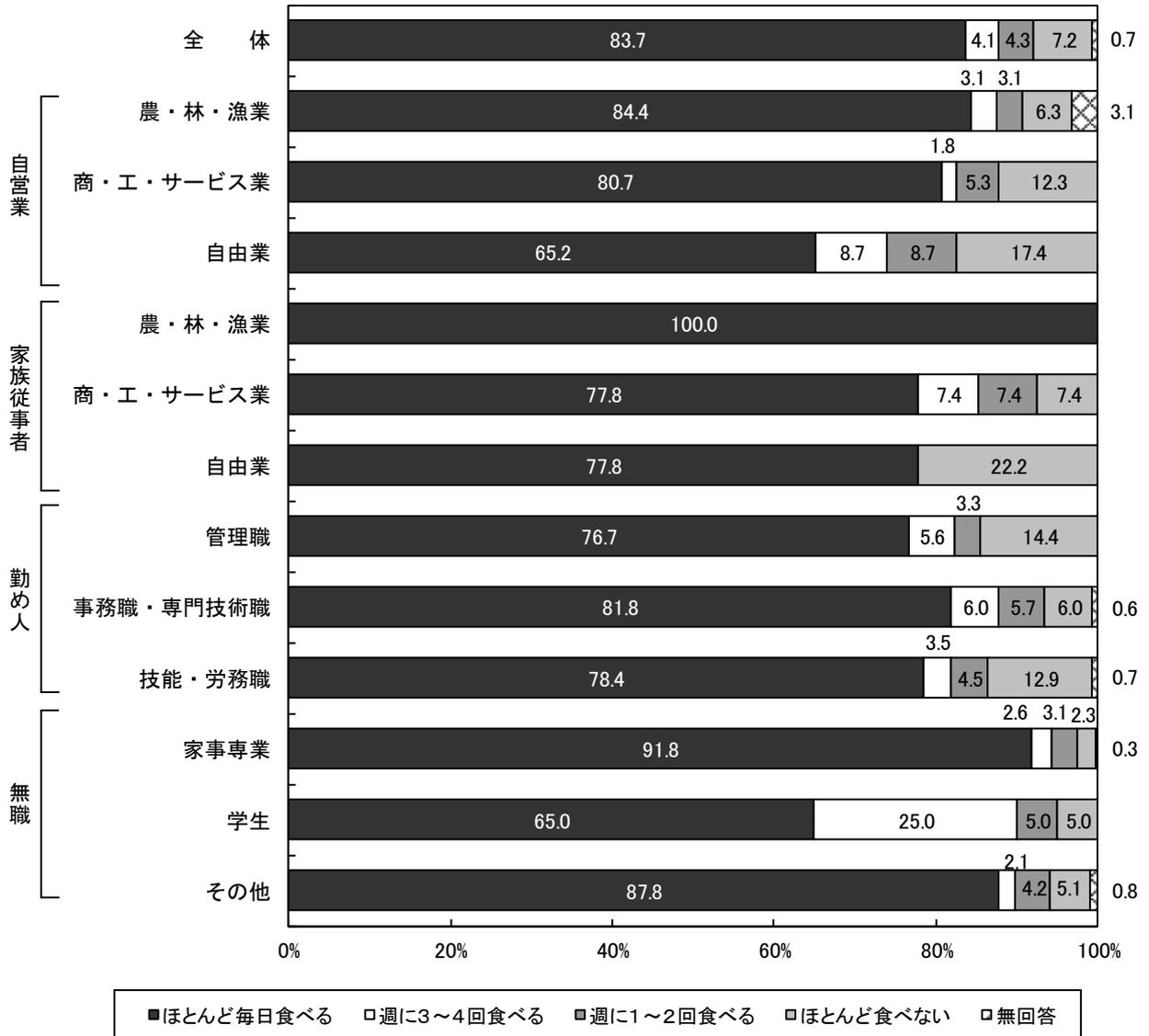
(人)

※地区不明者のグラフは省略した。

【職業別】

職種により対象者数に差があるため、図表のみの掲載とする。

図 3.5-5 朝食の回数（職業別）



全体	自営業			家族従事者		
	農・林・漁業	商・工・サービス業	自由業	農・林・漁業	商・工・サービス業	自由業
1,565	32	57	23	6	27	9

勤め人			無職			無回答
管理職	事務職・専門技術職	技能・労務職	家事専業	学生	その他	
90	336	287	390	20	237	51

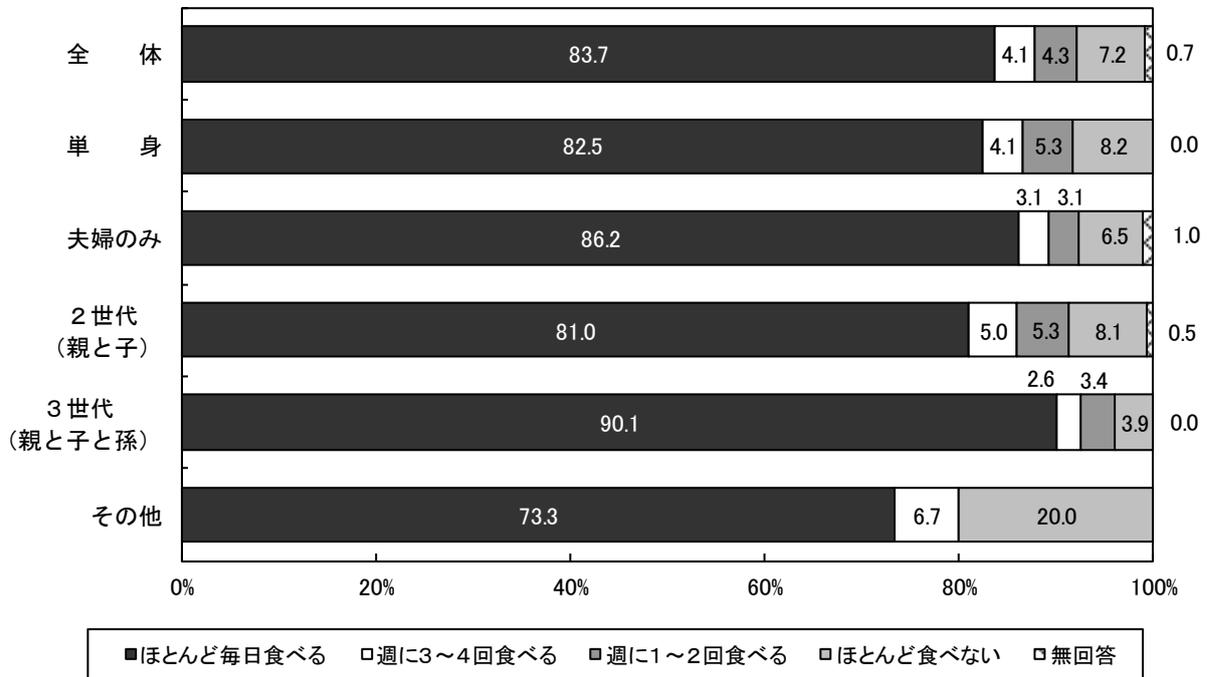
(人)

※無回答者のグラフは省略した。

【家族構成別】

各家族構成別とも、「ほとんど毎日食べる」と回答した人が最も多くなっている。なかでも、3世代（親と子と孫）（90.1%）が約9割となっている。

図 3.5-6 朝食の回数（家族構成別）



全体	単身	夫婦のみ	2世代 (親と子)	3世代 (親と子と孫)	その他	無回答
1,565	171	384	737	233	15	25

(人)

※無回答者のグラフは省略した。

(6) 朝食を食べない理由

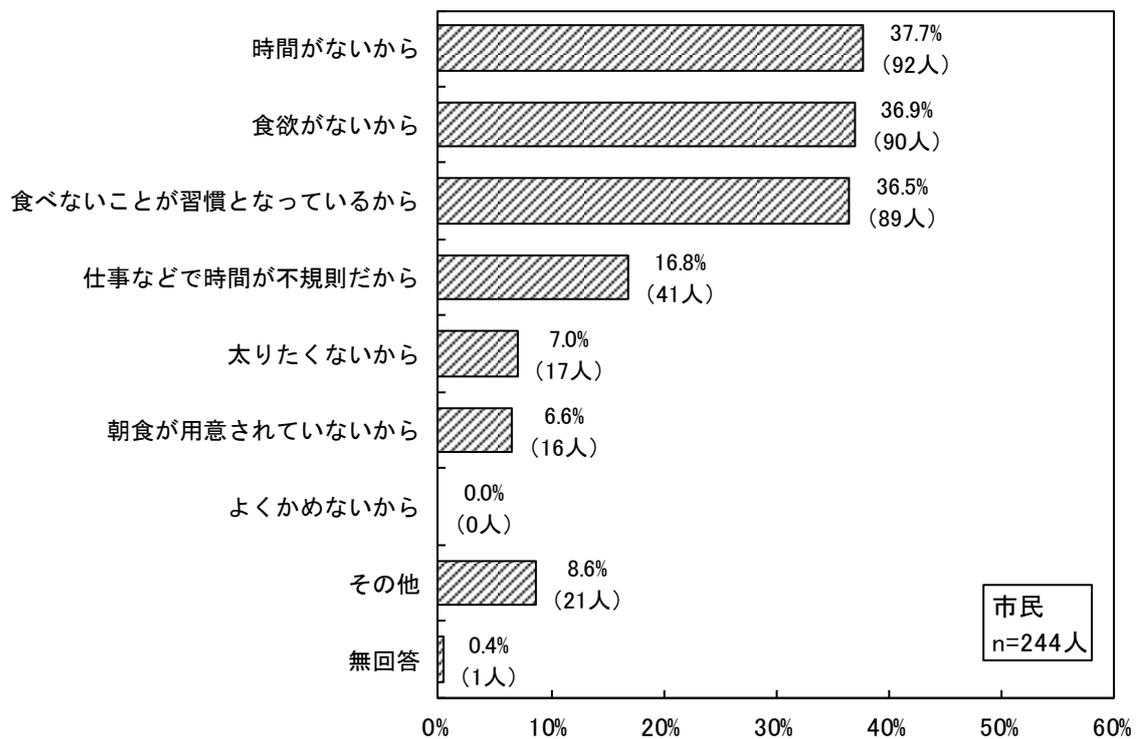
問16-1 あなたが、朝食を食べない理由は何ですか。(〇は3つまで)

「時間がないから」が4割弱

【全体結果】

朝食を食べない理由については、「時間がないから」(37.7%)と回答した人が最も多く、以下「食欲がないから」(36.9%)、「食べないことが習慣となっているから」(36.5%)、「仕事などで時間が不規則だから」(16.8%)と続いている。

図 3.6 朝食を食べない理由



【性別・年齢別】

20歳代と30歳代は「時間がないから」と回答した人の割合が最も高く、40歳代～60歳代では「食べないことが習慣となっているから」、70歳以上では「食欲がないから」と回答した人の割合が最も高くなっている。

表 2.1 朝食を食べない理由（年齢別・全体）

	対象者	時間がないから	食欲がないから	食べないことが習慣となっているから	仕事などで時間が不規則だから	太りたくないから	朝食が用意されていないから	よくかめないから	その他	無回答
計	244	37.7	36.9	36.5	16.8	7.0	6.6	0.0	8.6	0.4
20～29歳	40	60.0	25.0	25.0	25.0	7.5	5.0	0.0	7.5	0.0
30～39歳	50	52.0	32.0	42.0	22.0	6.0	18.0	0.0	10.0	2.0
40～49歳	45	37.8	31.1	40.0	20.0	6.7	6.7	0.0	13.3	0.0
50～59歳	44	34.1	38.6	36.4	15.9	11.4	2.3	0.0	4.5	0.0
60～69歳	36	22.2	41.7	44.4	2.8	5.6	2.8	0.0	8.3	0.0
70歳以上	28	3.6	64.3	28.6	10.7	3.6	0.0	0.0	7.1	0.0
年齢不明	1	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

対象者：人/回答：%

表 2.2 朝食を食べない理由（年齢別・男性）

	対象者	時間がないから	食欲がないから	食べないことが習慣となっているから	仕事などで時間が不規則だから	太りたくないから	朝食が用意されていないから	よくかめないから	その他	無回答
計	132	38.6	37.9	40.9	16.7	5.3	9.1	0.0	7.6	0.8
20～29歳	19	57.9	36.8	21.1	15.8	0.0	0.0	0.0	10.5	0.0
30～39歳	28	60.7	32.1	39.3	25.0	0.0	28.6	0.0	10.7	3.6
40～49歳	27	33.3	33.3	37.0	22.2	3.7	7.4	0.0	11.1	0.0
50～59歳	26	30.8	38.5	50.0	15.4	15.4	3.8	0.0	0.0	0.0
60～69歳	22	22.7	36.4	54.5	4.5	9.1	4.5	0.0	4.5	0.0
70歳以上	10	10.0	70.0	40.0	10.0	0.0	0.0	0.0	10.0	0.0
年齢不明	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

対象者：人/回答：%

表 2.3 朝食を食べない理由（年齢別・女性）

女性

	対象者	時間がないから	食欲がないから	食べないことが習慣となっているから	仕事などで時間が不規則だから	太りたくないから	朝食が用意されていないから	よくかめないから	その他	無回答
計	105	38.1	32.4	33.3	18.1	9.5	3.8	0.0	10.5	0.0
20～29歳	21	61.9	14.3	28.6	33.3	14.3	9.5	0.0	4.8	0.0
30～39歳	22	40.9	31.8	45.5	18.2	13.6	4.5	0.0	9.1	0.0
40～49歳	18	44.4	27.8	44.4	16.7	11.1	5.6	0.0	16.7	0.0
50～59歳	18	38.9	38.9	16.7	16.7	5.6	0.0	0.0	11.1	0.0
60～69歳	14	21.4	50.0	28.6	0.0	0.0	0.0	0.0	14.3	0.0
70歳以上	12	0.0	41.7	33.3	16.7	8.3	0.0	0.0	8.3	0.0
年齢不明	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

対象者：人/回答：%

(7) 地域や家族、友人などと食卓を囲んで食事をすることの大切さ

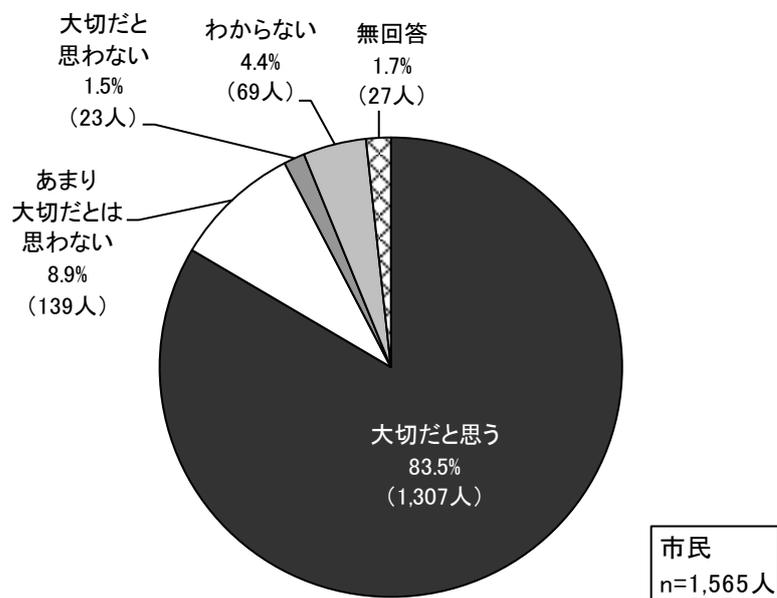
問17 あなたは地域や家族、友人などと食卓を囲んで食事をするのは大切だと思いますか。
(○は1つだけ)

8割強が「大切だと思う」と回答

【全体結果】

「大切だと思う」と回答した人の割合は8割強（83.5%）となっている。「あまり大切だとは思わない」（8.9%）、「大切だと思わない」（1.5%）と回答した人を合わせた割合は約1割（10.4%）となっている。

図 3.7-1 地域や家族、友人などと食卓を囲んで食事をすることの大切さ



【性別・年齢別】

各年代とも、「大切だと思う」と回答した人が最も多く、30歳代(90.3%)が最も高く、70歳以上(75.5%)が最も低くなっている。

性別では、「大切だと思う」割合は、30歳代では男性と女性がほぼ同率となっているが、その他の年代では女性の方が男性よりも高くなっている。

図 3.7-2 地域や家族、友人などと食卓を囲んで食事をする事の大切さ (年齢別・全体)

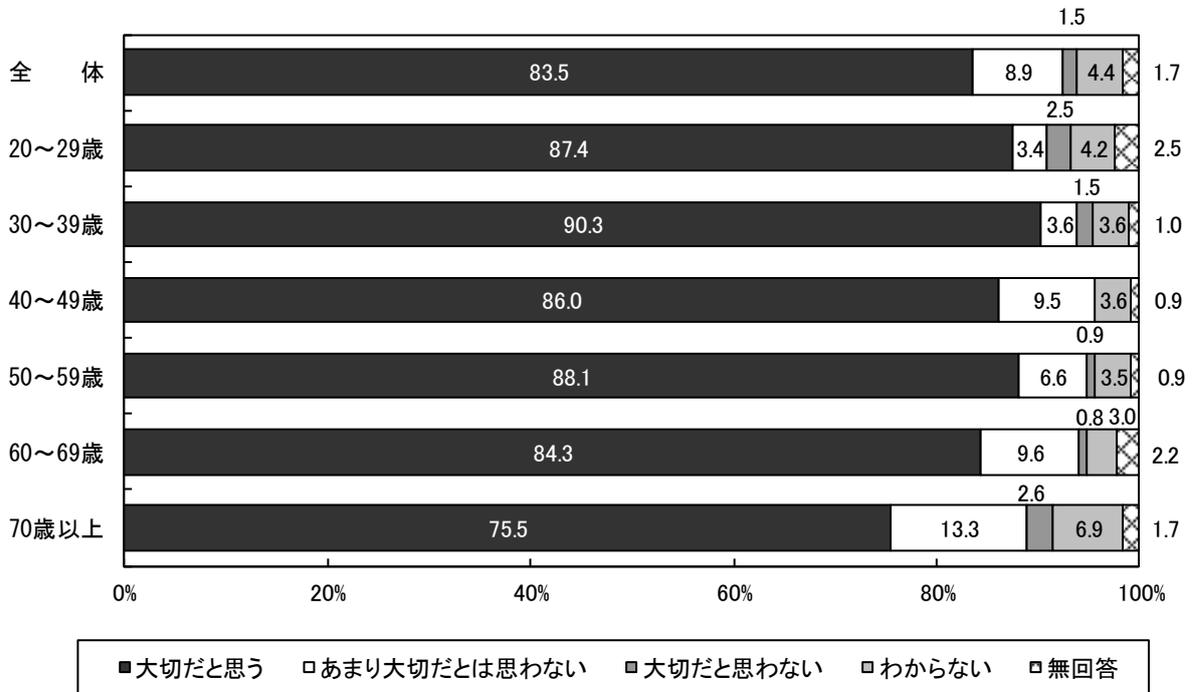
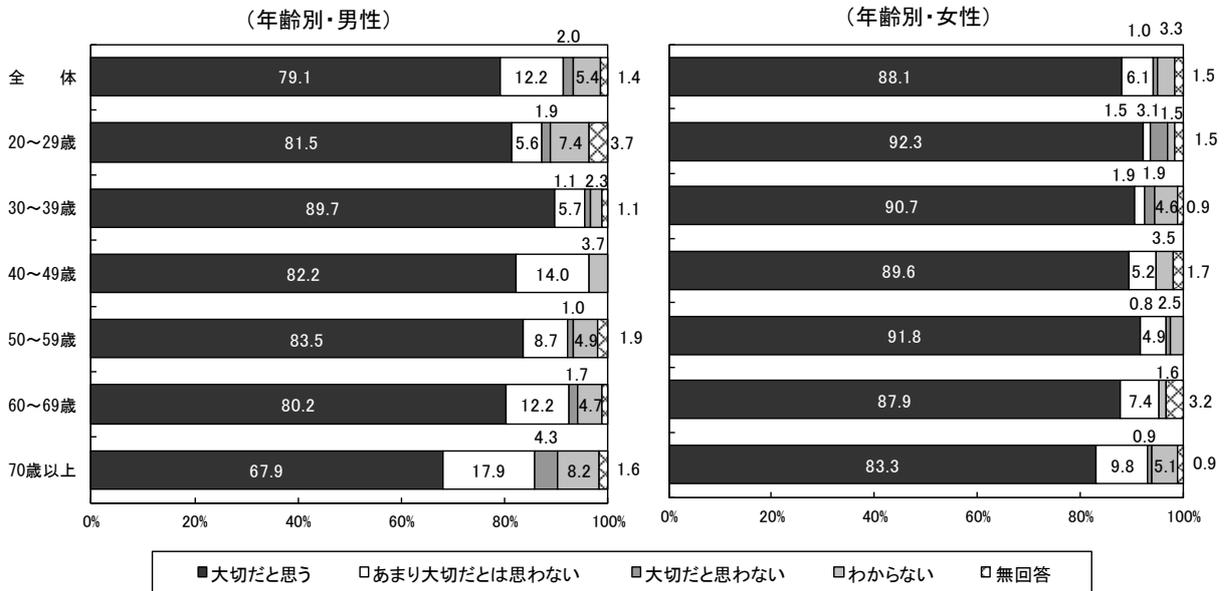


図 3.7-3 地域や家族、友人などと食卓を囲んで食事をする事の大切さ



	計	20~29歳	30~39歳	40~49歳	50~59歳	60~69歳	70歳以上	年齢不明
全体	1,565	119	195	222	226	364	420	19
男性	707	54	87	107	103	172	184	0
女性	817	65	108	115	122	190	215	2

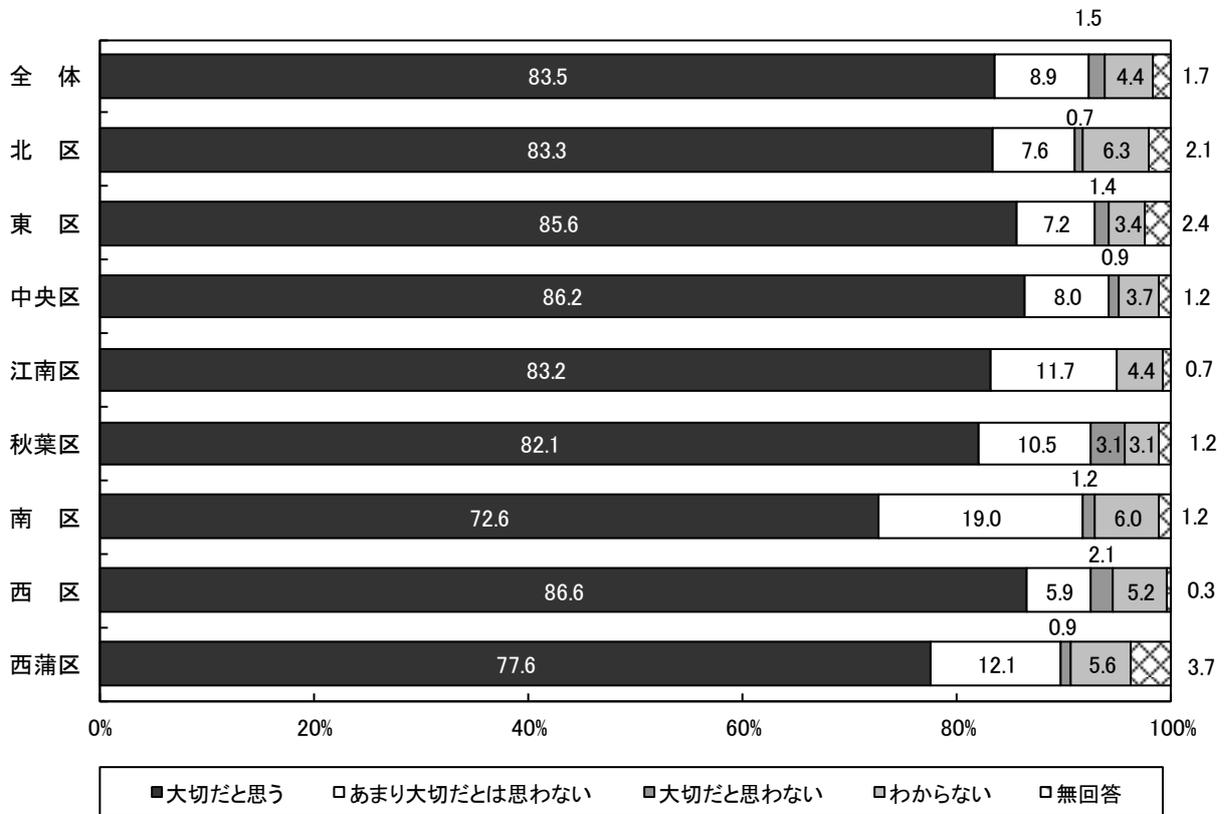
(人)

※性別不明・年齢不明者のグラフは省略した。

【地区別】

各地区ともに「大切だと思う」と回答した人が最も多いが、南区（72.6%）では7割強と他地区に比べて低くなっている。

図 3.7-4 地域や家族、友人などと食卓を囲んで食事をすることの大切さ（地区別）



全体	北区	東区	中央区	江南区	秋葉区	南区	西区	西蒲区	地区不明
1,565	144	291	327	137	162	84	290	107	23

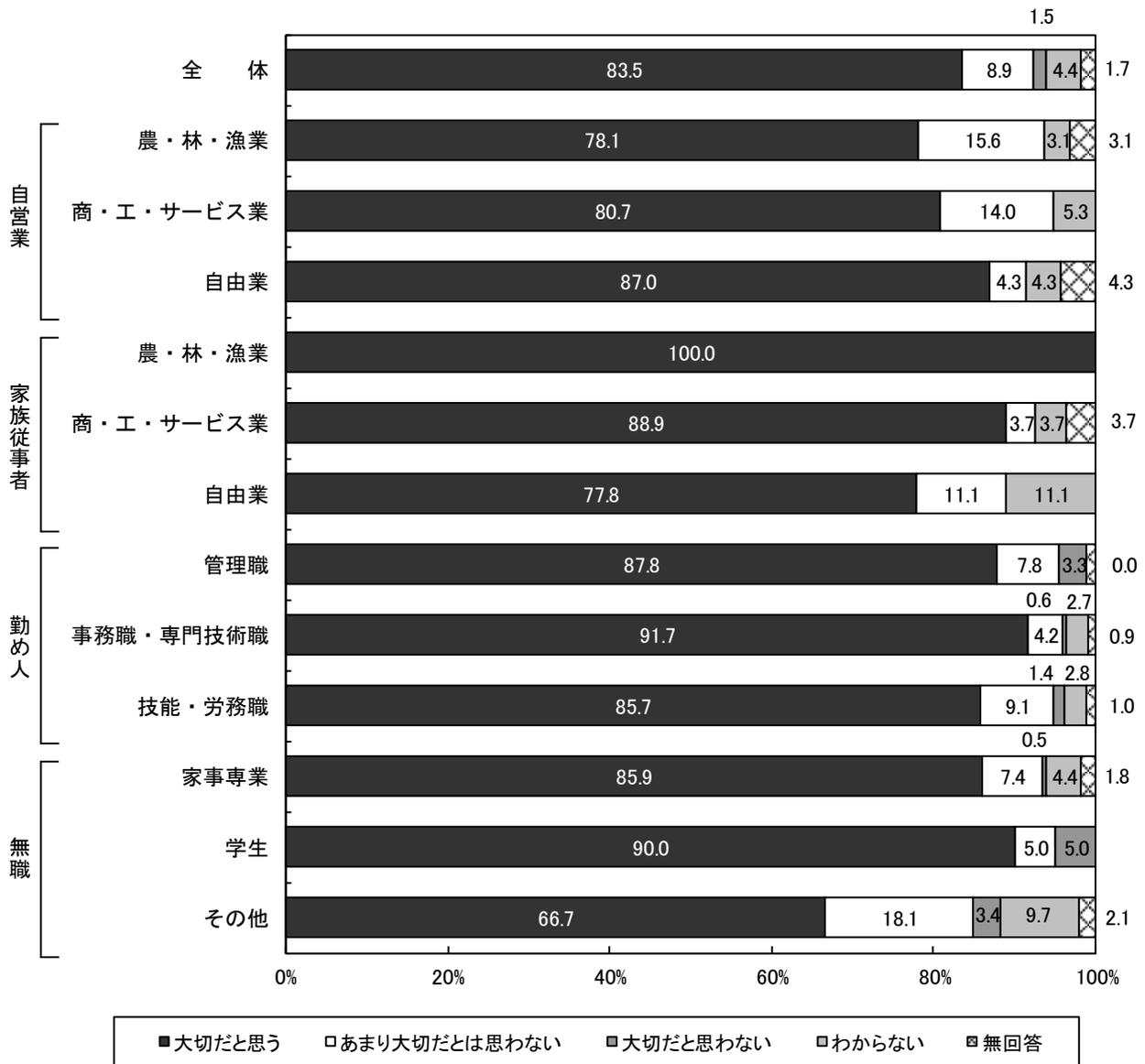
(人)

※地区不明者のグラフは省略した。

【職業別】

職種により対象者数に差があるため、図表のみの掲載とする。

図 3.7-5 地域や家族、友人などと食卓を囲んで食事をする事の大切さ（職業別）



全体	自営業			家族従事者		
	農・林・漁業	商・工・サービス業	自由業	農・林・漁業	商・工・サービス業	自由業
1,565	32	57	23	6	27	9

勤め人			無職			無回答
管理職	事務職・専門技術職	技能・労務職	家事専業	学生	その他	
90	336	287	390	20	237	51

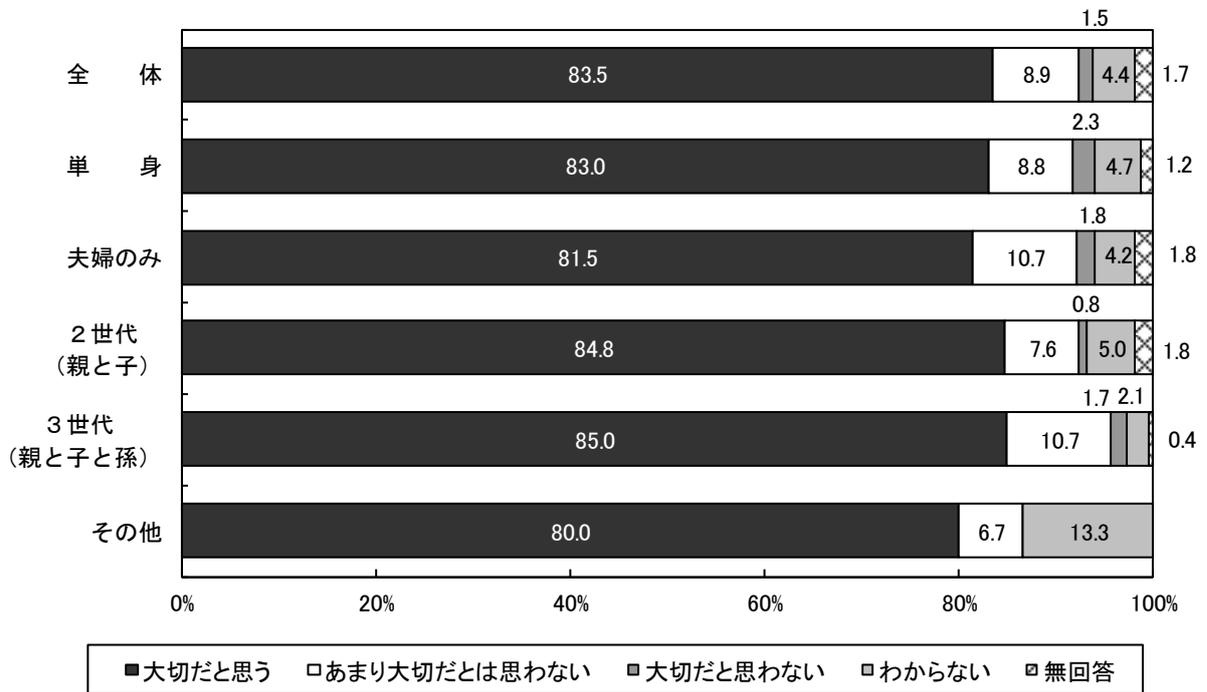
(人)

※無回答者のグラフは省略した。

【家族構成別】

各家族構成別とも、「ほとんど毎日食べる」と回答した人が最も多くなっている。

図 3.7-6 地域や家族、友人などと食卓を囲んで食事をすることの大切さ（家族構成別）



全体	単身	夫婦のみ	2世代 (親と子)	3世代 (親と子と孫)	その他	無回答
1,565	171	384	737	233	15	25

(人)

※無回答者のグラフは省略した。

(8) 家族と朝食を食べる回数

問18 家族と一緒に食べる頻度について伺います。

ア) 朝食を家族と一緒に食べることはどのくらいありますか。(〇は1つだけ)

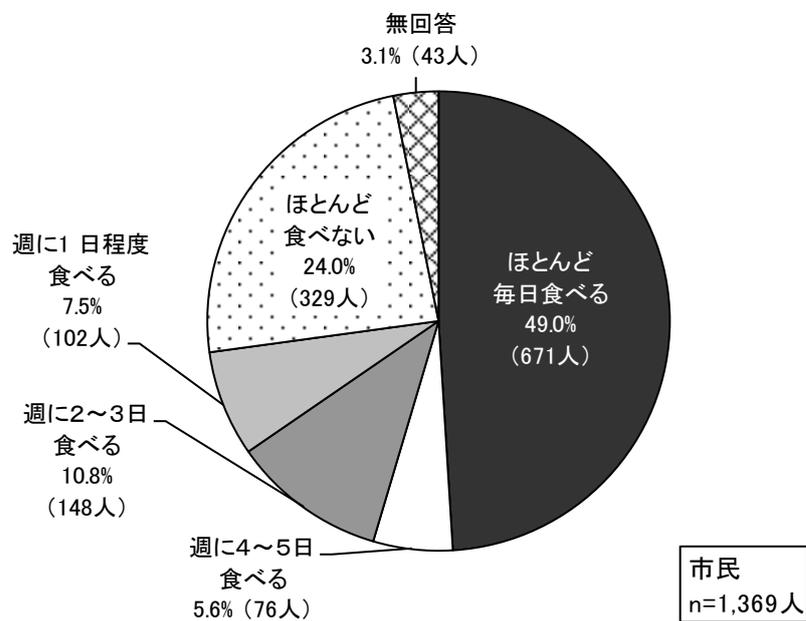
半数弱が「ほとんど毎日食べる」と回答

【全体結果】

半数弱(49.0%)が「ほとんど毎日食べる」と回答し、「週に4～5日食べる」(5.6%)、「週に2～3日食べる」(10.8%)を合わせると、7割弱(65.4%)の人が家族と一緒に朝食を食べている。

一方、「週に1日程度食べる」(7.5%)、「ほとんど食べない」(24.0%)と回答した、家族と一緒に朝食を食べない人は3割強(31.5%)となっている。

図 3.8-1 家族と朝食を食べる回数



【性別・年齢別】

30歳以上では「ほとんど毎日食べる」と回答した人が最も多く、70歳以上では7割弱となっている。
一方、20歳代では5割弱（46.9%）の人が「ほとんど食べない」と回答している

図 3.8-2 家族と朝食を食べる回数（年齢別）

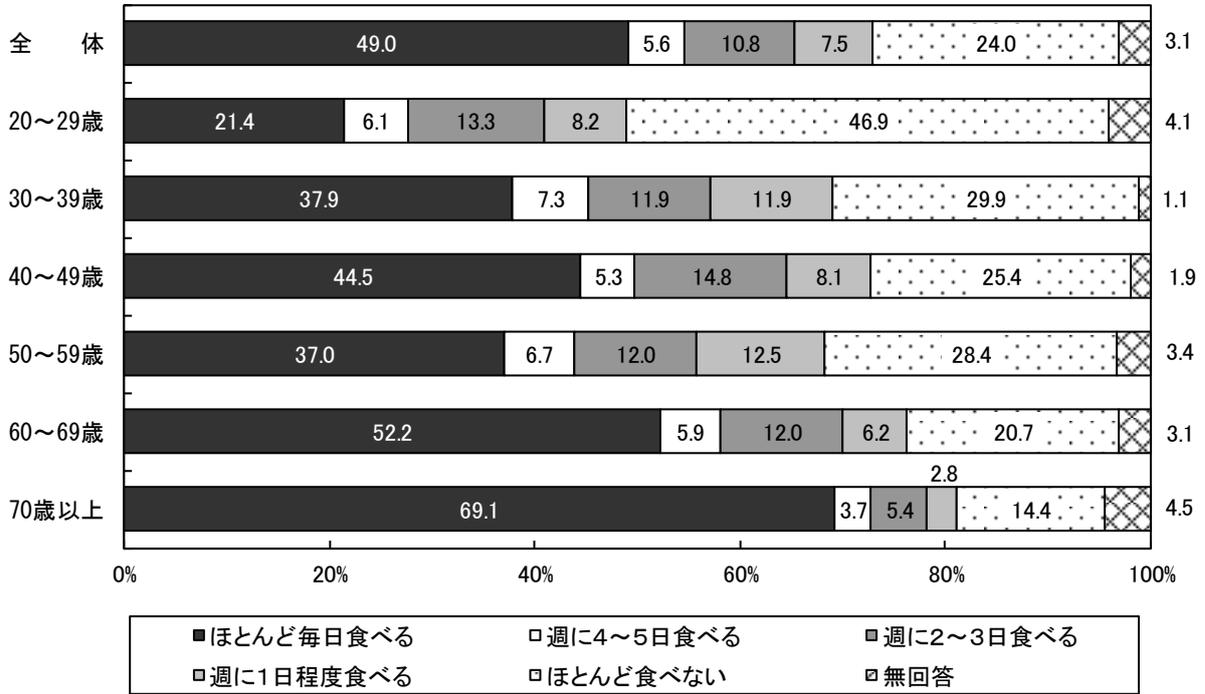
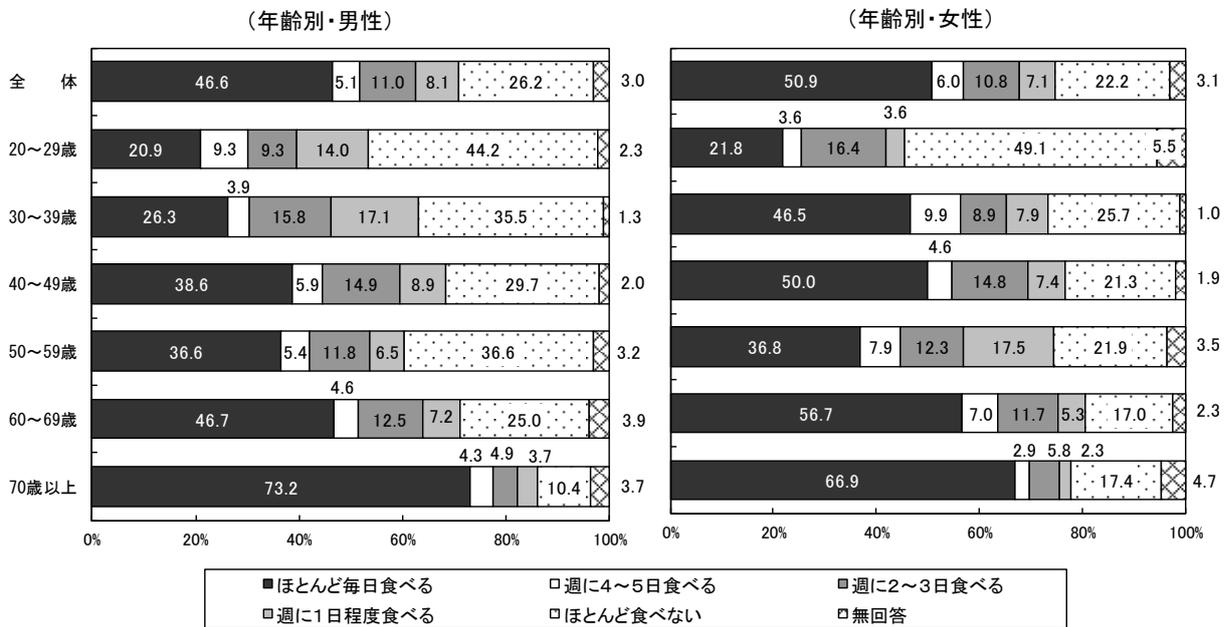


図 3.8-3 家族と朝食を食べる回数



	計	20~29歳	30~39歳	40~49歳	50~59歳	60~69歳	70歳以上	年齢不明
全 体	1,369	98	177	209	208	324	353	0
男 性	629	43	76	101	93	152	164	0
女 性	721	55	101	108	114	171	172	0

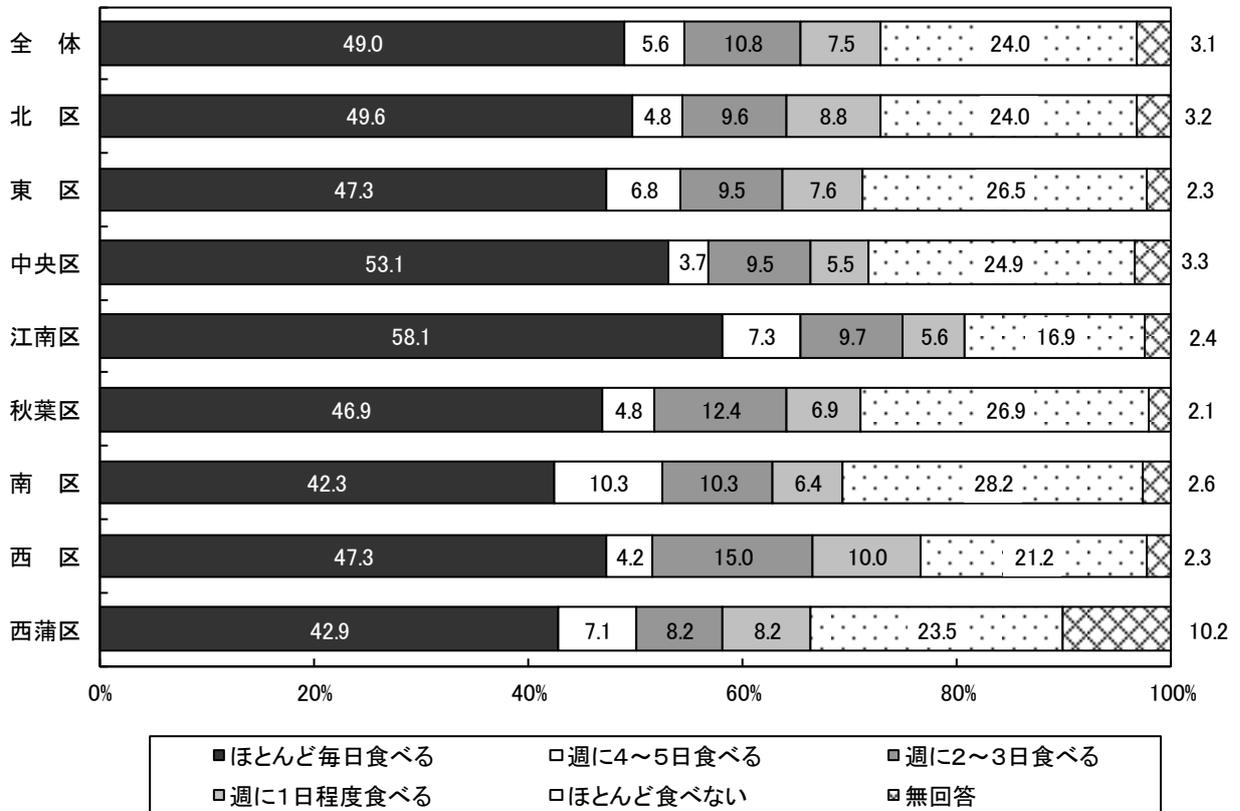
(人)

※性別不明・年齢不明者のグラフは省略した。

【地区別】

各地区とも、「ほとんど毎日食べる」と回答した人が最も多く、江南区（58.1%）が最も高くなっている。一方「ほとんど食べない」の割合は、南区（28.2%）が最も高くなっている。

図 3.8-4 家族と朝食を食べる回数（地区別）



全体	北区	東区	中央区	江南区	秋葉区	南区	西区	西蒲区	地区不明
1,369	125	264	273	124	145	78	260	98	2

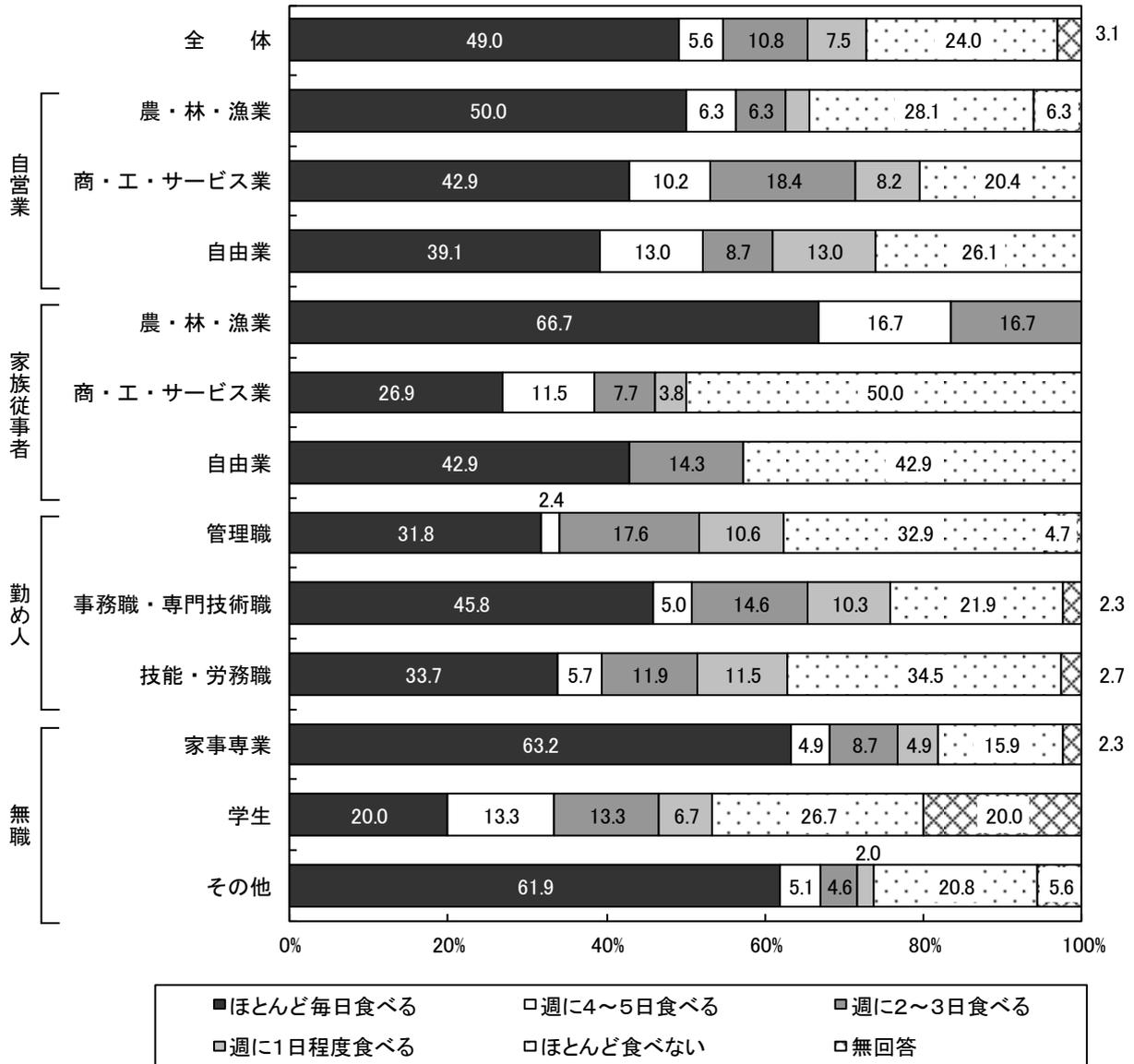
(人)

※地区不明者のグラフは省略した。

【職業別】

職種により対象者数に差があるため、図表のみの掲載とする。

図 3.8-5 家族と朝食を食べる回数（職業別）



全体	自営業			家族従事者		
	農・林・漁業	商・工・サービス業	自由業	農・林・漁業	商・工・サービス業	自由業
1,369	32	49	23	6	26	7

勤め人			無職			無回答
管理職	事務職・専門技術職	技能・労務職	家事専業	学生	その他	
85	301	261	345	15	197	22

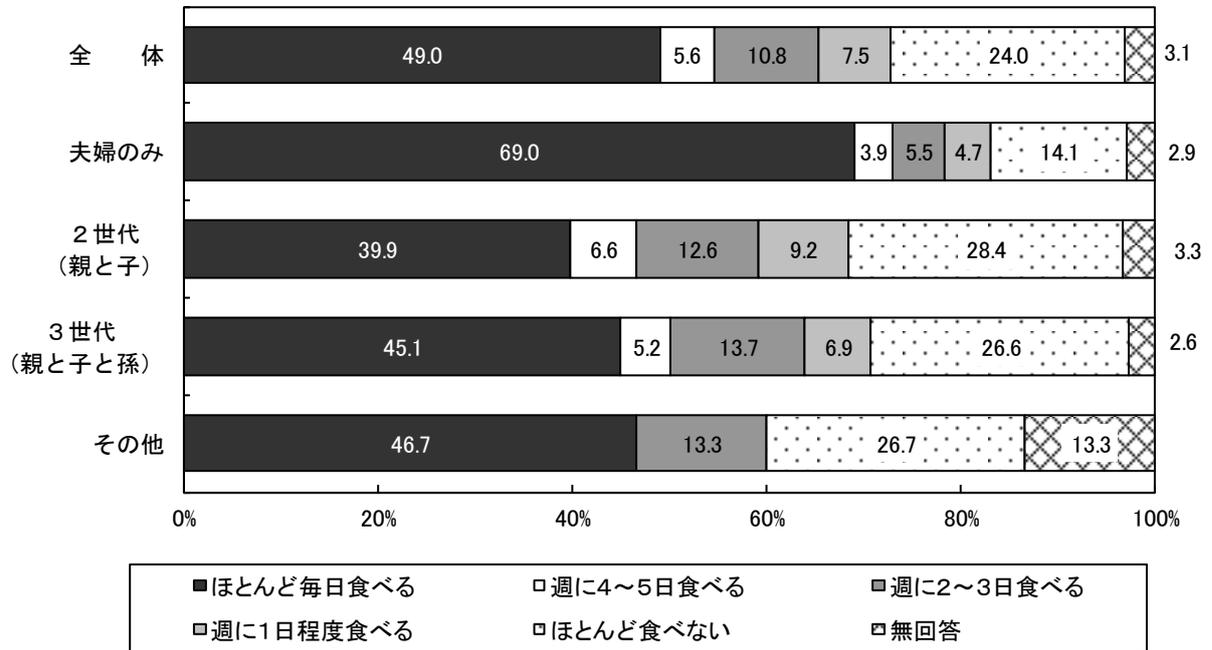
(人)

※無回答者のグラフは省略した。

【家族構成別】

「ほとんど毎日食べる」と回答した人の割合は、夫婦のみ（69.0%）で最も高く、7割弱となっている。

図 3.8-6 家族と朝食を食べる回数（家族構成別）



全 体	単 身	夫婦のみ	2世代 (親と子)	3世代 (親と子と孫)	その他	無回答
1,369	0	384	737	233	15	0

(人)

(9) 家族と夕食を食べる回数

問18 家族と一緒に食べる頻度について伺います。

イ) 夕食を家族と一緒に食べることはどのくらいありますか。(〇は1つだけ)

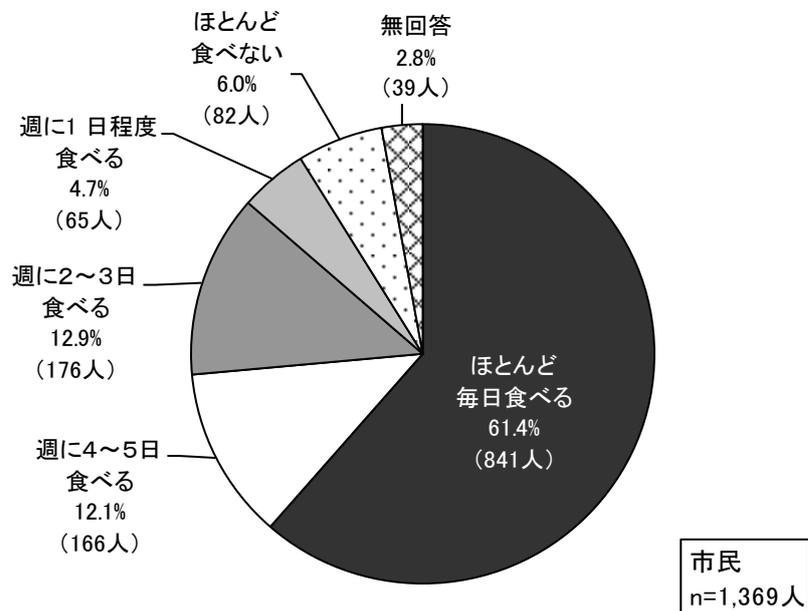
6割強が「ほとんど毎日食べる」と回答

【全体結果】

6割強(61.4%)が「ほとんど毎日食べる」と回答し、「週に4～5日食べる」(12.1%)、「週に2～3日食べる」(12.9%)を合わせると、9割弱(86.4%)の人が家族と一緒に夕食を食べている。

一方、「週に1日程度食べる」(4.7%)、「ほとんど食べない」(6.0%)と回答した、家族と一緒に夕食を食べない人は1割強(10.7%)となっている。

図 3.9-1 家族と夕食を食べる回数



【性別・年齢別】

各年代とも、「ほとんど毎日食べる」と回答した人が最も多く、70歳以上では7割を超えている。
 また、性別で見ると、「ほとんど毎日食べる」の割合は、30～60歳代で女性の方が高くなっている。

図 3.9-2 家族と夕食を食べる回数（年齢別）

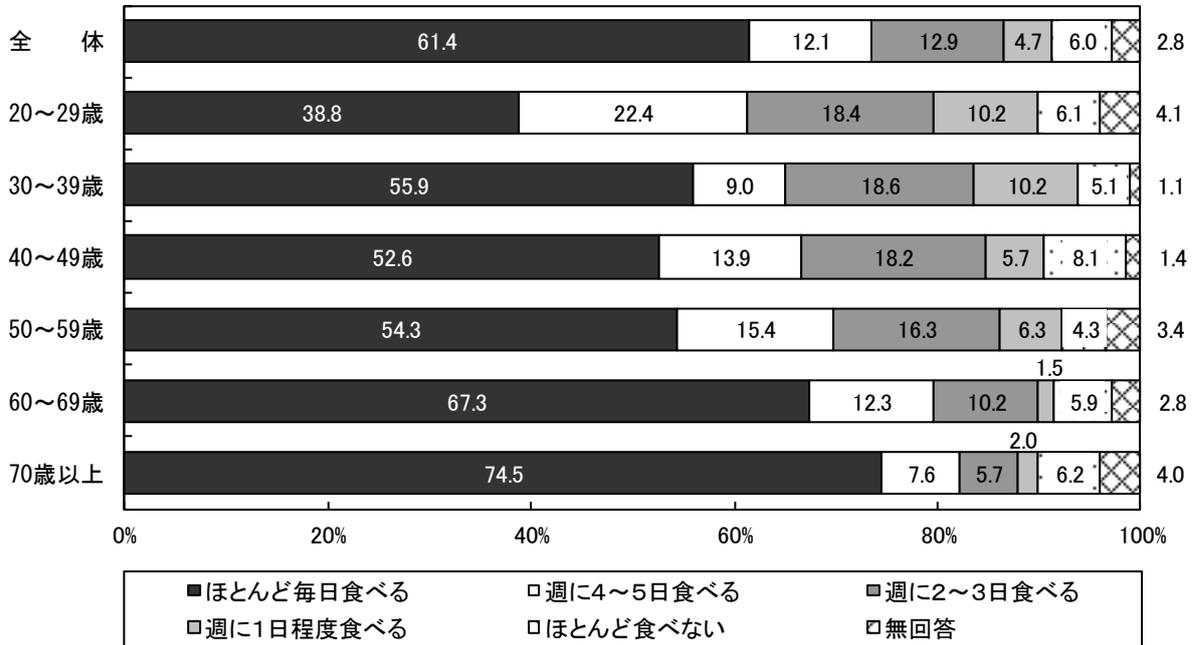
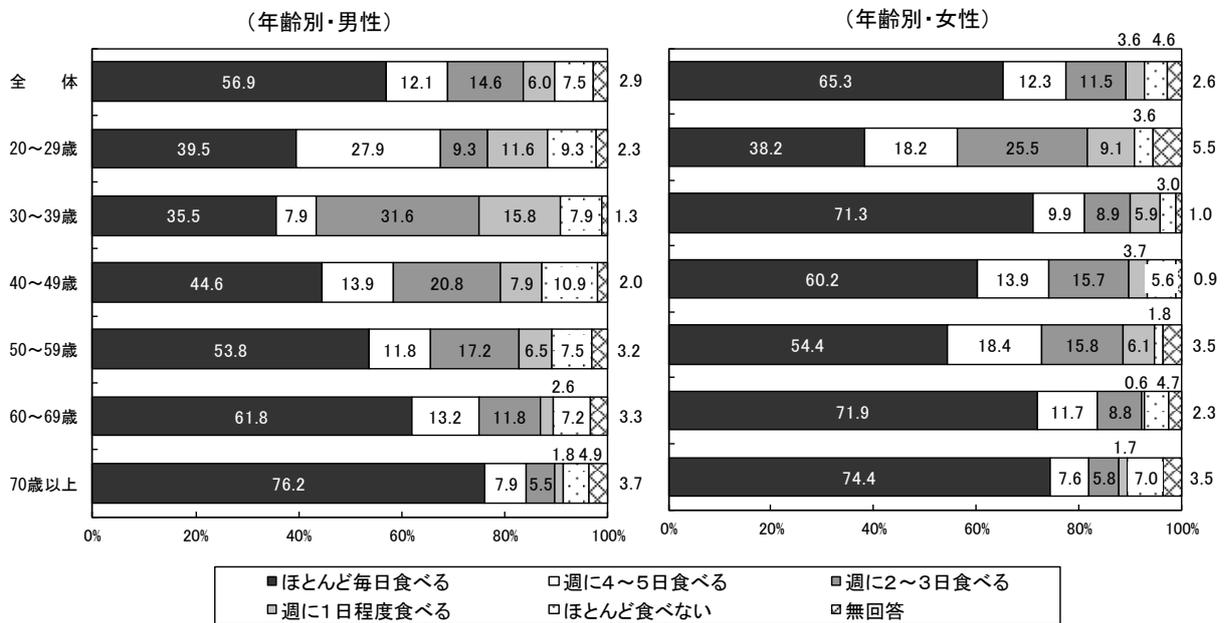


図 3.9-3 家族と夕食を食べる回数



	計	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	年齢不明
全体	1,369	98	177	209	208	324	353	0
男性	629	43	76	101	93	152	164	0
女性	721	55	101	108	114	171	172	0

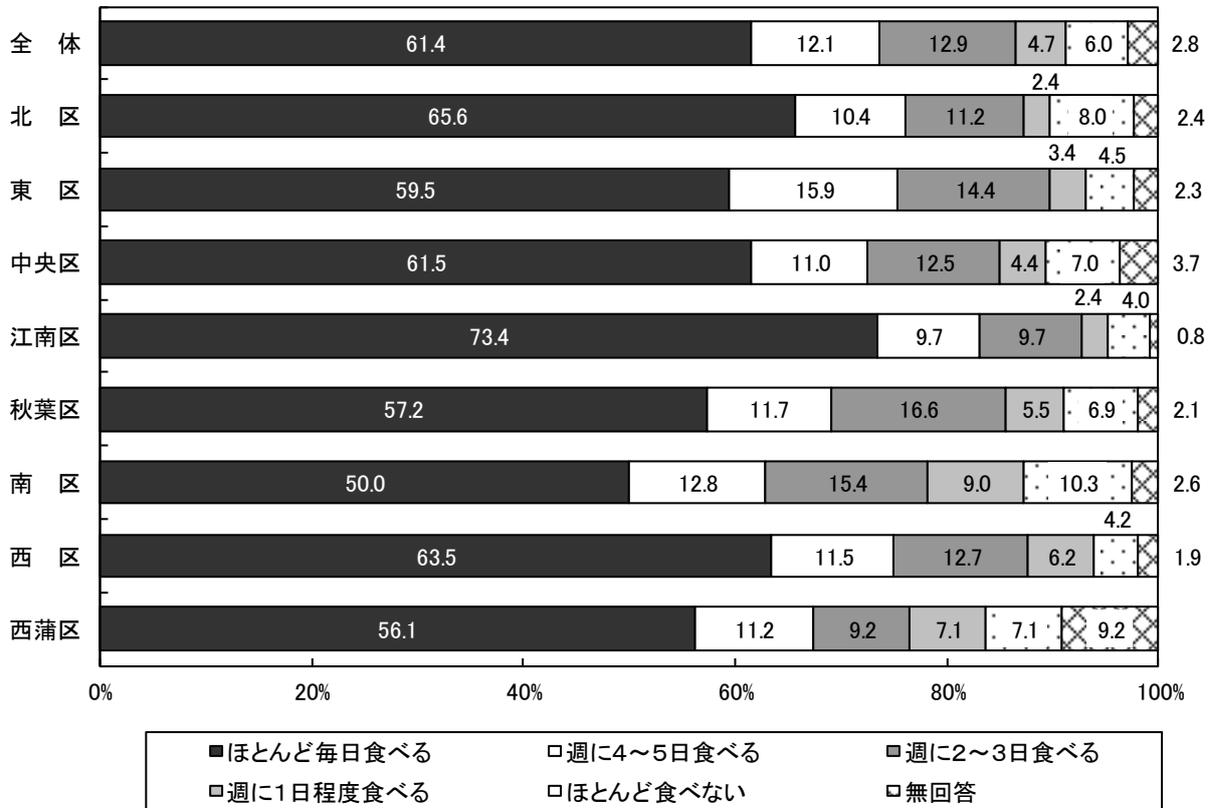
(人)

※性別不明・年齢不明者のグラフは省略した。

【地区別】

各地区とも、「ほとんど毎日食べる」と回答した人が最も多く、江南区では7割を超えている。

図 3.9-4 家族と夕食を食べる回数（地区別）



全体	北区	東区	中央区	江南区	秋葉区	南区	西区	西蒲区	地区不明
1,369	125	264	273	124	145	78	260	98	2

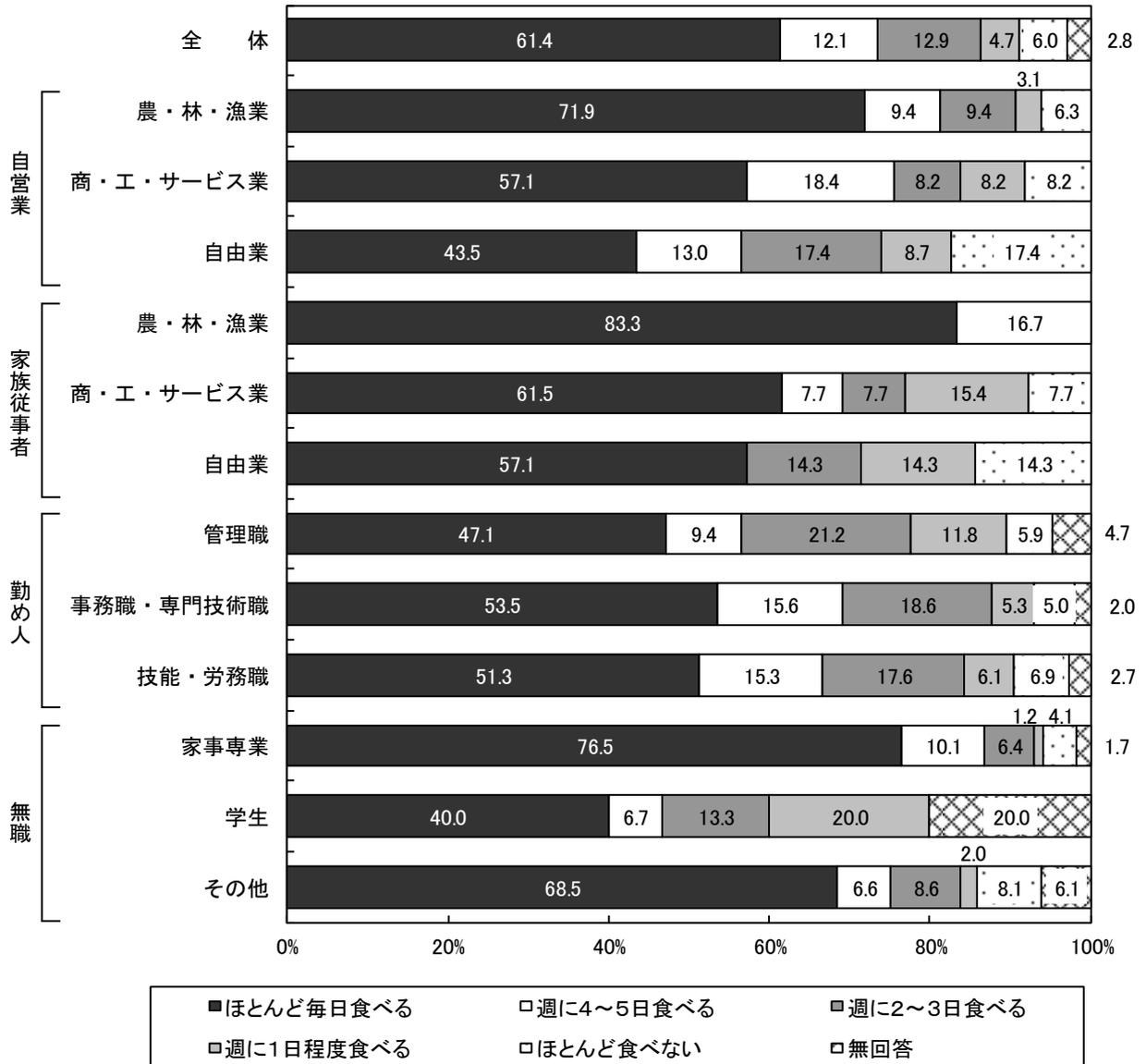
(人)

※地区不明者のグラフは省略した。

【職業別】

職種により対象者数に差があるため、図表のみの掲載とする。

図 3.9-5 家族と夕食を食べる回数（職業別）



全体	自営業			家族従事者		
	農・林・漁業	商・工・サービス業	自由業	農・林・漁業	商・工・サービス業	自由業
1,369	32	49	23	6	26	7

勤め人			無職			無回答
管理職	事務職・専門技術職	技能・労務職	家事専業	学生	その他	
85	301	261	345	15	197	22

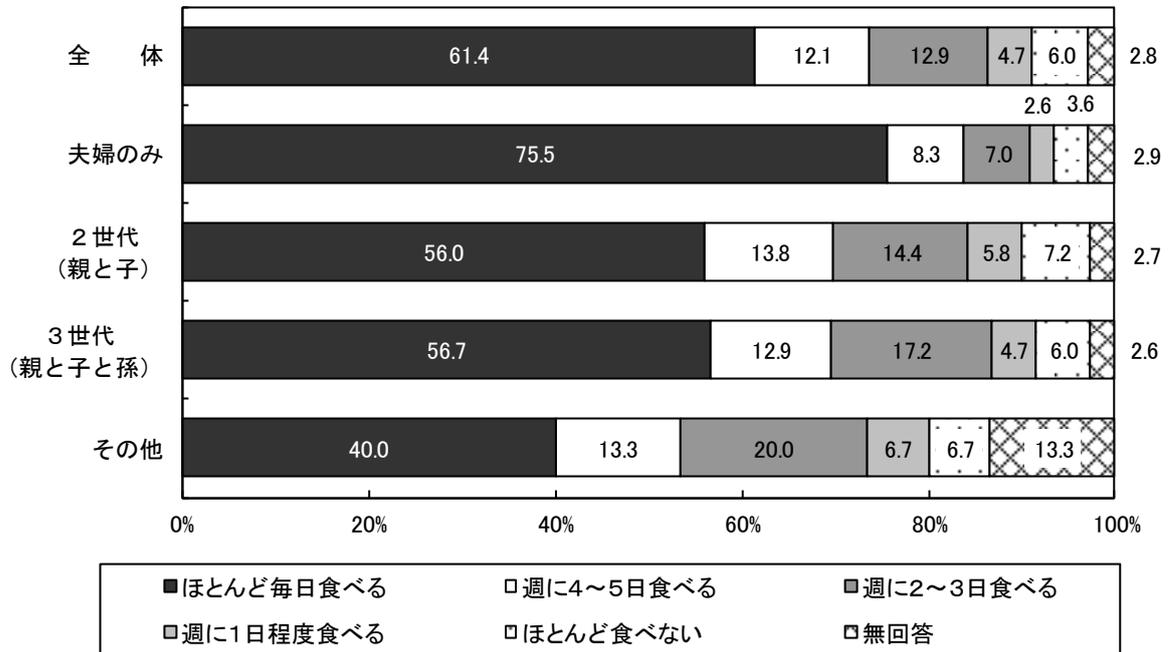
(人)

※無回答者のグラフは省略した。

【家族構成別】

「ほとんど毎日食べる」と回答した人の割合は、夫婦のみ（75.5%）で7割を超え、最も高くなっている。

図 3.9-6 家族と夕食を食べる回数（家族構成別）



全 体	単 身	夫婦のみ	2世代 (親と子)	3世代 (親と子と孫)	その他	無回答
1,369	0	384	737	233	15	0

(人)

※無回答者のグラフは省略した。

(10) この1週間で朝食または夕食を家族と食べた回数

問18 家族と一緒に食べる頻度について伺います。

ウ) この1週間で朝食及び夕食を家族と一緒に食べた回数は何回ですか。

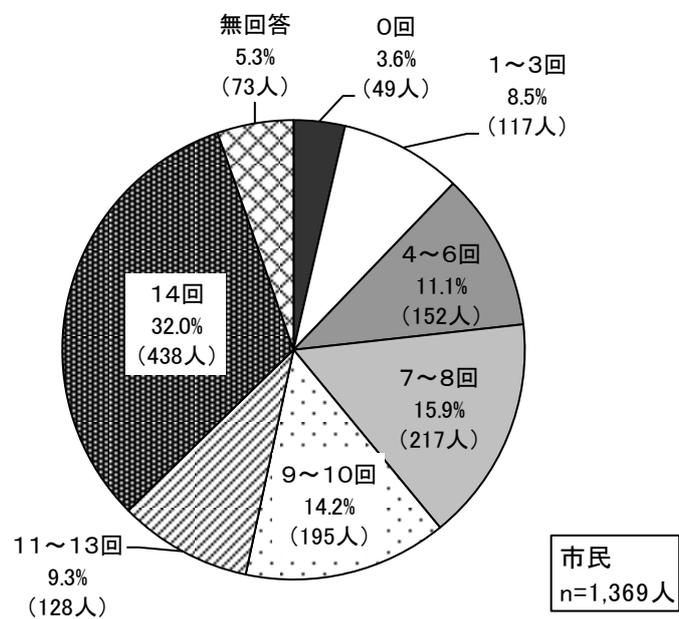
3割強が「14回」家族と食事をしたと回答

【全体結果】

この1週間で家族と一緒に朝食または夕食を食べた回数が「14回（毎回）」(32.0%)と回答した人が最も多く、次いで「7～8回」(15.9%)、「9～10回」(14.2%)、「4～6回」(11.1%)と続いている。

一方、「0回」(3.6%)、「1～3回」(8.5%)と回答した、家族と食べた回数が少ない人は1割強(12.1%)となっている。

図 3.10-1 この1週間で朝食または夕食を家族と食べた回数



【性別・年齢別】

20歳代と50歳代では「4～6回」と回答した人が最も多く、その他の年齢層では「14回」と回答した人が最も多くなっている。

また、性別で見ると、「14回」の割合は20歳代と70歳以上では男性の方が女性より高くなっている。

図 3.10-2 この1週間で朝食または夕食を家族と食べた回数（年齢別）

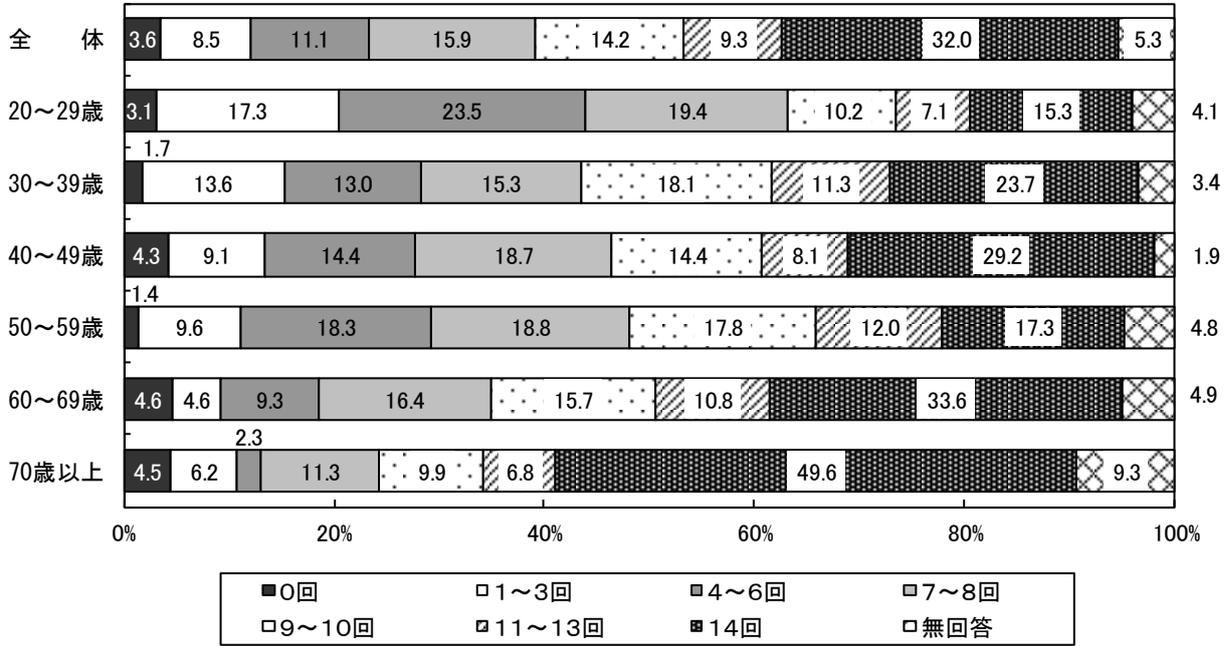
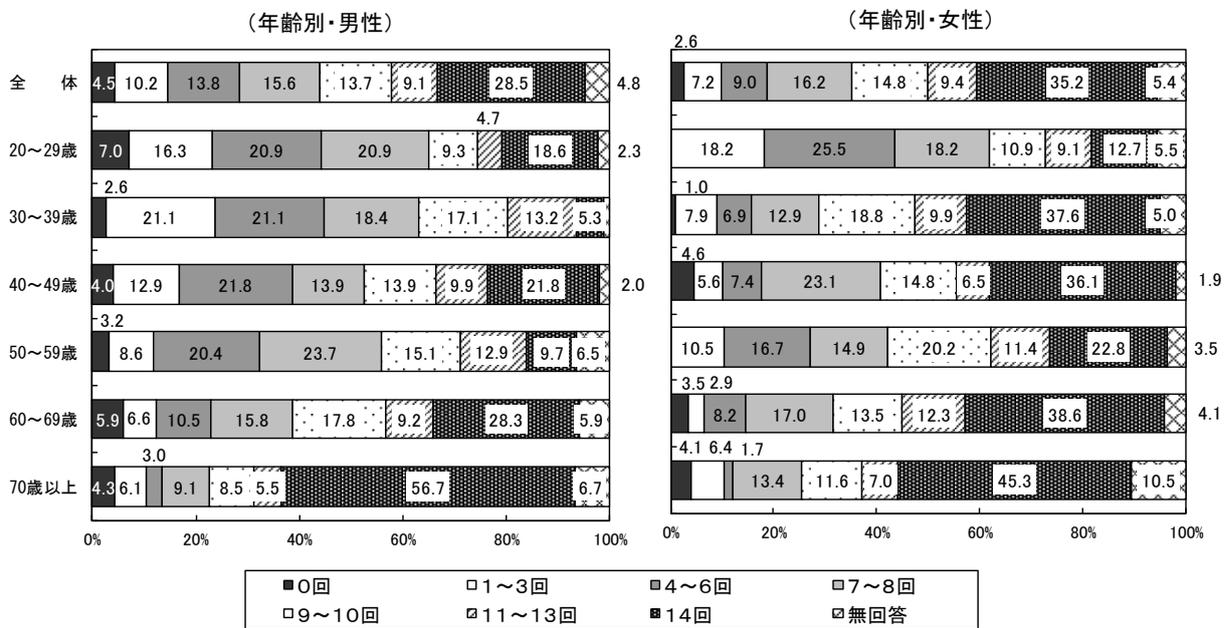


図 3.10-3 この1週間で朝食または夕食を家族と食べた回数



	計	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	年齢不明
全体	1,369	98	177	209	208	324	353	0
男性	629	43	76	101	93	152	164	0
女性	721	55	101	108	114	171	172	0

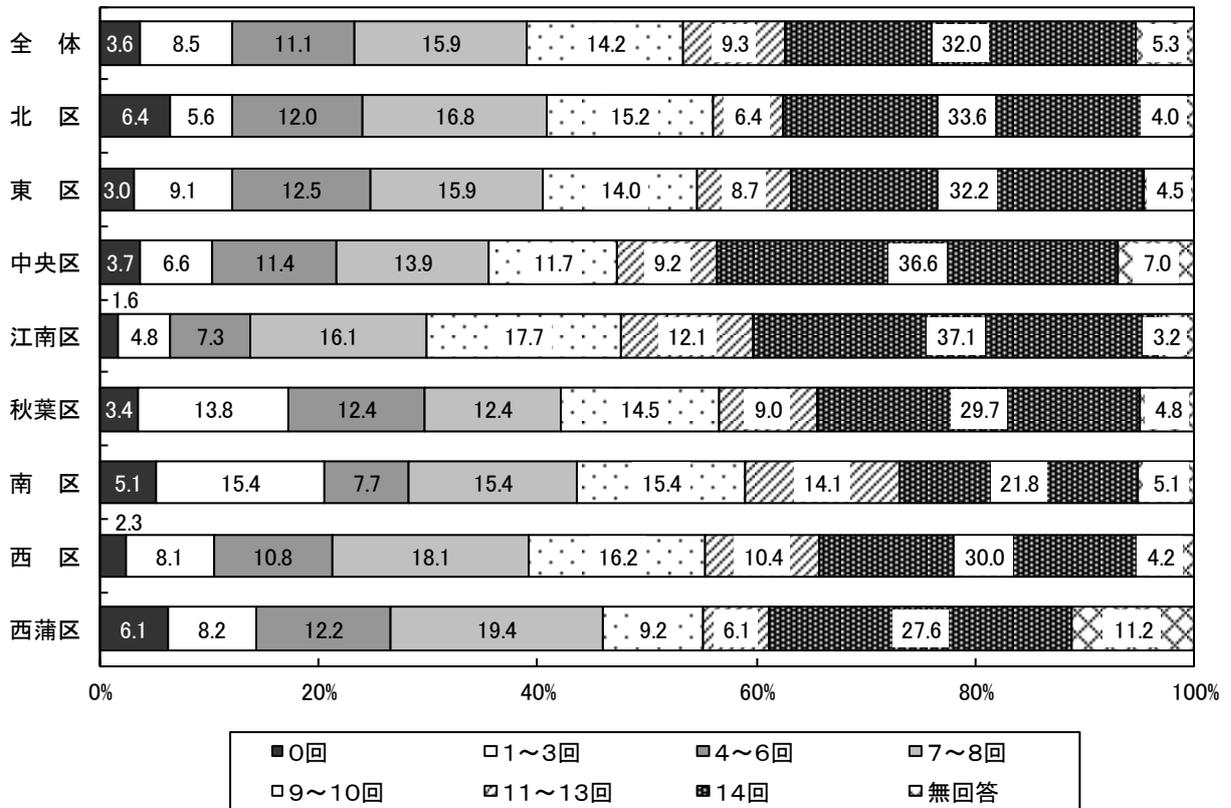
(人)

※性別不明・年齢不明者のグラフは省略した。

【地区別】

各地区とも、「14回」と回答した人が最も多くなっている。

図 3.10-4 この1週間で朝食または夕食を家族と食べた回数（地区別）



全体	北区	東区	中央区	江南区	秋葉区	南区	西区	西蒲区	地区不明
1,369	125	264	273	124	145	78	260	98	2

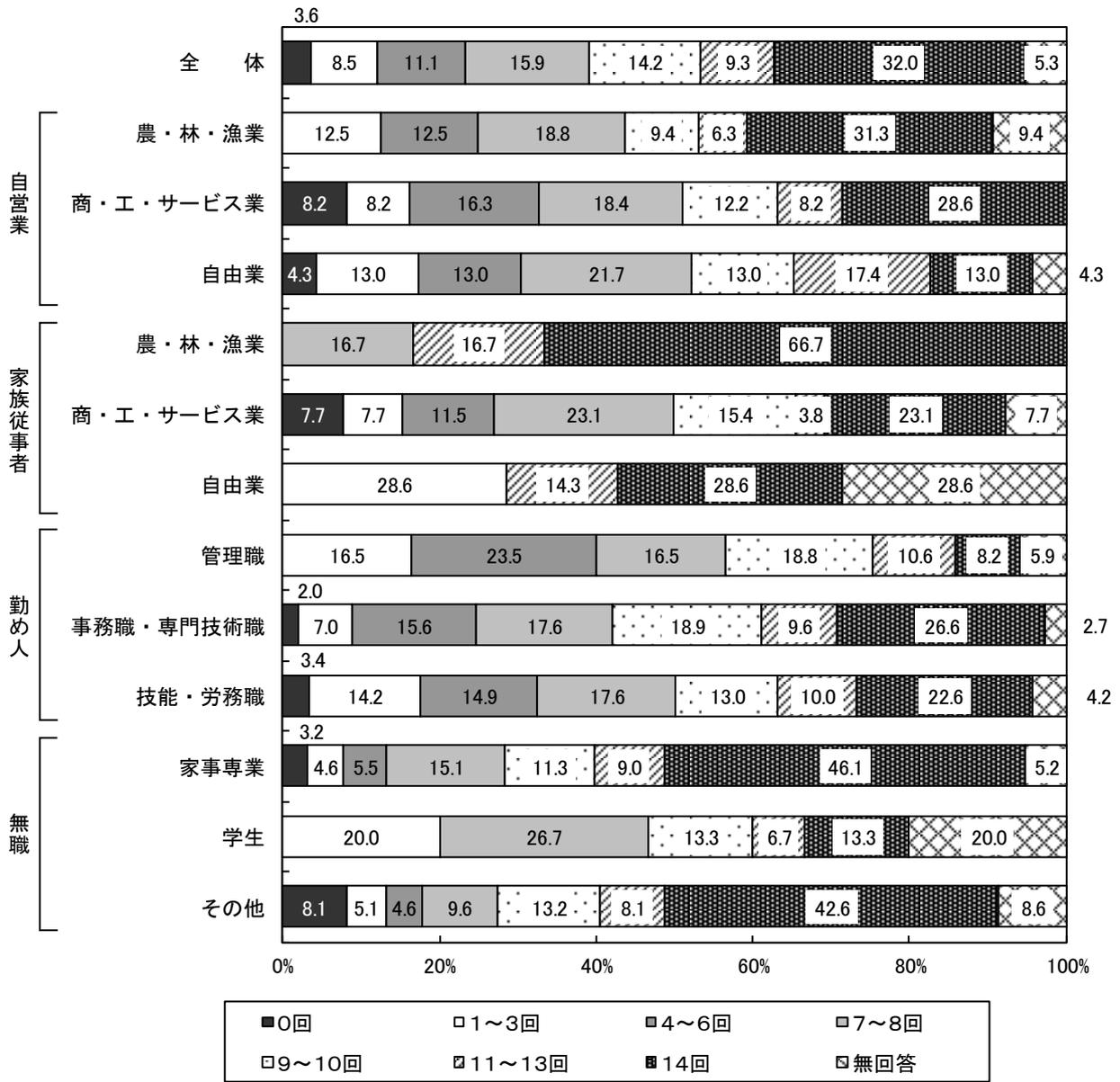
(人)

※地区不明者のグラフは省略した。

【職業別】

職種により対象者数に差があるため、図表のみの掲載とする。

図 3.10-5 この1週間で朝食または夕食を家族と食べた回数（職業別）



全体	自営業			家族従事者		
	農・林・漁業	商・工・サービス業	自由業	農・林・漁業	商・工・サービス業	自由業
1,369	32	49	23	6	26	7

勤め人			無職			無回答
管理職	事務職・専門技術職	技能・労務職	家事専業	学生	その他	
85	301	261	345	15	197	22

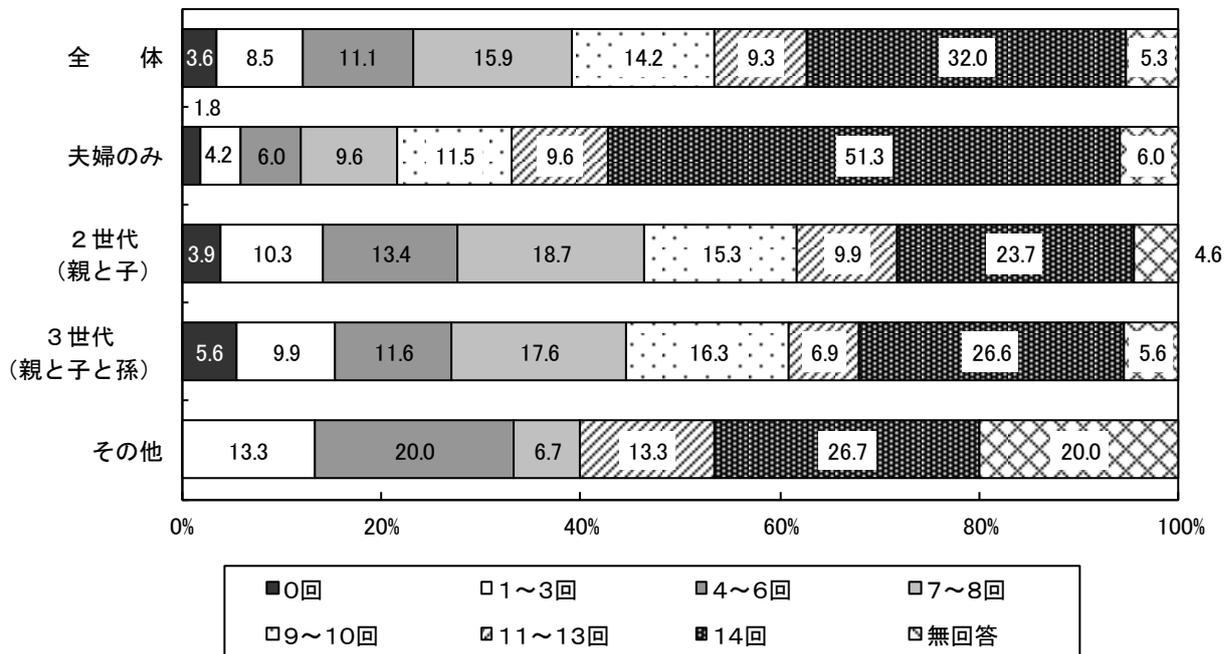
(人)

※無回答者のグラフは省略した。

【家族構成別】

「14回」と回答した人の割合は、夫婦のみ（51.3%）で最も高く、5割を超えている。

図 3.10-6 この1週間で朝食または夕食を家族と食べた回数（家族構成別）



全 体	単 身	夫婦のみ	2世代 (親と子)	3世代 (親と子と孫)	その他	無回答
1,369	0	384	737	233	15	0

(人)

※無回答者のグラフは省略した。

(11) 家族と食事を一緒に食べることの良い点

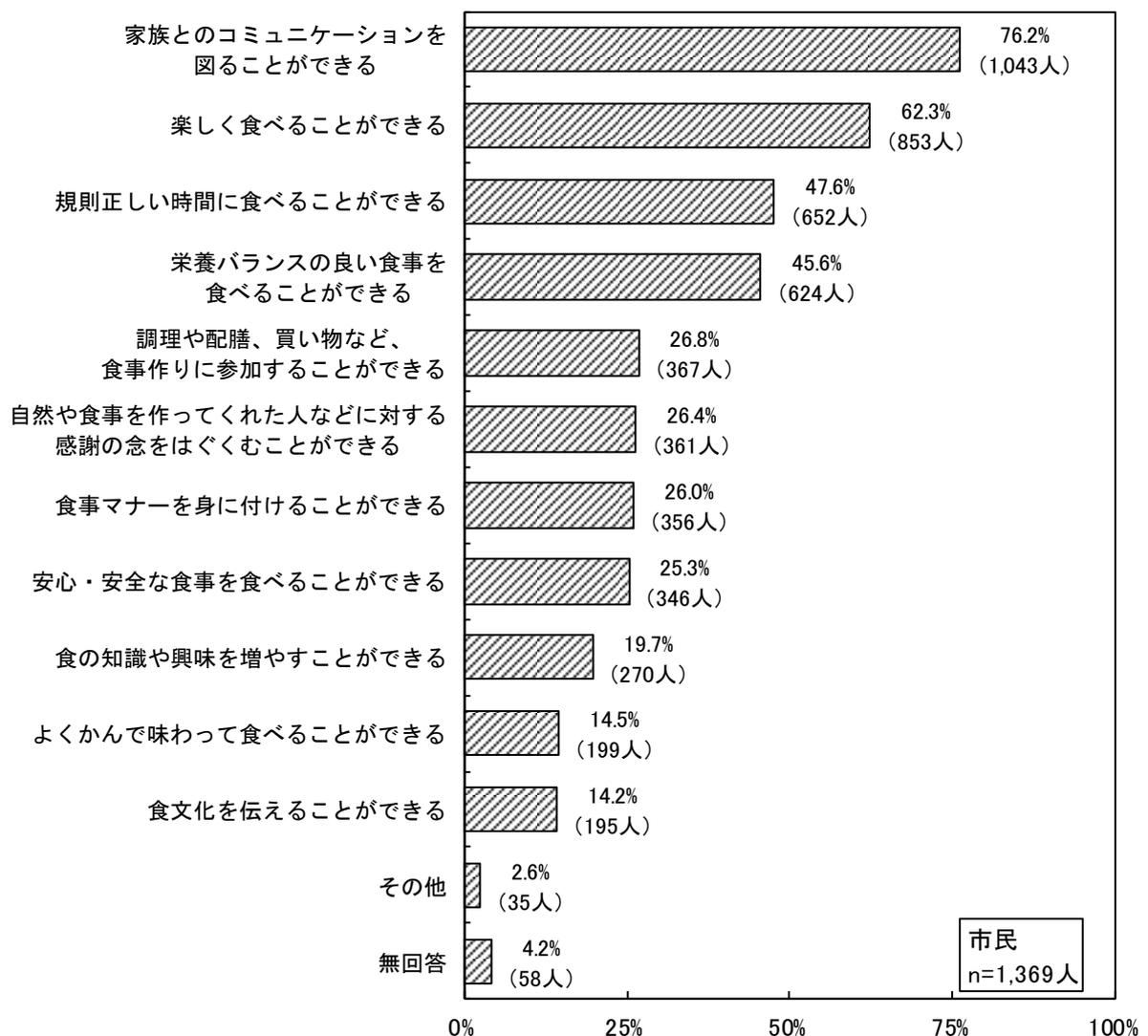
問19 食事を家族と一緒に食べることは、一人で食べるよりどのような良い点があると思いますか。
(〇はいくつでも)

8割弱が「家族とのコミュニケーションを図ることができる」と回答

【全体結果】

家族と食事を一緒にすることの良い点は、「家族とのコミュニケーションを図ることができる」(76.2%)をあげる人が最も多くなっている。以下「楽しく食べることができる」(62.3%)、「規則正しい時間に食べることができる」(47.6%)、「栄養バランスの良い食事を食べることができる」(45.6%)と続いている。

図 3.11 家族と食事を一緒に食べることの良い点



【性別・年齢別】

各年代とも、「家族とのコミュニケーションを図ることができる」「楽しく食べることができる」の割合が高くなっている。60歳以上では「規則正しい時間に食べることができる」の割合も高くなっている。

表 3.1 家族と食事を一緒に食べることの良い点（年齢別・全体）

	対象者	家族とのコミュニケーションを図ることができる	楽しく食べることができる	規則正しい時間に食べることができる	栄養バランスの良い食事を食べることができる	調理や配膳、買い物など、食事作りに参加することができる	自然や食事を作ってくれた人などに対する感謝の念をはぐくむことができる	食事マナーを身に付けることができる	安心・安全な食事を食べることができる	食の知識や興味を増やすことができる	よく噛んで味わって食べることができる	食文化を伝えることができる	その他	無回答
計	1369	76.2	62.3	47.6	45.6	26.8	26.4	26.0	25.3	19.7	14.5	14.2	2.6	4.2
20～29歳	98	76.5	62.2	41.8	40.8	21.4	20.4	19.4	19.4	10.2	13.3	4.1	1.0	3.1
30～39歳	177	81.9	68.4	40.7	39.5	33.9	31.6	46.9	12.4	23.7	10.2	15.3	2.3	2.3
40～49歳	209	86.6	67.9	37.3	37.3	28.7	25.4	40.7	14.8	20.1	8.1	17.7	2.9	2.4
50～59歳	208	84.6	62.5	37.5	44.2	22.6	24.0	23.1	15.4	20.2	11.5	17.8	1.9	3.4
60～69歳	324	75.6	61.4	54.3	54.3	25.9	22.5	17.3	28.7	15.7	13.6	11.1	2.8	4.0
70歳以上	353	62.6	56.7	58.6	47.6	26.9	30.9	18.4	42.2	23.5	23.5	15.3	3.1	7.4
年齢不明	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

対象者：人/回答：%

表 3.2 家族と食事を一緒に食べることの良い点（年齢別・男性）

	対象者	家族とのコミュニケーションを図ることができる	楽しく食べることができる	規則正しい時間に食べることができる	栄養バランスの良い食事を食べることができる	調理や配膳、買い物など、食事作りに参加することができる	自然や食事を作ってくれた人などに対する感謝の念をはぐくむことができる	食事マナーを身に付けることができる	安心・安全な食事を食べることができる	食の知識や興味を増やすことができる	よく噛んで味わって食べることができる	食文化を伝えることができる	その他	無回答
計	629	75.2	60.9	49.0	42.4	23.2	28.6	22.6	25.8	16.2	13.0	12.1	3.0	4.3
20～29歳	43	65.1	55.8	53.5	51.2	9.3	18.6	16.3	25.6	9.3	14.0	2.3	0.0	0.0
30～39歳	76	80.3	67.1	47.4	26.3	32.9	27.6	42.1	10.5	13.2	9.2	13.2	2.6	1.3
40～49歳	101	84.2	64.4	40.6	38.6	25.7	21.8	33.7	16.8	15.8	5.0	13.9	2.0	4.0
50～59歳	93	84.9	60.2	32.3	38.7	16.1	26.9	15.1	15.1	16.1	8.6	12.9	2.2	3.2
60～69歳	152	73.0	63.2	46.7	45.4	19.1	25.7	15.8	23.7	9.2	9.2	9.2	3.9	5.9
70歳以上	164	66.5	55.5	65.2	49.4	28.7	39.6	18.9	46.3	26.2	25.6	15.2	4.3	6.1
年齢不明	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

対象者：人/回答：%

表 3.3 家族と食事を一緒に食べることの良い点（年齢別・女性）

	対象者	家族とのコミュニケーションを図ることができる	楽しく食べることができる	規則正しい時間に食べることができる	栄養バランスの良い食事を食べることができる	調理や配膳、買い物など、食事作りに参加することができる	自然や食事を作ってくれた人などに対する感謝の念をはぐくむことができる	食事マナーを身に付けることができる	安心・安全な食事を食べることができる	食の知識や興味を増やすことができる	よく噛んで味わって食べることができる	食文化を伝えることができる	その他	無回答
計	721	77.7	64.2	46.5	48.3	30.0	24.7	29.3	24.5	22.9	15.8	16.1	2.2	3.9
20～29歳	55	85.5	67.3	32.7	32.7	30.9	21.8	21.8	14.5	10.9	12.7	5.5	1.8	5.5
30～39歳	101	83.2	69.3	35.6	49.5	34.7	34.7	50.5	13.9	31.7	10.9	16.8	2.0	3.0
40～49歳	108	88.9	71.3	34.3	36.1	31.5	28.7	47.2	13.0	24.1	11.1	21.3	3.7	0.9
50～59歳	114	84.2	64.9	41.2	48.2	28.1	21.9	28.9	15.8	23.7	14.0	21.9	1.8	3.5
60～69歳	171	77.8	60.2	60.8	62.0	32.2	19.9	18.7	33.3	21.6	17.5	12.9	1.8	2.3
70歳以上	172	60.5	59.3	54.1	46.5	25.0	23.8	18.6	38.4	21.5	22.1	15.1	2.3	7.6
年齢不明	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

対象者：人/回答：%

(12) 家族との食事に対する意識

問20 家族との食事について伺います。(項目毎に○は1つだけ)

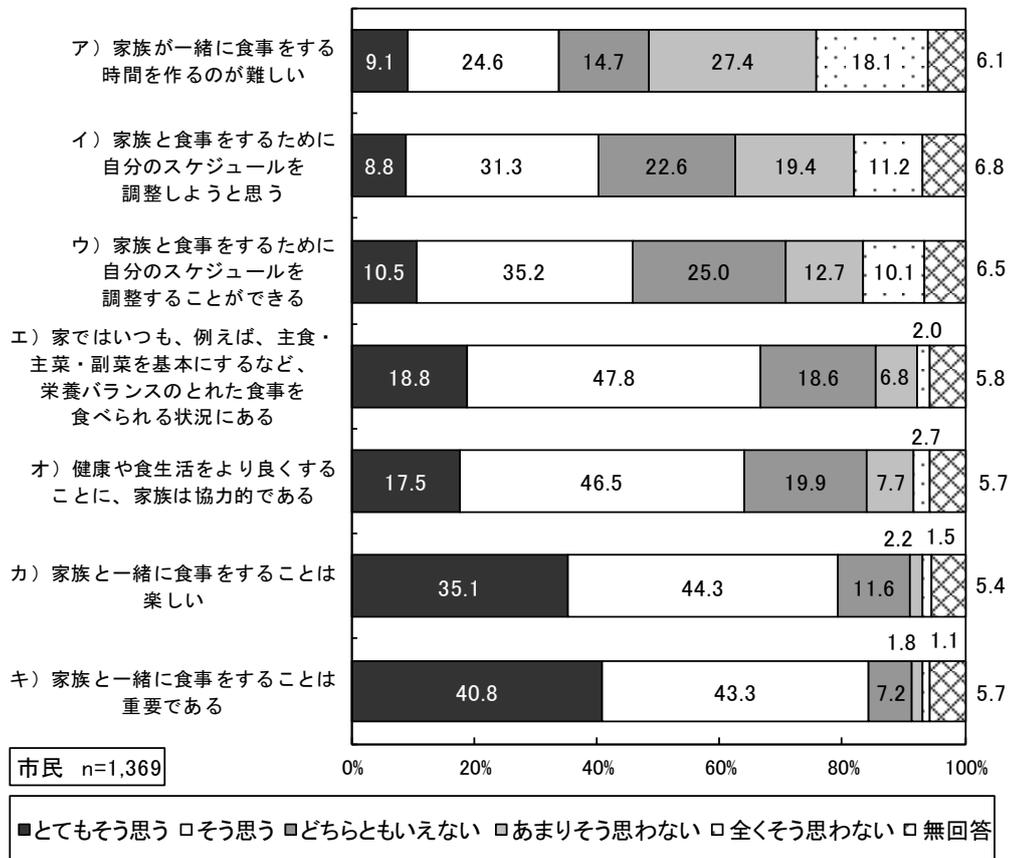
8割強が「家族と一緒に食事をすることは重要である」、
8割弱が「家族と一緒に食事をすることは楽しい」と回答

【全体結果】

「とてもそう思う」「そう思う」と回答した人を合わせた割合は、『キ) 家族と一緒に食事をするこ
は重要である』の項目で8割強(84.1%)、『カ) 家族と一緒に食事をするこは楽しい』の項目で8割
弱(79.3%)と高くなっている。

一方、「あまりそう思わない」「全くそう思わない」と回答した人を合わせた割合は、『ア) 家族が一
緒に食事をする時間を作るのが難しい』の項目が半数弱(45.5%)と高くなっている。

図 3.12-1 家族との食事に対する意識



	全体	とても そう 思う	そう 思 う	ど ち ら と も い え な い	あ ま り そ う 思 わ な い	全 く そ う 思 わ な い	無 回 答
ア) 家族と一緒に食事をする時間を作るのが難しい	1,369	125	337	201	375	248	83
イ) 家族と食事をするために自分のスケジュールを調整しようと思う	1,369	120	428	309	265	154	93
ウ) 家族と食事をするために自分のスケジュールを調整することができる	1,369	144	482	342	174	138	89
エ) 家ではいつも、例えば、主食・主菜・副菜を基本にするなど、栄養バランスのとれた食事を食べられる状況にある	1,369	258	655	255	93	28	80
オ) 健康や食生活をより良くすることに、家族は協力的である	1,369	240	637	272	105	37	78
カ) 家族と一緒に食事をするこは楽しい	1,369	480	606	159	30	20	74
キ) 家族と一緒に食事をするこは重要である	1,369	559	593	99	25	15	78

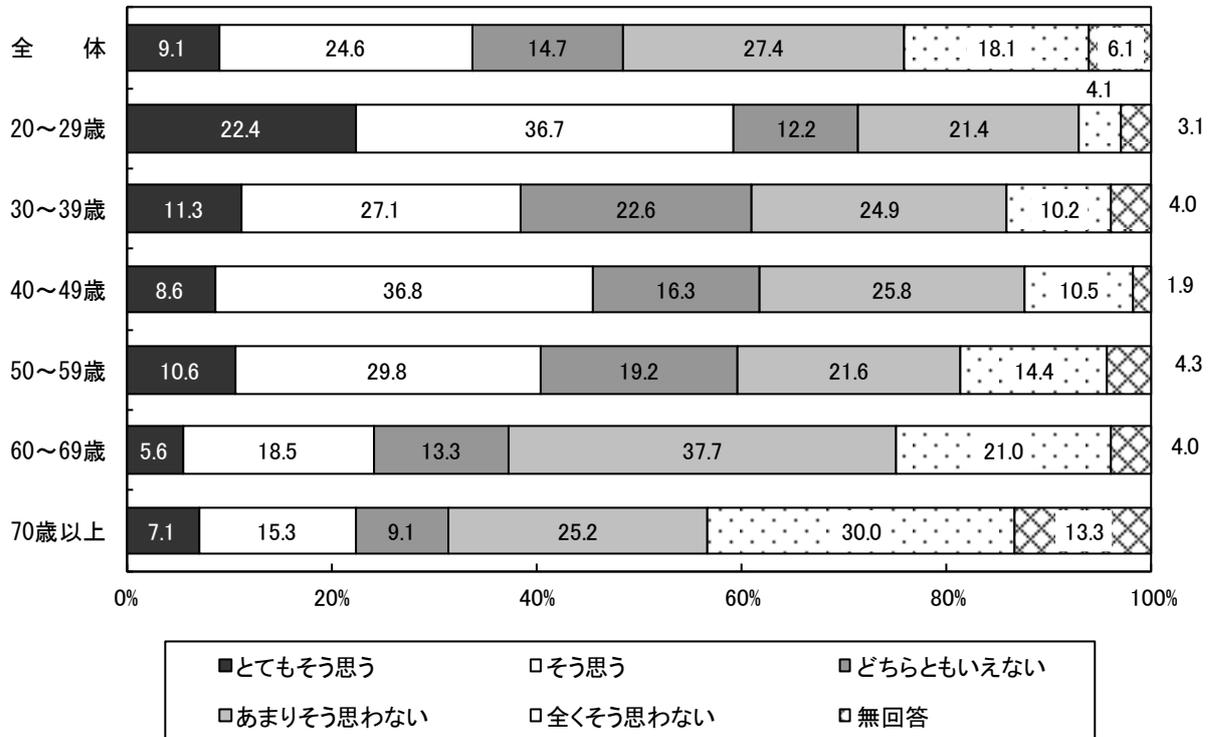
(人)

ア) 家族と一緒に食事をする時間を作るのが難しい

【年齢別】

「とてもそう思う」「そう思う」と回答した人の割合は、20歳代(59.2%)で最も高く、70歳以上(22.4%)で最も低くなっている。

図 3.12-2 家族との食事に対する意識〔家族と一緒に食事をする時間を作るのが難しい〕
(年齢別・全体)



	計	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	年齢不明
全体	1,369	98	177	209	208	324	353	0
男性	629	43	76	101	93	152	164	0
女性	721	55	101	108	114	171	172	0

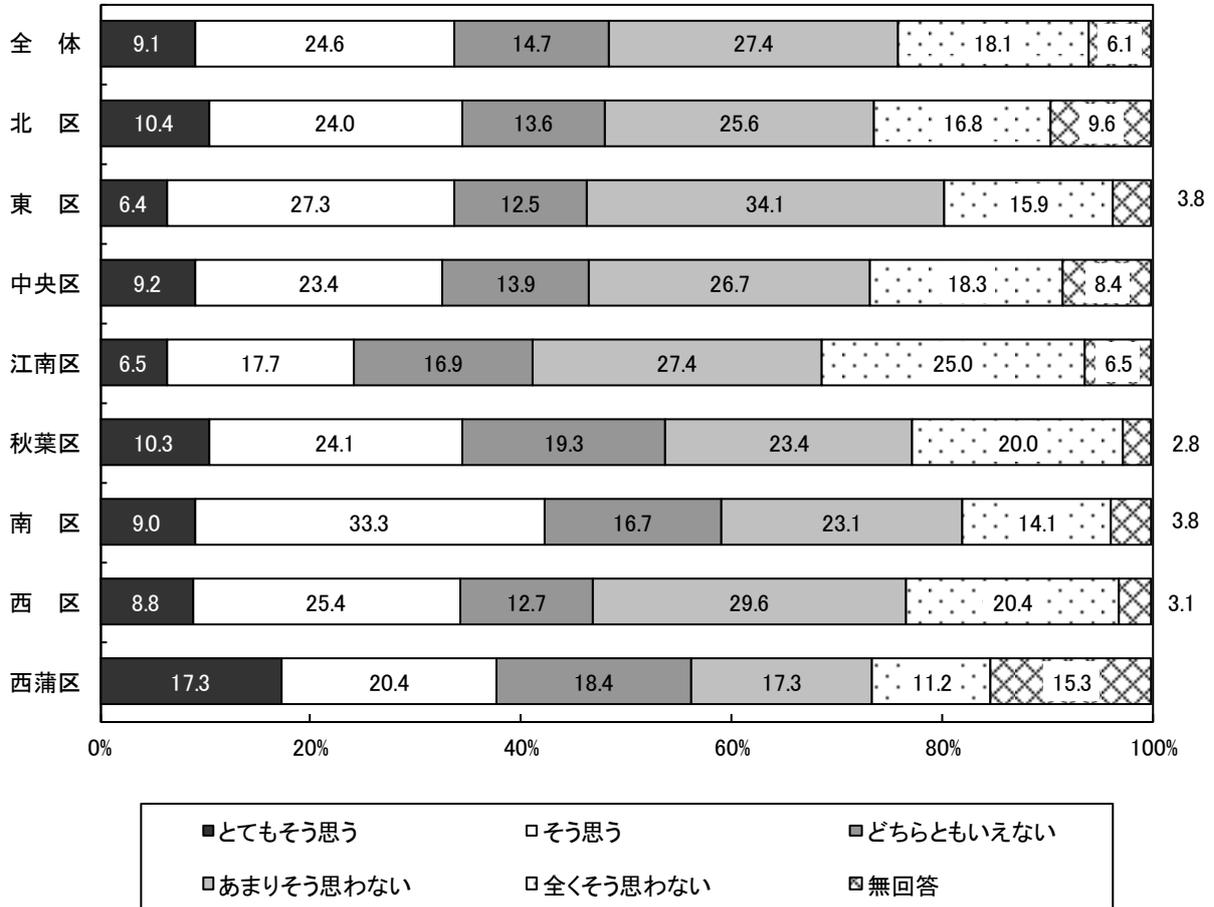
(人)

※年齢不明者のグラフは省略した。

【地区別】

「とてもそう思う」「そう思う」と回答した人の割合は、南区（42.3%）で最も高く、江南区（24.2%）で最も低くなっている。

図 3.12-3 家族との食事に対する意識〔家族と一緒に食事をする時間を作るのが難しい〕（地区別）



全体	北区	東区	中央区	江南区	秋葉区	南区	西区	西蒲区	地区不明
1,369	125	264	273	124	145	78	260	98	2

(人)

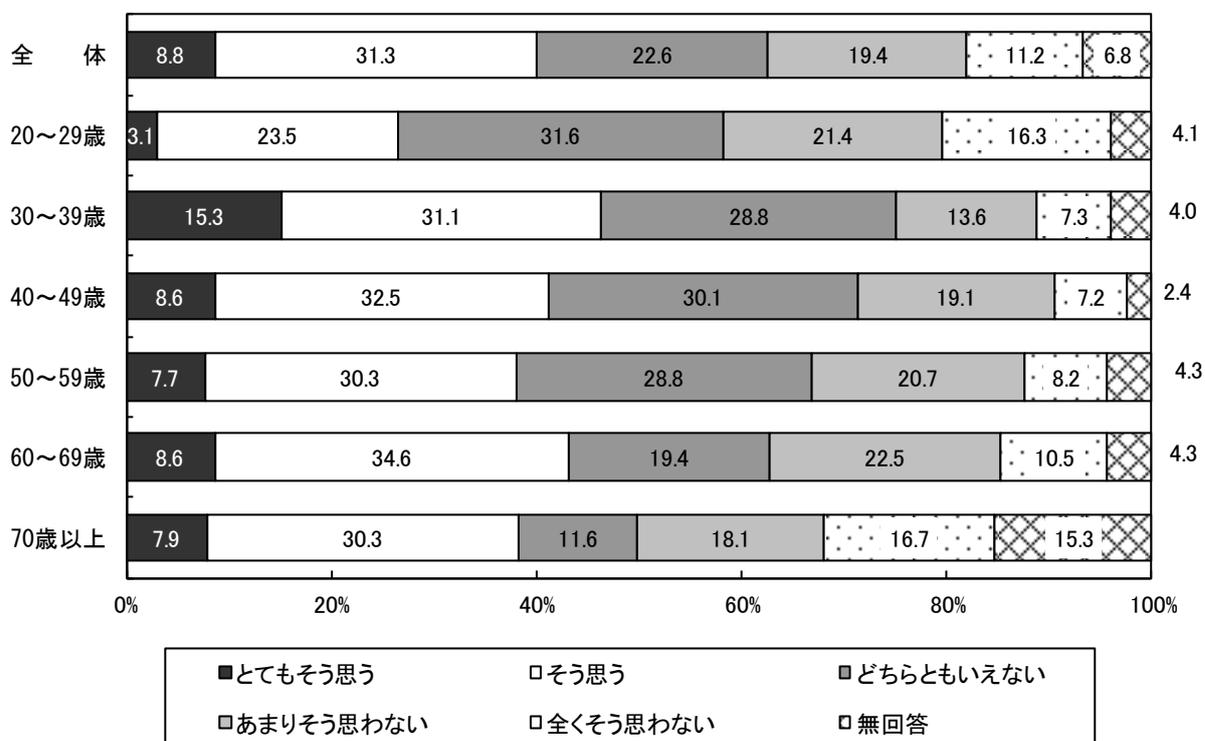
※地区不明者のグラフは省略した。

イ) 家族と食事をするために自分のスケジュールを調整しようと思う

【年齢別】

「とてもそう思う」「そう思う」と回答した人の割合は、30歳代(46.3%)で最も高く、20歳代(26.5%)で最も低くなっている。

図 3.12-4 家族との食事に対する意識
〔家族と食事をするために自分のスケジュールを調整しようと思う〕(年齢別・全体)



	計	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	年齢不明
全体	1,369	98	177	209	208	324	353	0
男性	629	43	76	101	93	152	164	0
女性	721	55	101	108	114	171	172	0

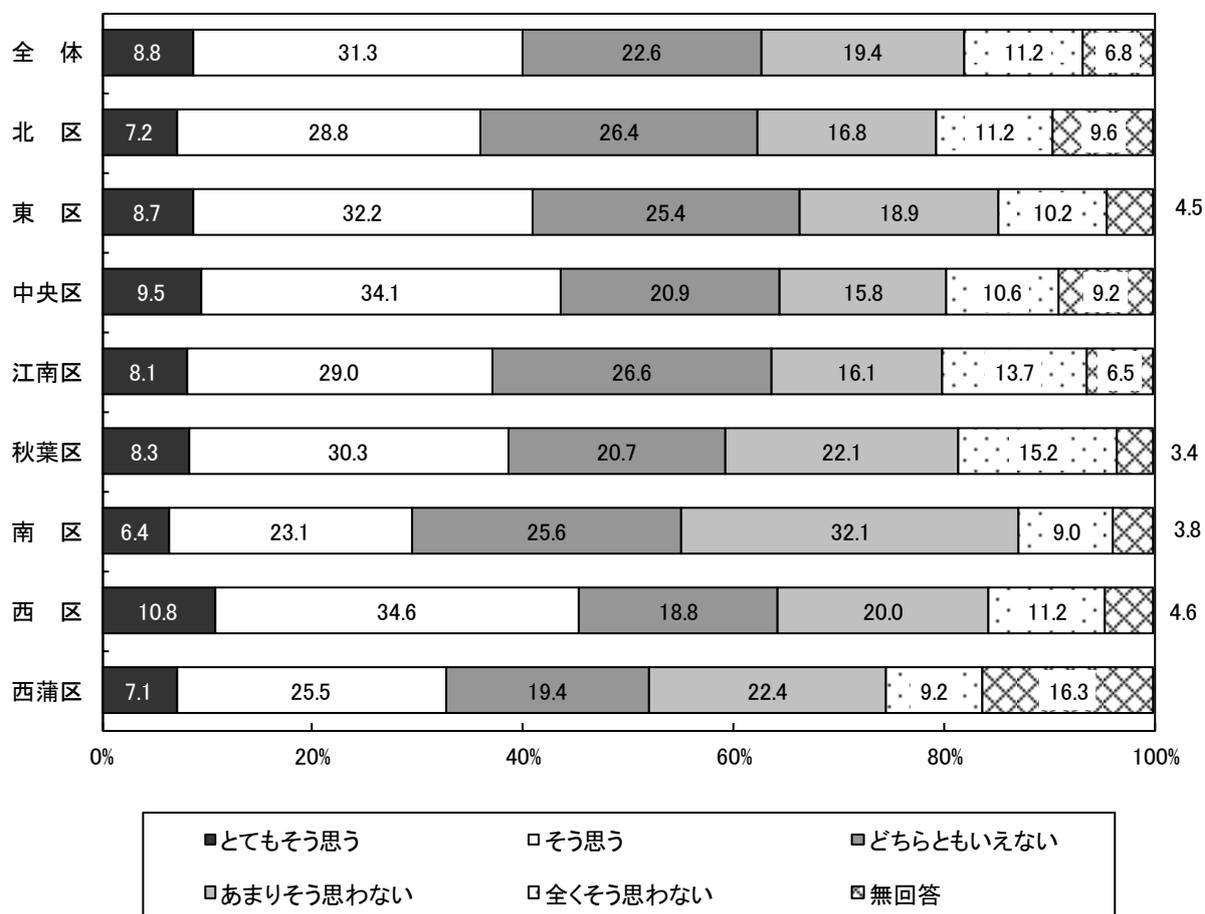
(人)

※年齢不明者のグラフは省略した。

【地区別】

「とてもそう思う」「そう思う」と回答した人の割合は、西区（45.4%）で最も高く、西蒲区（32.7%）で最も低くなっている。

図 3.12-5 家族との食事に対する意識
〔家族と食事をするために自分のスケジュールを調整しようと思う〕（地区別）



全体	北区	東区	中央区	江南区	秋葉区	南区	西区	西蒲区	地区不明
1,369	125	264	273	124	145	78	260	98	2

(人)

※地区不明者のグラフは省略した。

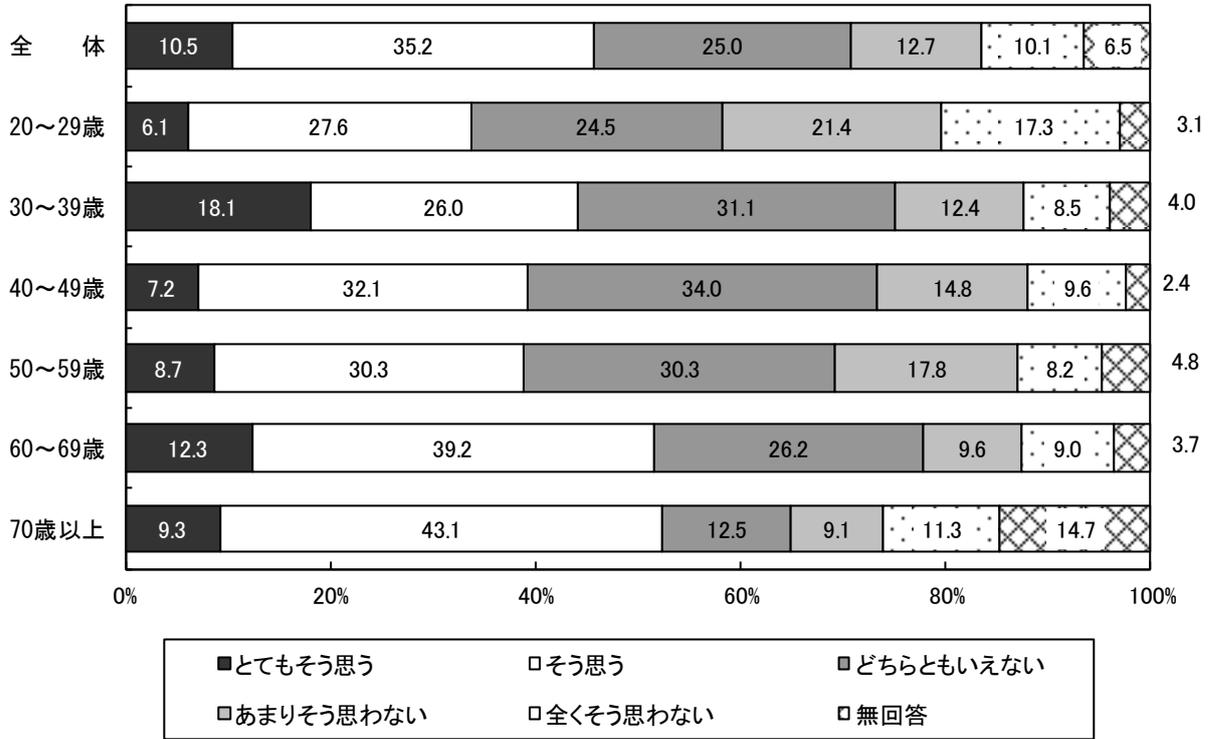
ウ) 家族と食事をするために自分のスケジュールを調整することができる

【年齢別】

「とてもそう思う」「そう思う」と回答した人の割合は、70歳以上(52.4%)で最も高く、20歳代(33.7%)で最も低くなっている。

図 3.12-6 家族との食事に対する意識

〔家族と食事をするために自分のスケジュールを調整することができる〕(年齢別・全体)



	計	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	年齢不明
全体	1,369	98	177	209	208	324	353	0
男性	629	43	76	101	93	152	164	0
女性	721	55	101	108	114	171	172	0

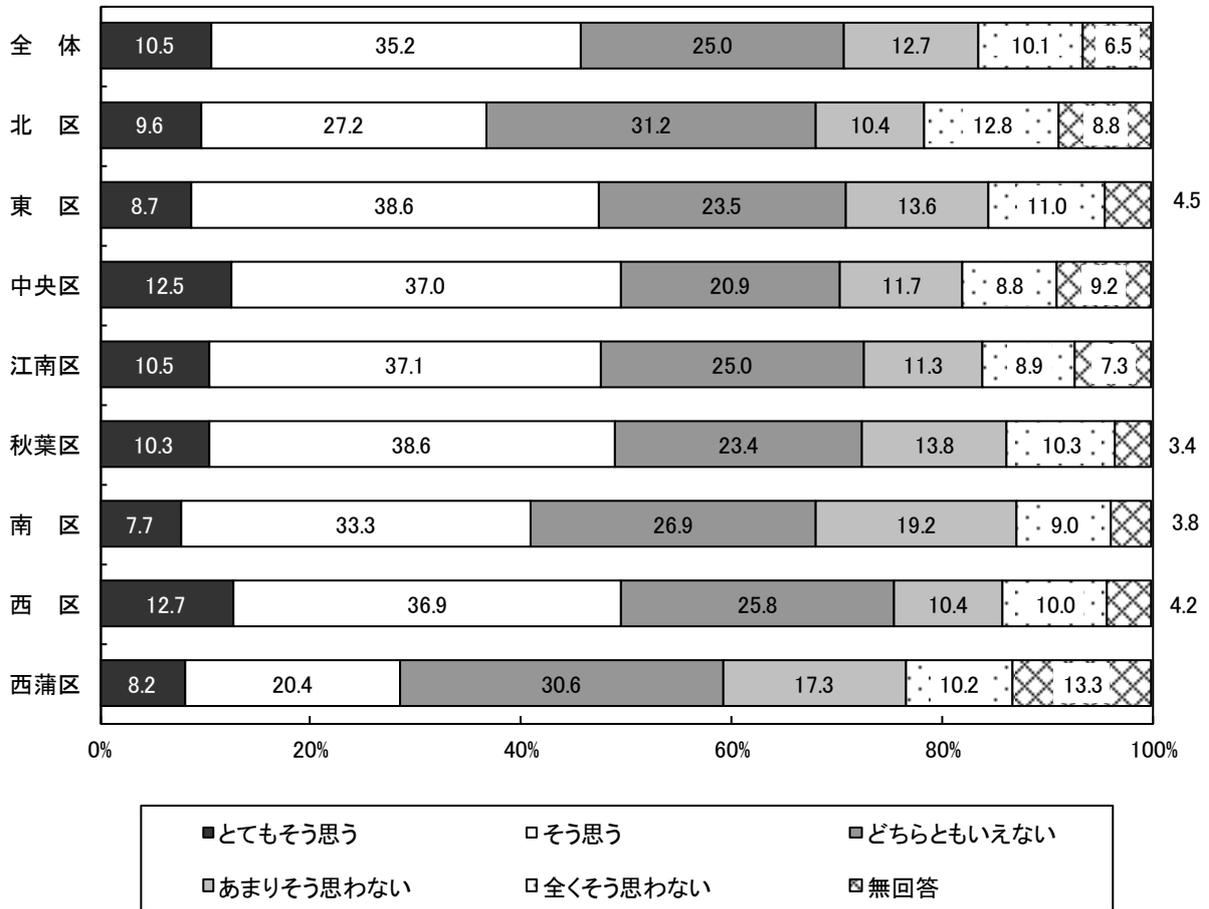
(人)

※年齢不明者のグラフは省略した。

【地区別】

「とてもそう思う」「そう思う」と回答した人の割合は、西区（49.6%）と中央区（49.5%）で高く、西蒲区（28.6%）で最も低くなっている。

図 3.12-7 家族との食事に対する意識
〔家族と食事をするために自分のスケジュールを調整することができる〕（地区別）



全体	北区	東区	中央区	江南区	秋葉区	南区	西区	西蒲区	地区不明
1,369	125	264	273	124	145	78	260	98	2

(人)

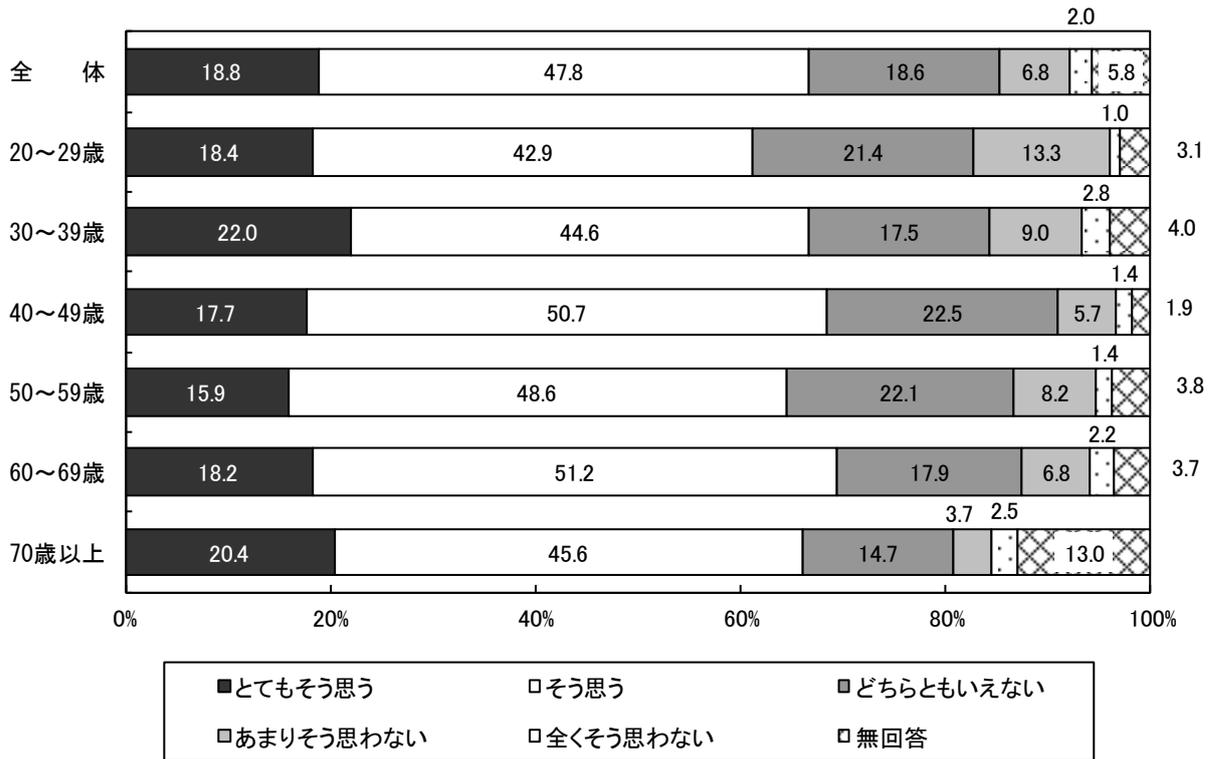
※地区不明者のグラフは省略した。

エ) 家ではいつも、例えば、主食・主菜・副菜を基本にするなど、栄養バランスのとれた食事を食べられる状況にある

【年齢別】

「とてもそう思う」「そう思う」と回答した人の割合は、60歳代(69.4%)で最も高く、20歳代(61.2%)で最も低くなっている。

図 3.12-8 家族との食事に対する意識
 [家ではいつも、例えば、主食・主菜・副菜を基本にするなど、
 栄養バランスのとれた食事を食べられる状況にある] (年齢別・全体)



	計	20~29歳	30~39歳	40~49歳	50~59歳	60~69歳	70歳以上	年齢不明
全体	1,369	98	177	209	208	324	353	0
男性	629	43	76	101	93	152	164	0
女性	721	55	101	108	114	171	172	0

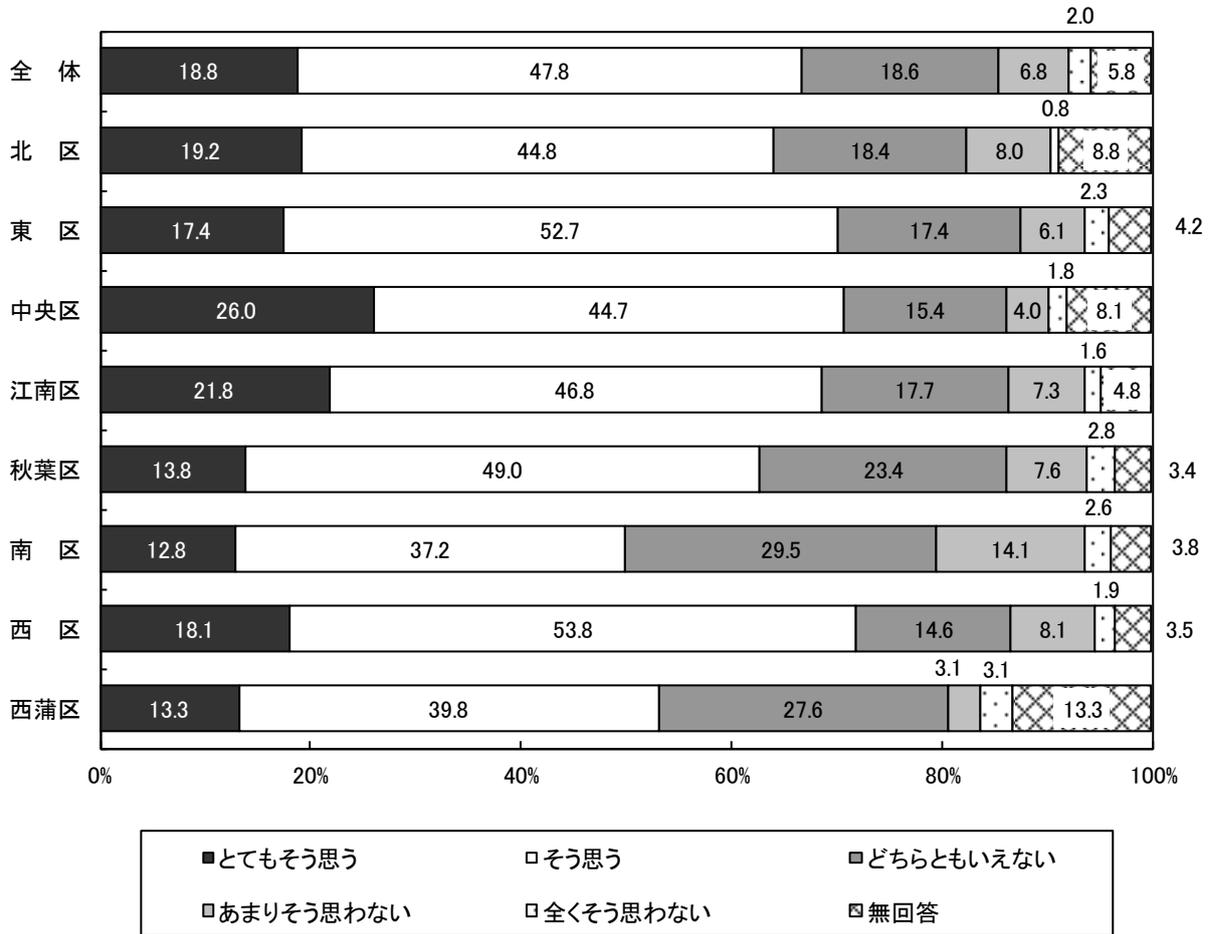
(人)

※年齢不明者のグラフは省略した。

【地区別】

「とてもそう思う」「そう思う」と回答した人の割合は、西区（71.9%）で最も高く、南区（50.0%）で最も低くなっている。

図 3.12-9 家族との食事に対する意識
 [家ではいつも、例えば、主食・主菜・副菜を基本にするなど、
 栄養バランスのとれた食事を食べられる状況にある]（地区別）



全体	北区	東区	中央区	江南区	秋葉区	南区	西区	西蒲区	地区不明
1,369	125	264	273	124	145	78	260	98	2

(人)

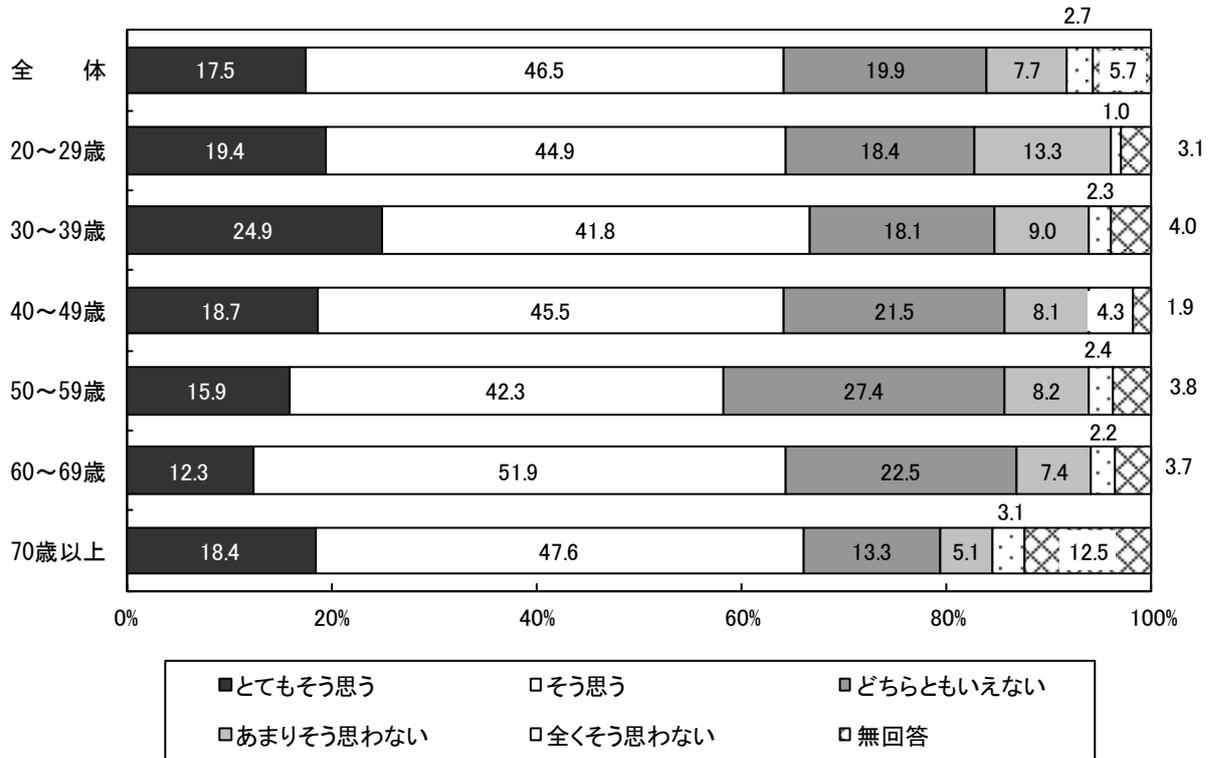
※地区不明者のグラフは省略した。

オ) 健康や食生活をより良くすることに、家族は協力的である

【年齢別】

「とてもそう思う」「そう思う」と回答した人の割合は、30歳代(66.7%)で最も高く、50歳代(58.2%)で最も低くなっている。

図 3.12-10 家族との食事に対する意識〔健康や食生活をより良くすることに、家族は協力的である〕
(年齢別・全体)



	計	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	年齢不明
全体	1,369	98	177	209	208	324	353	0
男性	629	43	76	101	93	152	164	0
女性	721	55	101	108	114	171	172	0

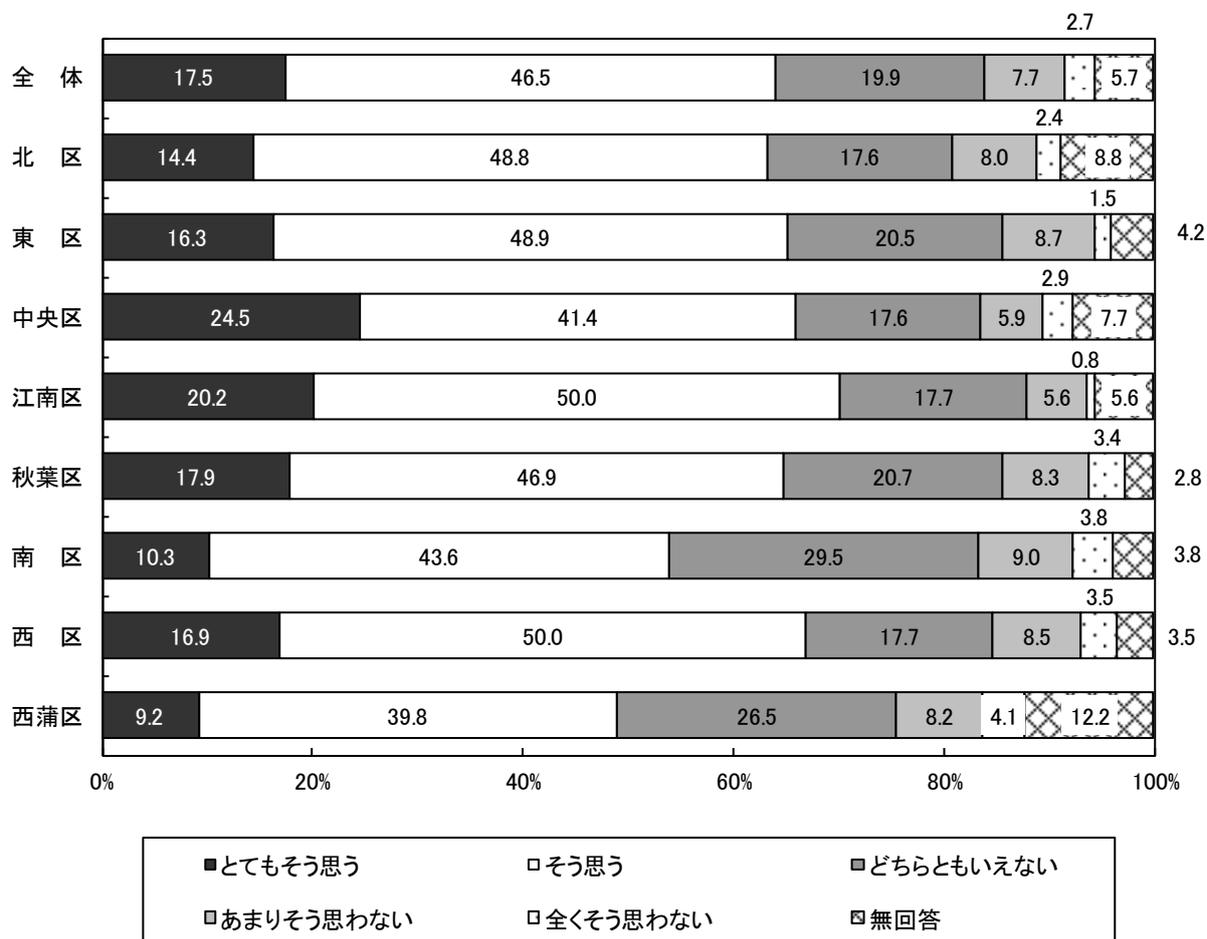
(人)

※年齢不明者のグラフは省略した。

【地区別】

「とてもそう思う」「そう思う」と回答した人の割合は、江南区(70.2%)で最も高く、西蒲区(49.0%)で最も低くなっている。

図 3.12-11 家族との食事に対する意識〔健康や食生活をより良くすることに、家族は協力的である〕
(地区別)



全体	北区	東区	中央区	江南区	秋葉区	南区	西区	西蒲区	地区不明
1,369	125	264	273	124	145	78	260	98	2

(人)

※地区不明者のグラフは省略した。

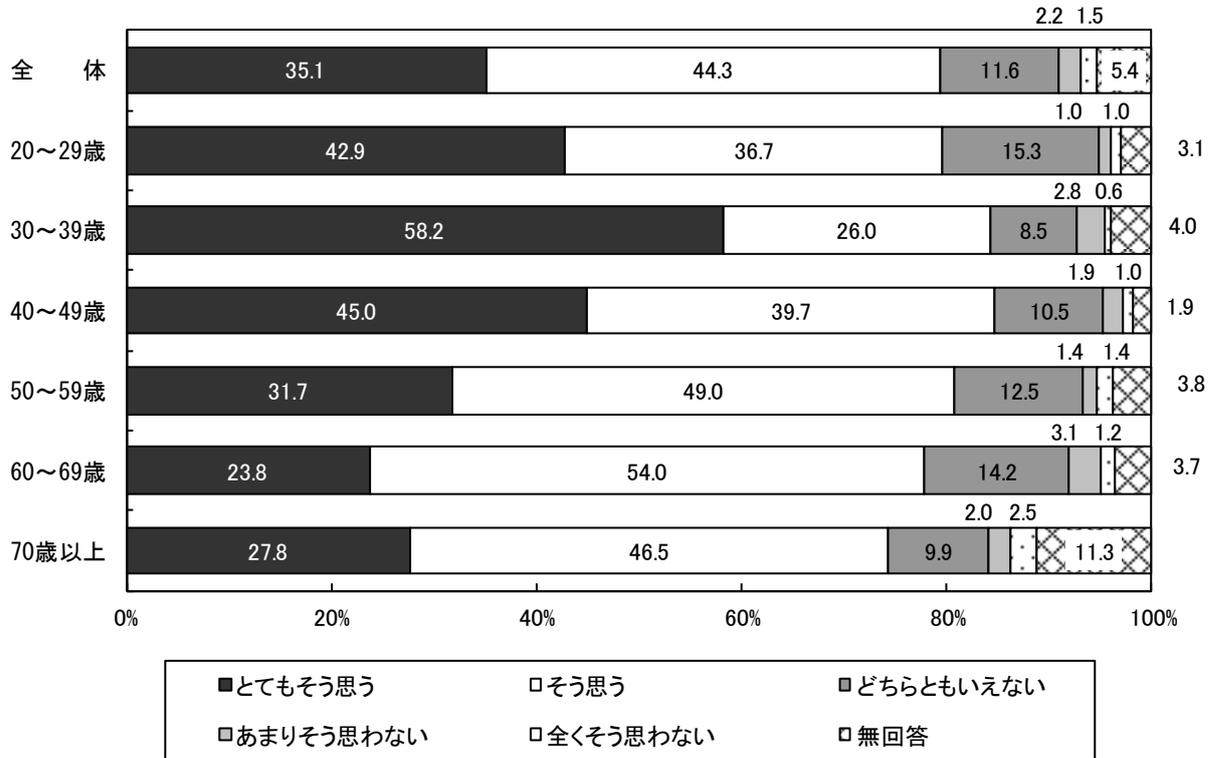
カ) 家族と一緒に食事をするのは楽しい

【年齢別】

「とてもそう思う」「そう思う」と回答した人の割合は、40歳代(84.7%)で最も高く、70歳以上(74.2%)で最も低くなっている。

図 3.12-12 家族との食事に対する意識〔家族と一緒に食事をするのは楽しい〕

(年齢別・全体)



	計	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	年齢不明
全体	1,369	98	177	209	208	324	353	0
男性	629	43	76	101	93	152	164	0
女性	721	55	101	108	114	171	172	0

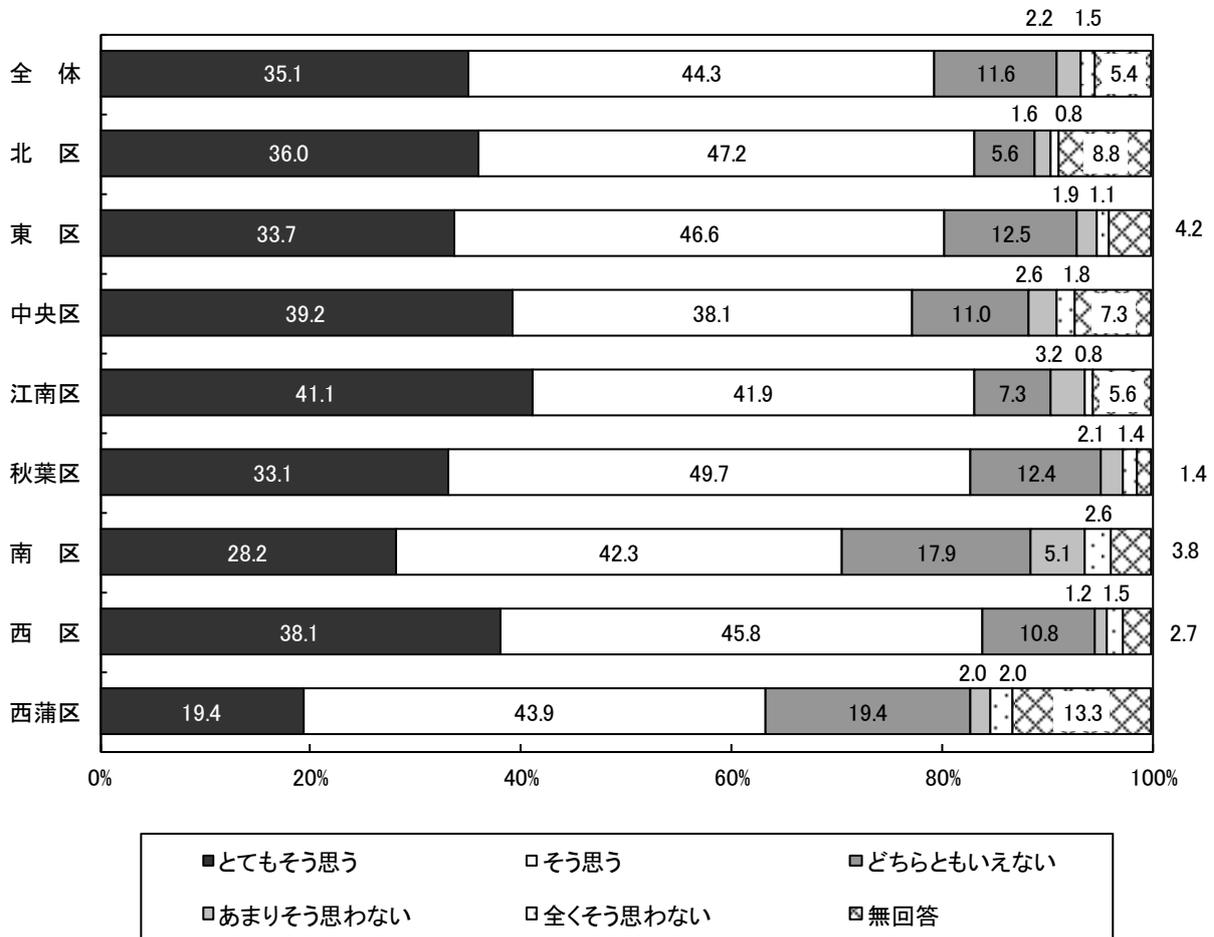
(人)

※年齢不明者のグラフは省略した。

【地区別】

「とてもそう思う」「そう思う」と回答した人の割合は、西区（83.8%）で最も高く、南区（70.5%）で最も低くなっている。

図 3.12-13 家族との食事に対する意識〔家族と一緒に食事をするのは楽しい〕（地区別）



全体	北区	東区	中央区	江南区	秋葉区	南区	西区	西蒲区	地区不明
1,369	125	264	273	124	145	78	260	98	2

(人)

※地区不明者のグラフは省略した。

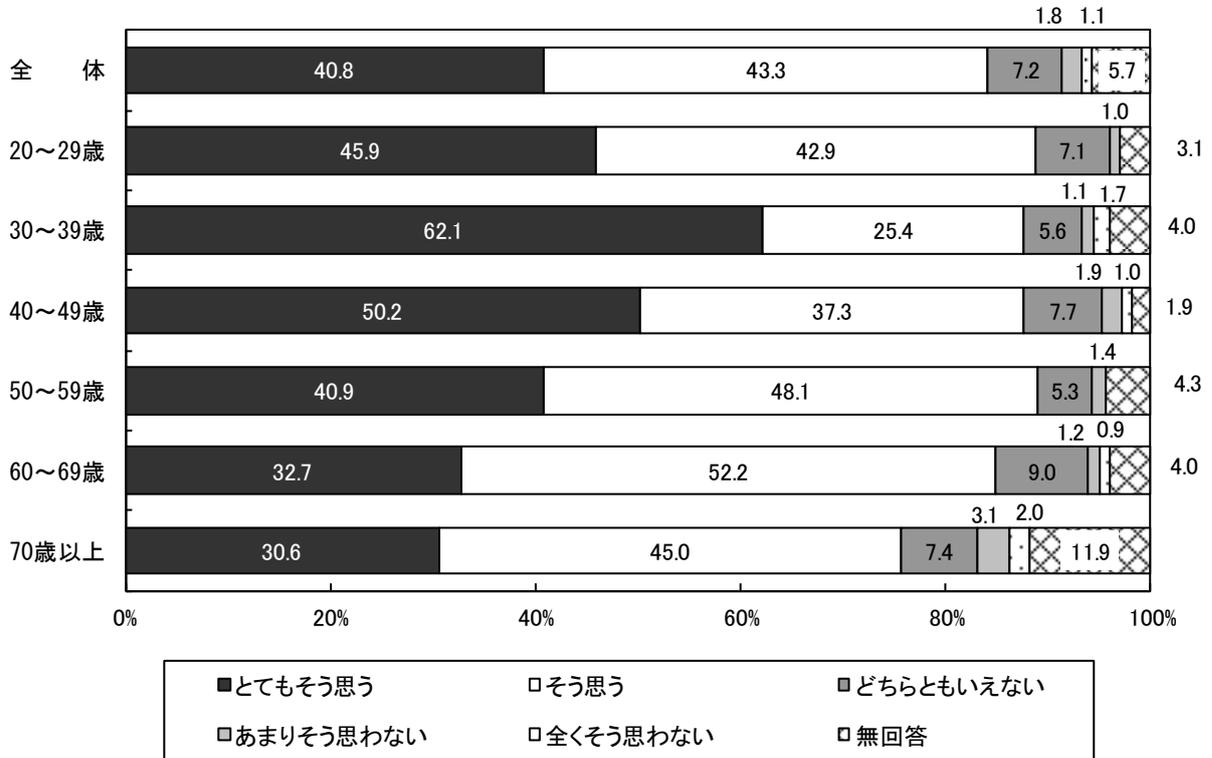
キ) 家族と一緒に食事をすることは重要である

【年齢別】

「とてもそう思う」「そう思う」と回答した人の割合は、50歳代（88.9%）と20歳代（88.8%）が高く、70歳以上（75.6%）で最も低くなっている。

図 3.12-14 家族との食事に対する意識〔家族と一緒に食事をすることは重要である〕

(年齢別・全体)



	計	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	年齢不明
全体	1,369	98	177	209	208	324	353	0
男性	629	43	76	101	93	152	164	0
女性	721	55	101	108	114	171	172	0

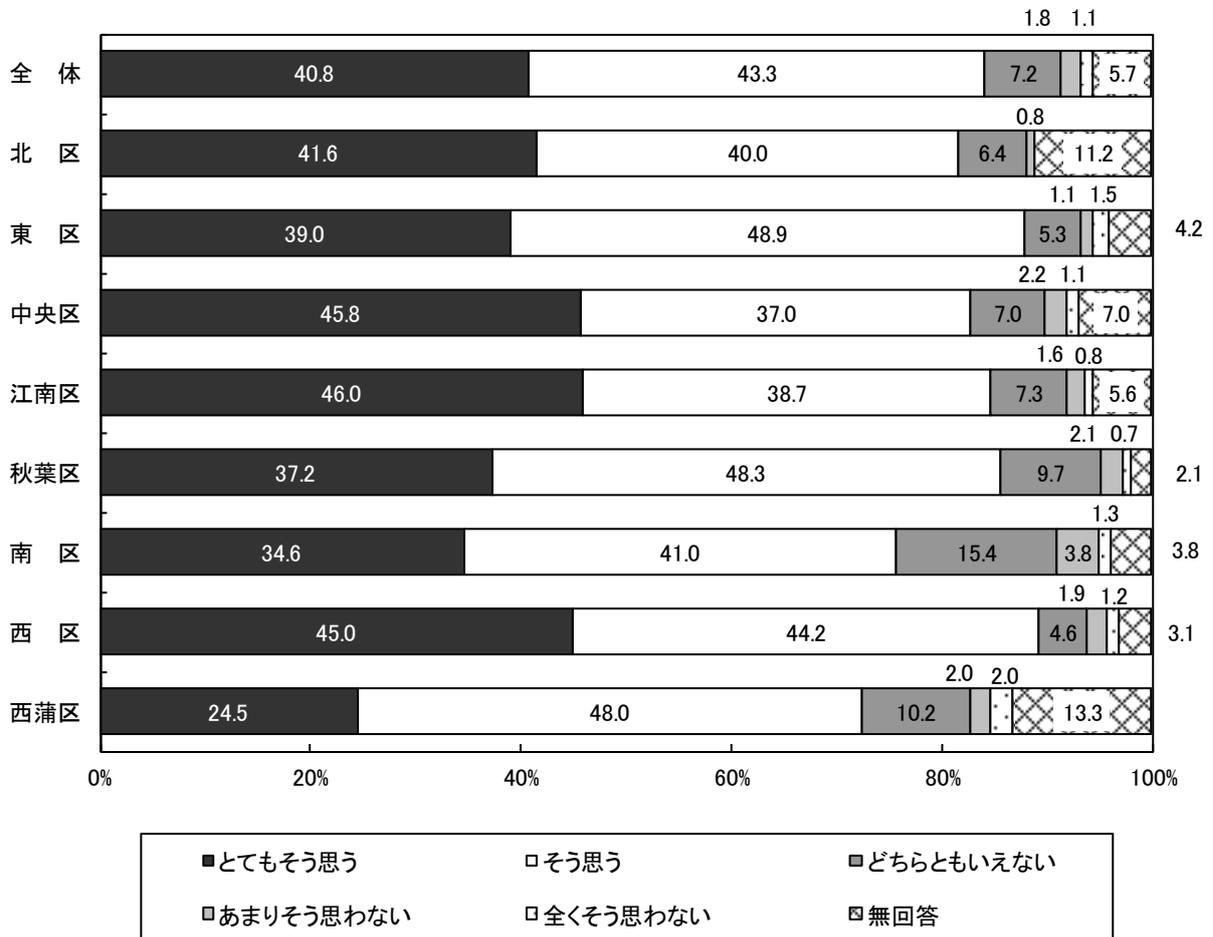
(人)

※年齢不明者のグラフは省略した。

【地区別】

「とてもそう思う」「そう思う」と回答した人の割合は、西区（89.2%）で最も高く、西蒲区（72.4%）で最も低くなっている。

図 3.12-15 家族との食事に対する意識〔家族と一緒に食事することは重要である〕（地区別）



全体	北区	東区	中央区	江南区	秋葉区	南区	西区	西蒲区	地区不明
1,369	125	264	273	124	145	78	260	98	2

(人)

※地区不明者のグラフは省略した。

(13) ゆっくりよく噛んで味わって食べる頻度

問21 あなたは、ふだんゆっくりよくかんで味わって食べていますか。(〇は1つだけ)

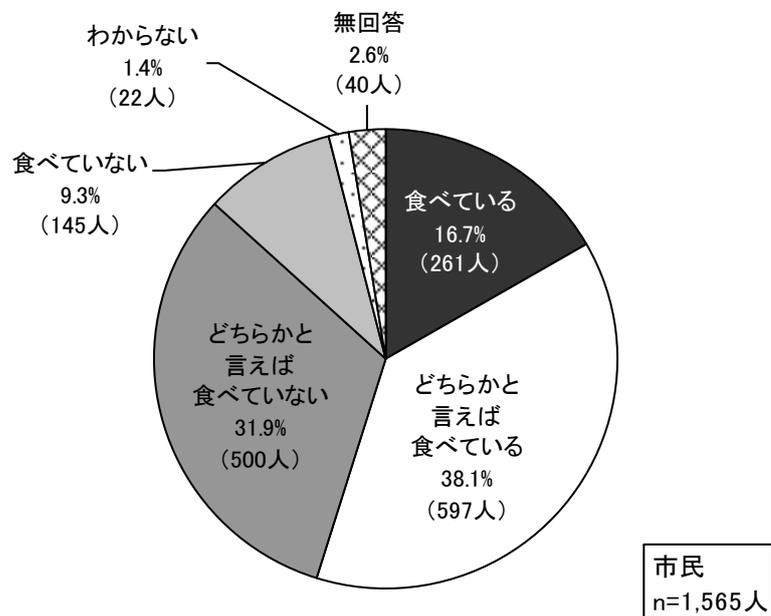
過半数が「食べている」「どちらかと言えば食べている」と回答

【全体結果】

「食べている」(16.7%)、「どちらかと言えば食べている」(38.1%)と回答した人を合わせた割合は過半数(54.8%)となっている。

一方、「どちらかと言えば食べていない」(31.9%)、「食べていない」(9.3%)と回答した人を合わせた割合は4割強(41.2%)となっている。

図 3.13-1 ゆっくりよく噛んで味わって食べる頻度



【性別・年齢別】

「食べている」「どちらかと言えば食べている」と回答した人を合わせた割合は、70歳以上(71.2%)で最も高く、50歳代(44.7%)で最も低くなっている。

性別では、「食べている」「どちらかといえば食べている」を合わせた割合は、各年代とも、女性の方が男性より高くなっている。

図 3.13-2 ゆっくりよく噛んで味わって食べる頻度（年齢別）

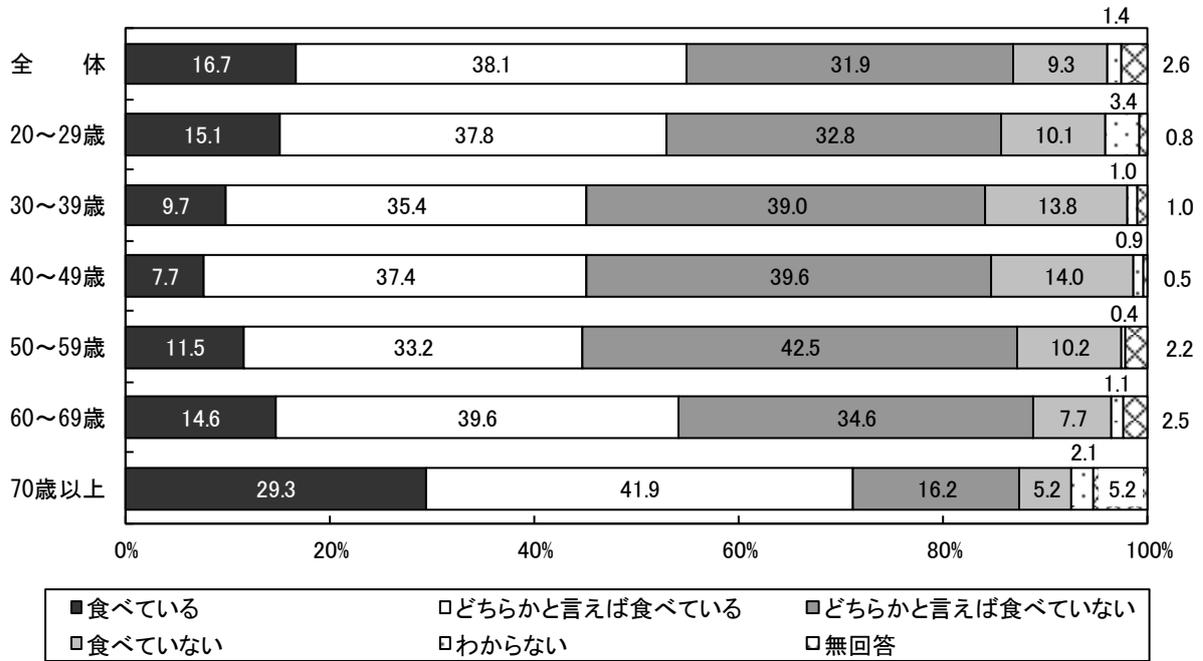
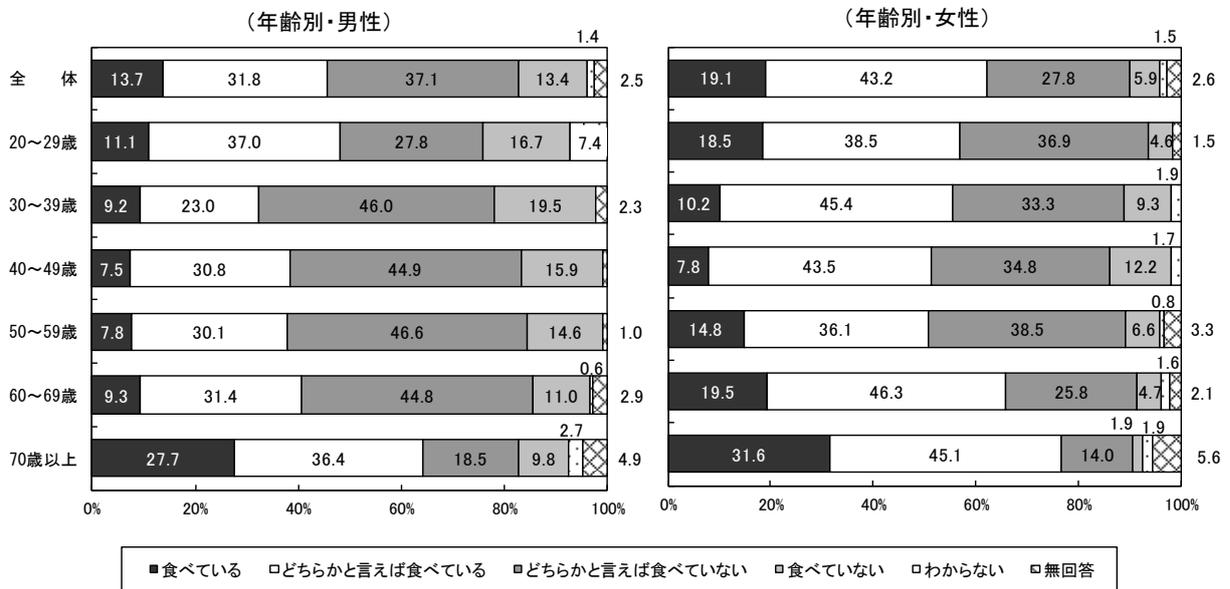


図 3.13-3 ゆっくりよく噛んで味わって食べる頻度



	計	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	年齢不明
全体	1,565	119	195	222	226	364	420	19
男性	707	54	87	107	103	172	184	0
女性	817	65	108	115	122	190	215	2

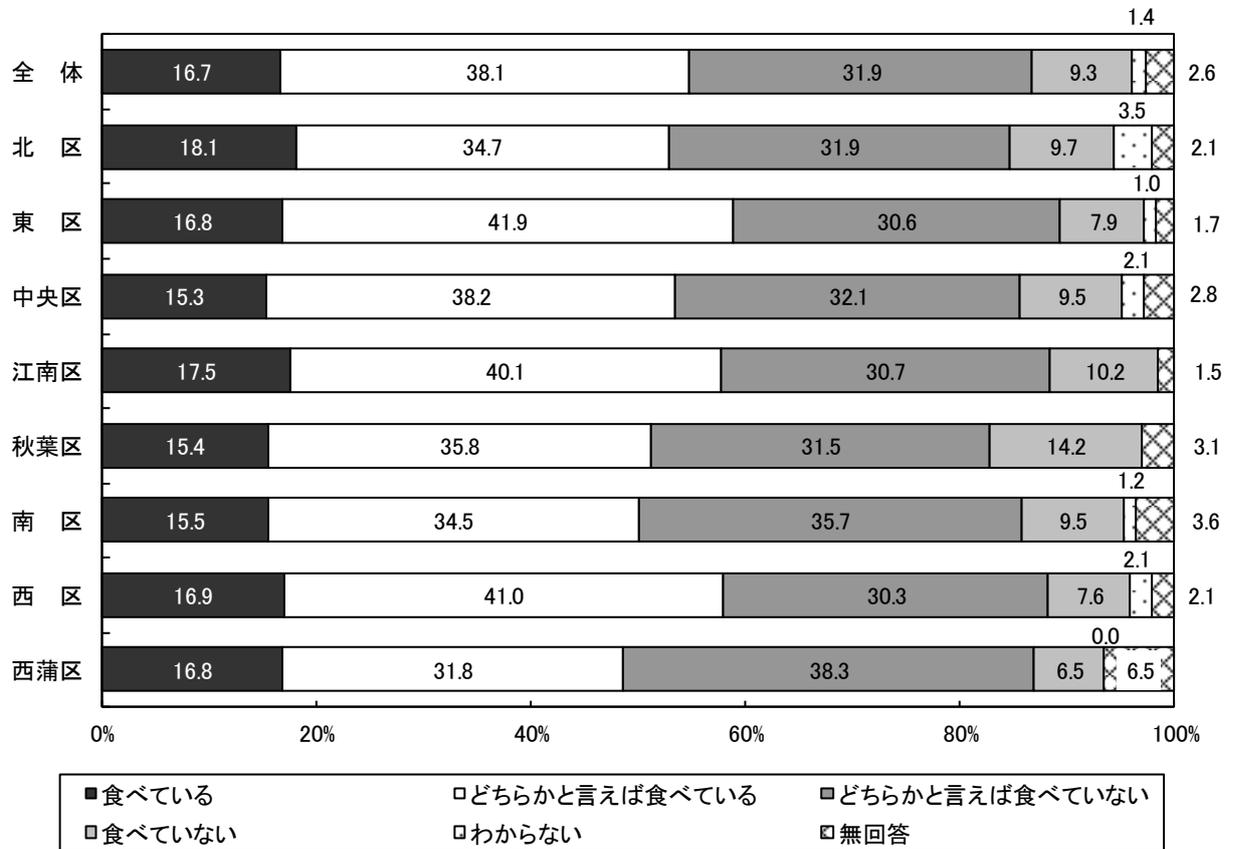
(人)

※性別不明・年齢不明者のグラフは省略した。

【地区別】

「食べている」「どちらかといえば食べている」と回答した人を合わせた割合は、東区（58.8%）で最も高く、西蒲区（48.6%）で最も低くなっている。

図 3.13-4 ゆっくりよく噛んで味わって食べる頻度（地区別）



全体	北区	東区	中央区	江南区	秋葉区	南区	西区	西蒲区	地区不明
1,565	144	291	327	137	162	84	290	107	23

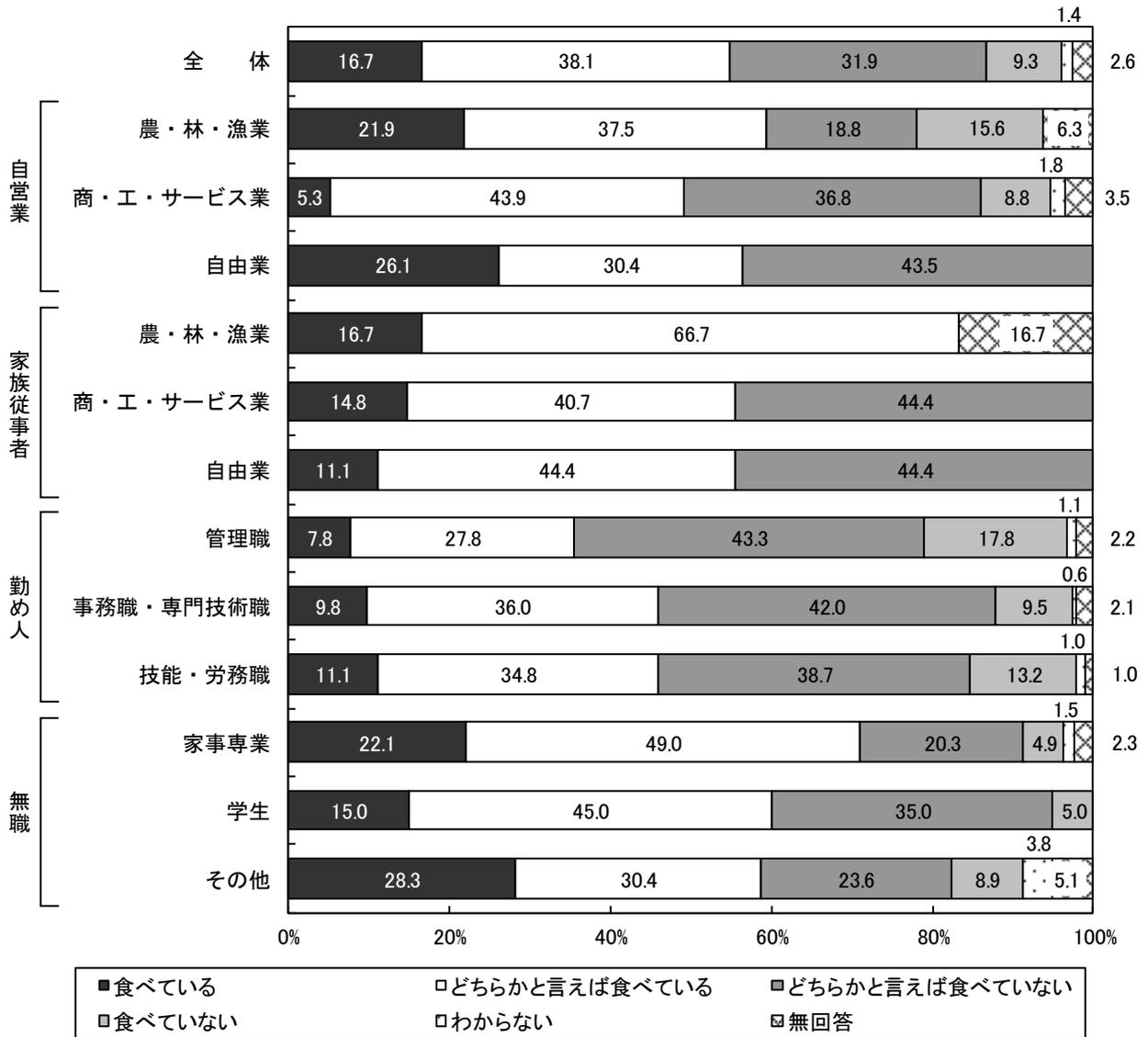
(人)

※地区不明者のグラフは省略した。

【職業別】

職種により対象者数に差があるため、図表のみの掲載とする。

図 3.13-5 ゆっくりよく噛んで味わって食べる頻度（職業別）



全体	自営業			家族従事者		
	農・林・漁業	商・工・サービス業	自由業	農・林・漁業	商・工・サービス業	自由業
1,565	32	57	23	6	27	9

勤め人			無職			無回答
管理職	事務職・専門技術職	技能・労務職	家事専業	学生	その他	
90	336	287	390	20	237	51

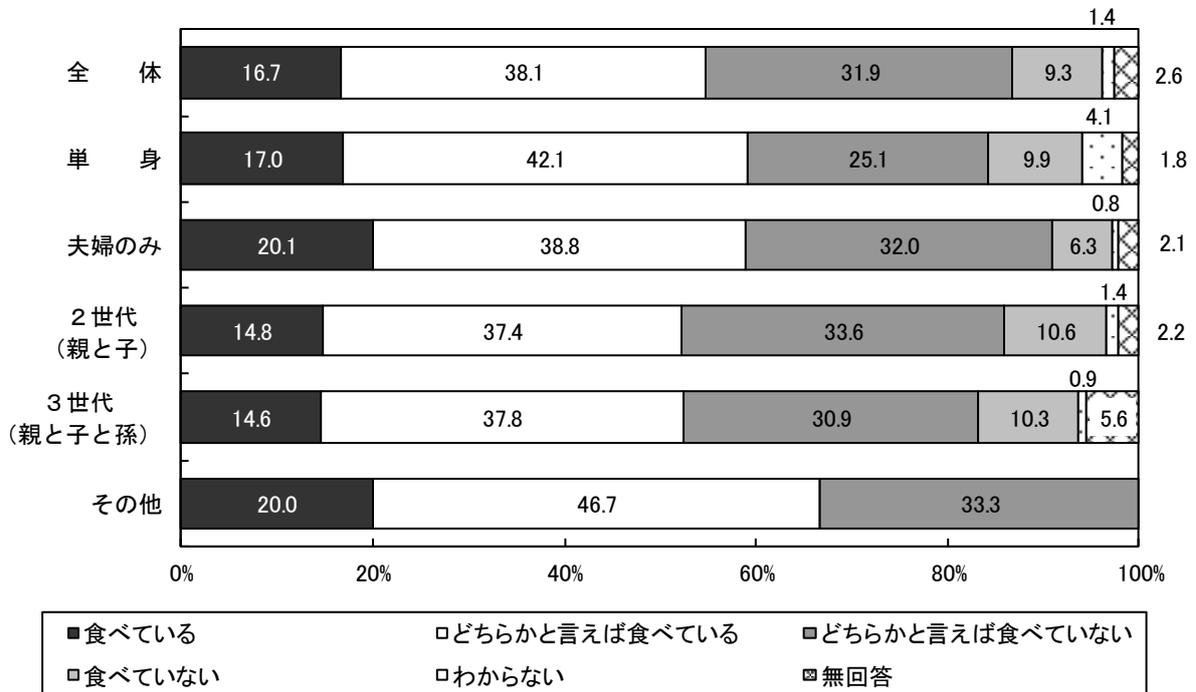
(人)

※無回答者のグラフは省略した。

【家族構成別】

「食べている」「どちらかといえば食べている」と回答した人を合わせた割合は、夫婦のみ（58.9%）で最も高くなっている。

図 3.13-6 ゆっくりよく噛んで味わって食べる頻度（家族構成別）



全体	単身	夫婦のみ	2世代(親と子)	3世代(親と子と孫)	その他	無回答
1,565	171	384	737	233	15	25

(人)

※無回答者のグラフは省略した。

(14) かねで食べる時の状態

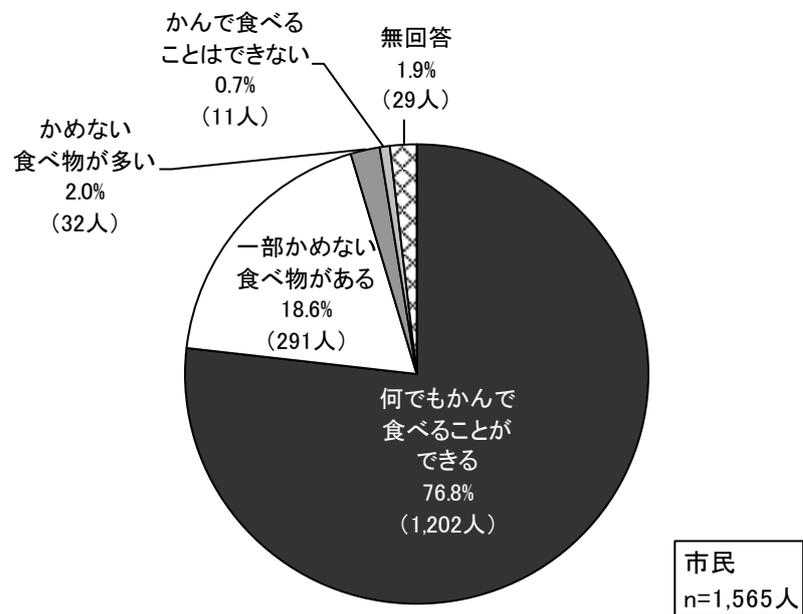
問22 かねで食べる時の状態についてあてはまる番号を1つ選んで○をつけてください。
(○は1つだけ)

8割弱が「何でもかねで食べる事ができる」と回答

【全体結果】

「何でもかねで食べる事ができる」と回答した人の割合は8割弱(76.8%)となっている。以下「一部かめない食べ物がある」(18.6%)、「かめない食べ物が多い」(2.0%)、「かねで食べることはできない」(0.7%)となっている。

図 3.14-1 かねで食べる時の状態



【性別・年齢別】

各年代とも、「何でもかんで食べることができる」と回答した人の割合が最も高くなっており、30歳代（88.2%）で最も高く、70歳以上（64.0%）で最も低くなっている。「一部かめない食べ物がある」は60歳代で2割強、70歳以上で3割弱となっている。

図 3.14-2 かんで食べる時の状態（年齢別）

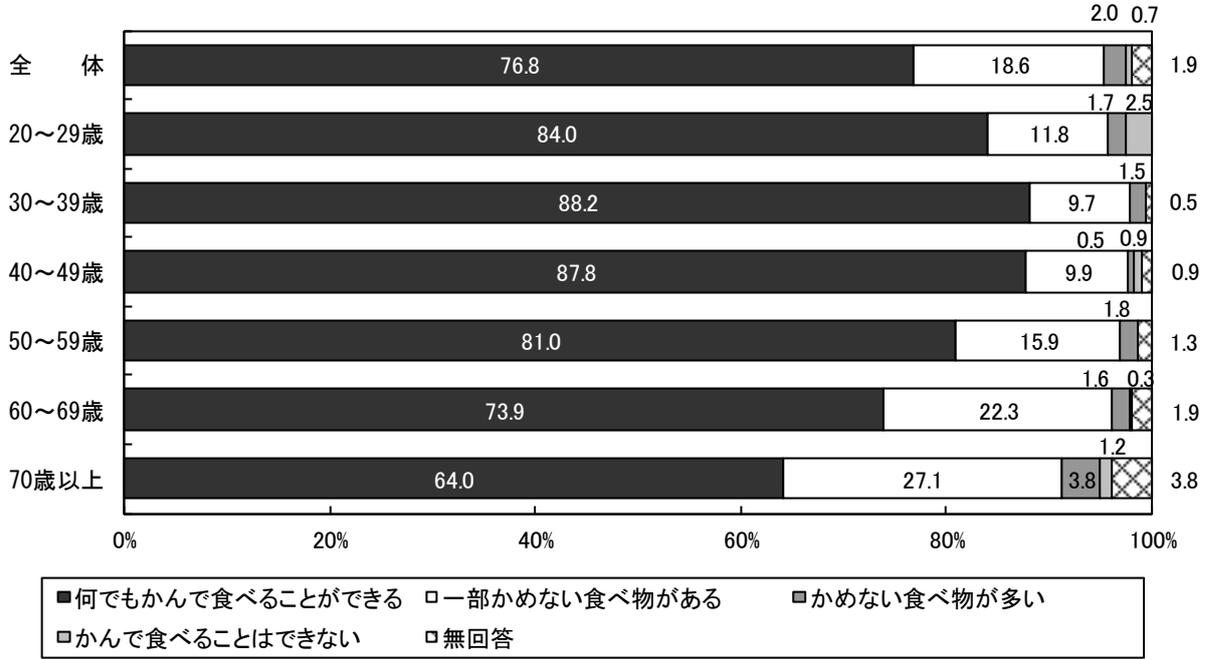
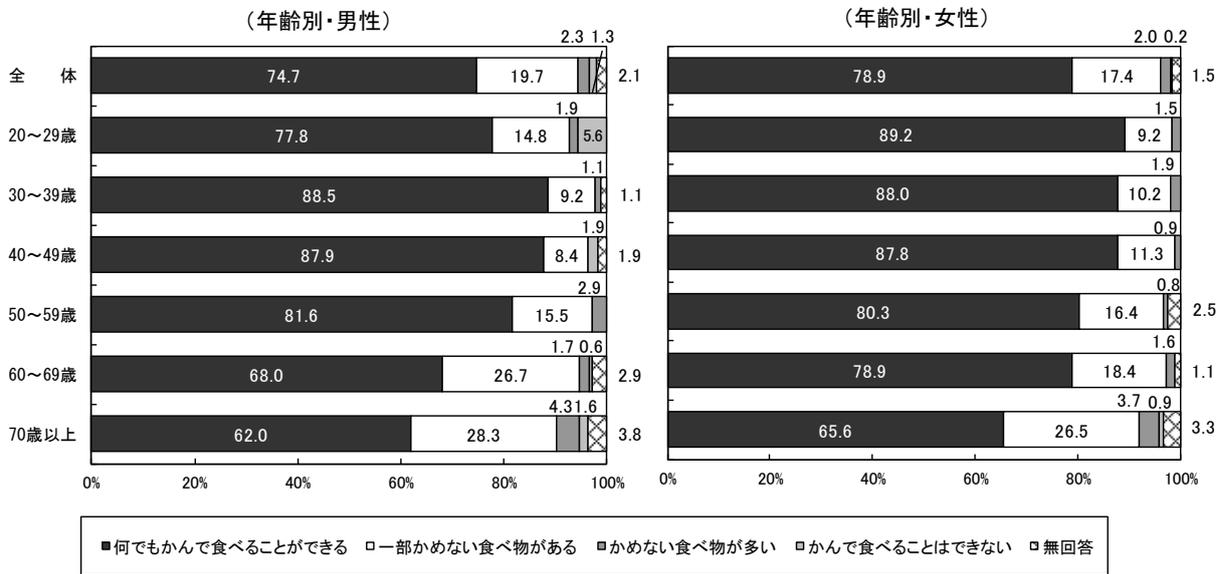


図 3.14-3 かんで食べる時の状態



	計	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	年齢不明
全体	1,565	119	195	222	226	364	420	19
男性	707	54	87	107	103	172	184	0
女性	817	65	108	115	122	190	215	2

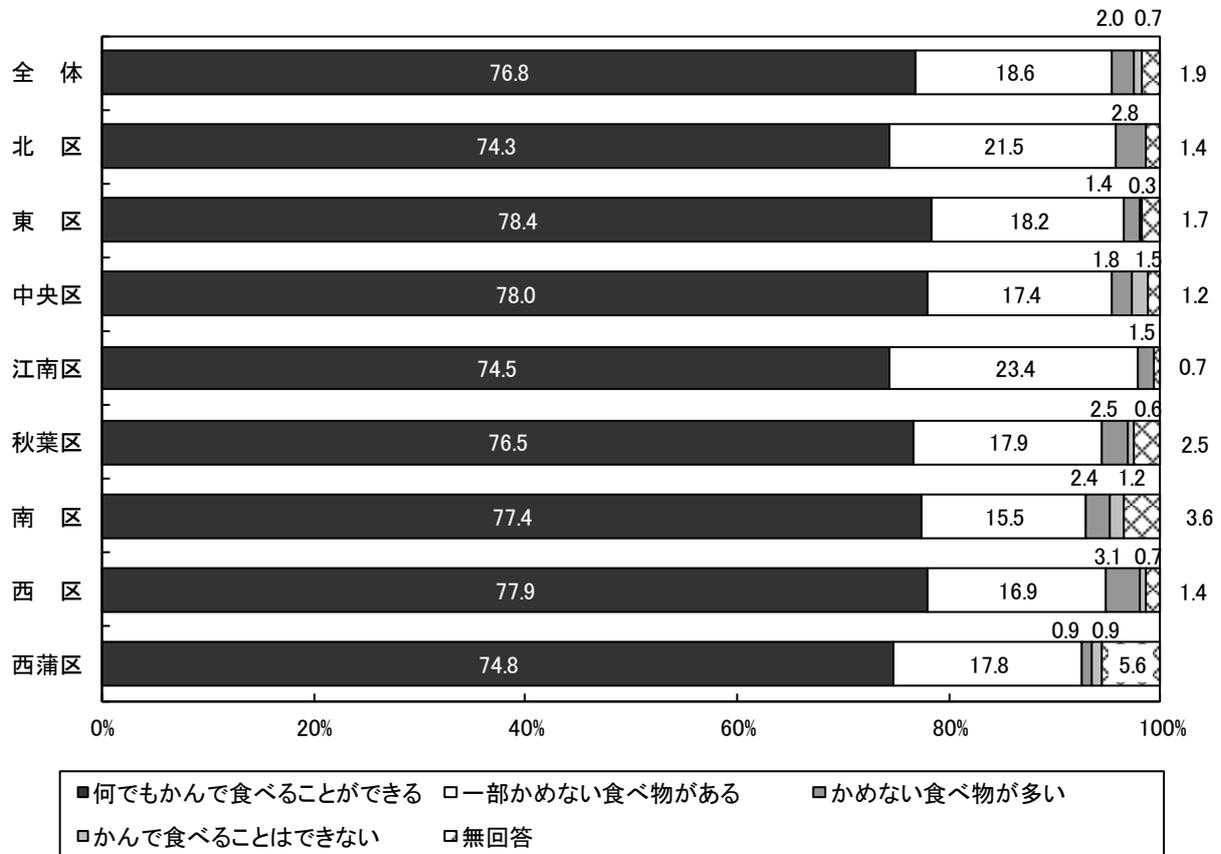
(人)

※性別不明・年齢不明者のグラフは省略した。

【地区別】

各地区ともに、「何でもかんで食べることができる」と回答した人の割合が最も高くなっている。

図 3.14-4 かんで食べる時の状態（地区別）



全体	北区	東区	中央区	江南区	秋葉区	南区	西区	西蒲区	地区不明
1,565	144	291	327	137	162	84	290	107	23

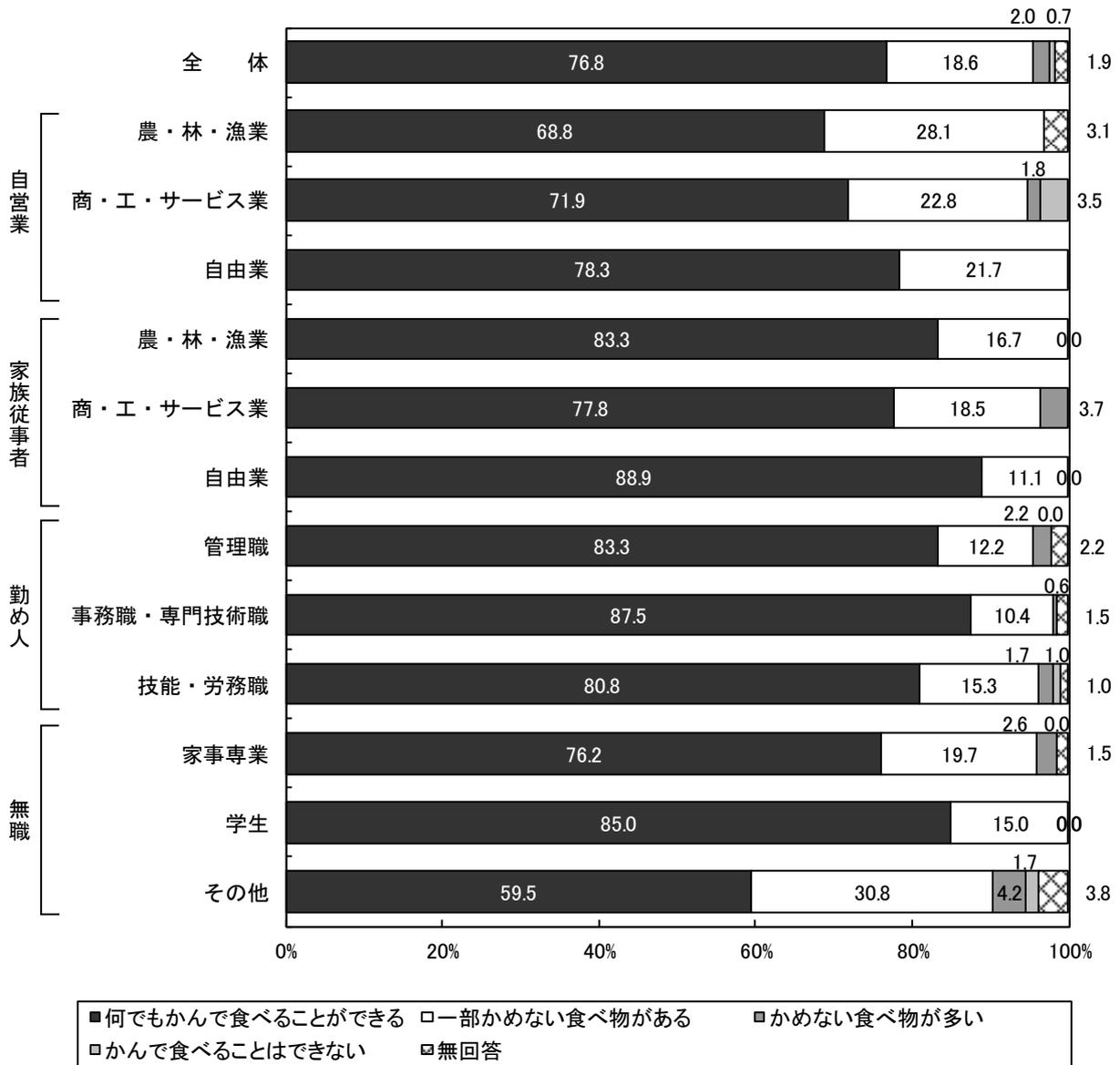
(人)

※地区不明者のグラフは省略した。

【職業別】

職種により対象者数に差があるため、図表のみの掲載とする。

図 3.14-5 かねで食べる時の状態（職業別）



全体	自営業			家族従事者		
	農・林・漁業	商・工・サービス業	自由業	農・林・漁業	商・工・サービス業	自由業
1,565	32	57	23	6	27	9

勤め人			無職			無回答
管理職	事務職・専門技術職	技能・労務職	家事専業	学生	その他	
90	336	287	390	20	237	51

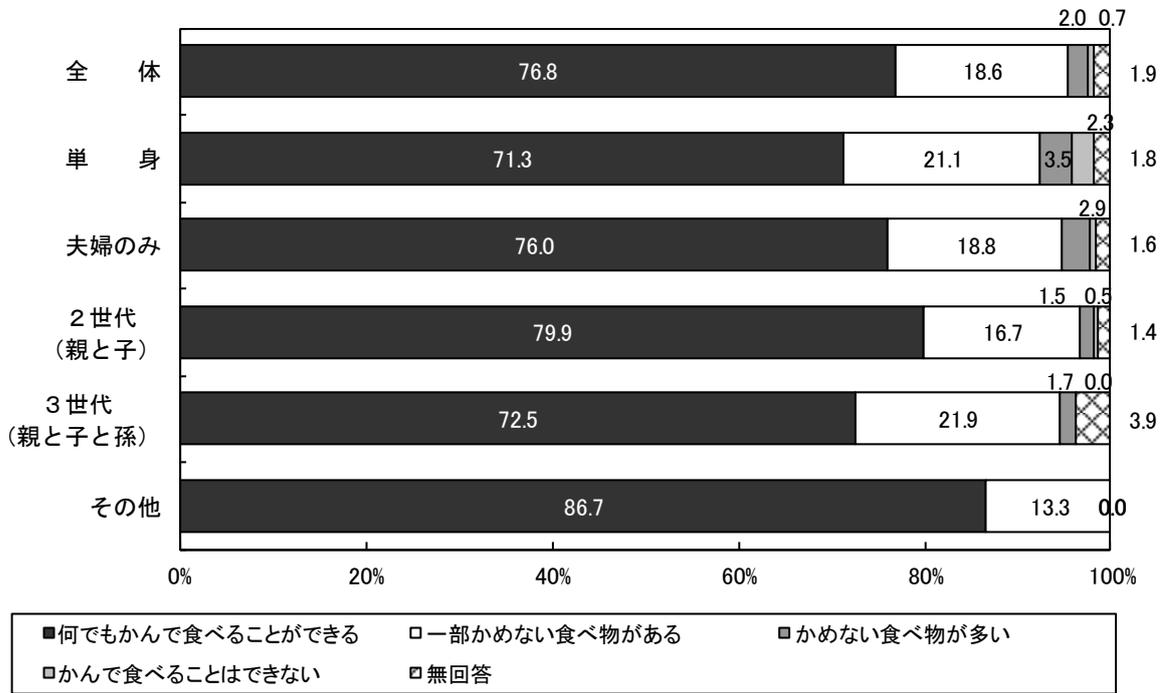
(人)

※無回答者のグラフは省略した。

【家族構成別】

すべての家族構成で、「何でもかんで食べることができる」と回答した人の割合が最も高くなっている。

図 3.14-6 かんで食べる時の状態（家族構成別）



全体	単身	夫婦のみ	2世代 (親と子)	3世代 (親と子と孫)	その他	無回答
1,565	171	384	737	233	15	25

(人)

※無回答者のグラフは省略した。